

# ブックセンス取扱説明書

(T50/T50XT)

Ver 3.0

株式会社タイムズコーポレーション

製造元(株)HIMS (韓国)

## お知らせ

- この取扱説明書と製品は印刷上の誤りもしくは技術的な誤りがある場合、事前通報なしで内容が変更される場合があります。
- この取扱説明書と製品は著作権法によって保護されています。
- Microsoft Windows, and the Windows Logo are registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation United States other countries.

## お客様へのご注意（必ずお読み下さい）

1. ブックセンスで使用される電源アダプタの入力定格電圧はAC100V～240Vで、出力定格電源はDC5V/2Aです。定格電圧以外でご使用になられますと、本体に回復できないダメージを与える場合がありますので、必ず定格電圧を守り、必ず付属の専用電源アダプタをご使用下さい。
2. 煙が出る、異臭がするなどの異常が発生した場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、本体からバッテリーを取り外し、直ちに販売店にご連絡ください。また、本体やバッテリーが高温になっている可能性がありますので、火傷しないようご注意ください。
3. 電源プラグにほこりが溜まった状態で放置しますと、火災や感電の原因になりますので、電源プラグを定期的にコンセントから抜き、清掃してください。
4. 自動車、バイク、自転車などの乗り物を運転しながら本製品を使用しないで下さい。交通事故の原因になります。また、歩きながら使用される際には、周辺の交通や状況に充分ご注意ください。
5. 本製品ならびに付属品を、乳幼児の手の届くところに保管されると、事故や破損、故障の原因になる可能性があります。本製品ならびに付属品の管理には充分ご注意ください。
6. ブックセンスの正常な動作のための温度範囲は-10℃～40℃です。これより低い温度または高い温度で使用する場合には正常な動作ができない恐れがあります。また、本製品をドライヤーや電子レンジなどで加熱しないでください。本体に回復できないダメージを与える可能性があります。
7. 製品のご購入後、初めて使用する際には、バッテリー残量の表示が不正確な場合があります。バッテリーを装着した後、正確な残量表示のために、電源をオンにした状態で2時間半以上、十分に充電してください。充電するときには必ずブックセンスの専用電源アダプタをご使用ください。
8. ブックセンスのバッテリーを車などの温度が高い場所、あるいは密閉された空間で長い間保管および放置すると、バッテリーの性能と寿命に深刻な問題を起こす恐れがあります。また、このように放置した場合、バッテリーの爆発および火事の原因になる恐れもありますので、充分ご注意ください。
9. 製品を長時間使用しない場合には、製品のバッテリー性能維持に重要ですので、1ヶ月あたり1回以上完全充電してください。また、バッテリーは安全上の理由より、必ずブックセンス本体に装着して使用、保管してください。
10. ブックセンスの電源アダプタを接続してバッテリーを充電する間には、ブックセンスの本体およびアダプタに発熱する可能性があります。発熱の程度はバッテリーの充電時間および使用時間によって異なります。充電中は電源アダプタに手あるいは身体の一部を長い間触らないよう注意してください。
11. ブックセンスの電源アダプタを保管するときには、電源アダプタの電線を巻いて保管しないでください。電源アダプタの電線を巻いて保管すると、電線の一部が磨耗され、電源供給に問題が発生する可能性があります。
12. ブックセンスの本体は衝撃に敏感ですので、衝撃には充分ご注意ください。
13. ブックセンスにイヤホンおよびヘッドホンを接続して長時間使用するか、音量を大きくして使用すると聴力損傷の恐れがあります。イヤホンあるいはヘッドホンを使用し、大音量で長時間使用

しないよう、ご注意ください。

14. ブックセンスの保証期間は1年です。ただし、ユーザー登録いただいた場合は、保証期間は2年になり、フルセットでご購入いただいた場合は、保証期間は6年になります。また、保証対象は本体のみで、バッテリーやSDカードなどの付属品、またはセット商品は保証対象に含みません。また、保証範囲は日本国内に限定します。
15. ブックセンスの本体やバッテリーを分解する、定格電源を使用しない、あるいは浸水などのお客様の過失または誤りによる製品の破損、誤動作などにより問題が生じた場合、製造元、販売元共に責任を負いかねます。また、この場合には保証期間中でも保証対象外になります。
16. お手入れの際は、電源を切ってください。電源をいれたままお手入れされますと、感電の原因になる場合があります。また、お手入れの際は、やわらかい清潔な布をご使用下さい。水や洗剤などの液体が本製品にかかりますと、火災や感電、故障の原因になります。また、お手入れの際にシンナーやベンジン、アルコールの入った溶剤を使用しないで下さい。本製品の表面をいためます。
17. 本製品や付属品を廃棄する際は、お住まいの自治体の定める廃棄物分別方法に従って処分してください。

この取扱説明書は、目的別簡単説明編と、詳細説明編に分かれています。目的別簡単説明編をご確認いただくと、基本的な操作がある程度ご理解いただけます。各メニューの詳細設定などについては、詳細説明編をご確認下さい。

## 目的別簡単説明編

### 目次

1. ブックセンスの概観	6ページ
1.1 前面	6ページ
1.2 左面	6ページ
1.3 右面	6ページ
1.4 上面	6ページ
1.5 下面	6ページ
1.6 裏面	7ページ
2. ブックセンスの電源を入れる。	7ページ
3. CDドライブを使ってデジータ図書をバックアップする。	7ページ
4. パソコンを使ってデジータ図書をバックアップする。	7ページ
5. メディア（保存装置）を選択する。	7ページ
6. ガイド音声の速度やピッチ（ピッチとは音の高さ。）を調整する。	7ページ
7. ファイルの選択方法。	8ページ
8. 再生速度を調整する。	8ページ
9. 再生音量を調整する。	8ページ
10. デジータ図書を聴く。	8ページ
10.1 タイトルを選択し、再生する。	8ページ
10.2 移動単位を変更する。	8ページ
10.3 しおりを挿入する、しおりに移動する、しおりを削除する。	9ページ
11. 音楽を聴く。	9ページ
12. テキスト、ドキュメント文書を聴く。	9ページ
12.1 タイトルを選択し、再生する。	9ページ
12.2 移動単位を変更する。	9ページ
13. FMラジオを楽しむ。（T50XTのみ。）	9ページ
13.1 聴きたい放送（周波数）を受信する。	9ページ
13.2 受信中の放送を録音し、録音したデータを再生する。	9ページ
14. 会話や会議、講演を録音する。	10ページ
15. 録音方式を変更する。（初期設定はデジータ録音です。）	10ページ
16. 録音したデータを再生する。	10ページ
17. フォルダ、ファイルを削除する。	10ページ
18. おやすみタイマーを設定する。	11ページ
19. ファイルまたはフォルダのコピー、貼り付け	11ページ
20. お問い合わせ窓口。	11ページ

## 1. ブックセンスの概観

ブックセンスは直方体で、小型携帯電話と似ています。大きさは、幅4.7cm、縦10.8cm、厚さ1.85cmで、重さは115グラムです。

ブックセンスのボタン位置と外形についてご説明します。表面に四角い移動ボタンおよび数字ボタンがある面を「前面」、ネクストラップ掛けが飛び出している面を「上面」とします。前面が手前、上面が上になるように置いた状態でご説明します。

### 1.1 前面

前面の上のほうに小さい穴がたくさんあいている部分が内蔵スピーカです。

内蔵スピーカの下には「時計ボタン」があります。

時計ボタンの下には菱形の「矢印ボタン」があります。この移動ボタンは上、下、左、右の4つで構成されます。この上、下、左、右のボタンを各々「上方向ボタン」、「下方向ボタン」、「左方向ボタン」、「右方向ボタン」と呼びます。

この4つのボタンの真ん中には「メニューボタン」があります。

4つの方向ボタンの下には「数字ボタン」があります。数字ボタンは電話の数字ボタンのような構成で、横3つ、縦4つ、合わせて12個のボタンで構成されます。一番上の列の左側に「1」、その右に「2」、その右に「3」番のボタンがあります。2番目の列の中央には「5」番ボタンがあって、このボタンに小さいポッチが突き出しています。4番目の列の一番左側には「取消(C)ボタン」、中央には「0」番ボタン、一番右側には「確認(O)ボタン」があります。

「取消ボタン」の下には充電状態を知らせるLEDランプがあります。「確認ボタン」の下にある小さい穴が「内蔵マイク」です。

### 1.2 左面

左面を上から触ると、3つのボタンと細長い穴があります。ボタンは上から順に、「モード切替ボタン」、「ボリュームボタン(細長いボタンの上がボリュームアップ、下がボリュームダウン)」で、細長い穴が「SDカードスロット」です。

### 1.3 右面

右面を上から触ると、2つのボタンと1つのスライドスイッチ、そして小さい穴があります。ボタンは上から順に「再生ボタン」、「録音ボタン」で、スイッチは「ホールドスイッチ」です。ホールドとは、キーロックのことです。ホールドスイッチは上下にスライドし、上がキーロック解除、下がキーロック実行になっています。「再生ボタン」は電源ボタンとしても使います。「ホールドスイッチ」から下の方に小さい穴があります。これは「リセットボタン」です。もしブックセンスが何の動作もできなくなった場合にはクリップなどを使ってこのボタンを押して再起動させます。もし「リセットボタン」が押しにくい場合にはバッテリーを分離して、再び装着して再起動する方法もあります。ただし、バッテリーを分離してから装着するときには、バッテリー分離後、約10秒程度経過してからバッテリーを装着してください。

### 1.4 上面

上面には中央に突起がひとつあります。この突起はネクストラップ掛けです。このネクストラップ掛けを中心に、左側には外付けマイク入力端子、右側にはヘッドホン出力端子があります。ヘッドホン端子の上側には、突起でしるしがついています。

### 1.5 下面

下面には2つの穴があります。左側にある穴は電源アダプタを接続する電源充電口、右側にある穴がUSB OTGポートです。ブックセンスのバッテリーを充電するときには、ブックセンスと一緒に提供した電源アダプタをこの電源充電口に挿入してください。USB OTGポートは、パソコンからのデータ転送するとき、パソコンに接続してブックセンスを充電するとき、USBメモリーおよび外付けCD-ROM

ドライバを接続して使うときにUSBケーブルを接続します。

## 1.6 裏面

ブックセンスの裏面には、バッテリーが装着されています。

## 2. ブックセンスの電源を入れる。

ブックセンスの電源を入れる際には、本体右側面の一番上のボタン、再生ボタンを長押しします。電源が入ると、起動音がしてブックセンスの電源が入ります。電源を切る際には、再度再生ボタンを長押しします。

## 3. CDドライブを使ってデージー図書をバックアップする。

ブックセンスの電源を入れます。次にモード切替ボタン（ブックセンス本体左側面の一番上のボタン。）を押して、デージープレーヤーモードに切り替えます。ブックセンスとCDドライブを接続します。ブックセンスにはUSBジェンダー（短いUSBケーブル）を接続します。CDドライブにはACアダプタを接続し、電源供給してください。CDドライブにCDドライブ用のUSBケーブルを接続し、その先をUSBジェンダーに接続します。この状態で、10秒ほど待つと、「ピンポーン」という認識音が出て、ブックセンスがCDドライブを認識します。この状態で初めてCDドライブのトレイが開きます。CDをCDドライブのトレイに入れます。ブックセンスのメニューボタンを押すと、コンテンツ取り込みの確認があるので、確認ボタンを押します。保存するメディア（保存装置）を確認してくるので、左右キーで、メディアを選択し、確認ボタンを押します。メディアの容量を確認してから、取り込みを開始します。（進行状況を10%ごとに案内します。）100MBのデータを取り込むのに約5分かかります。

## 4. パソコンを使ってデージー図書をバックアップする。

ブックセンスの電源を入れます。USBケーブルでパソコンと接続する。（パソコンと接続した時点でブックセンスは操作できなくなります。）ここからはパソコン上の操作です。マイコンピュータに『BOOKSENSE（XTのみ）』と、『リムーバブルディスク』という項目ができています。『BOOKSENSE』は内蔵フラッシュメモリのことで、『リムーバブルディスク』はSDカードのことです。いずれかの項目を開くと、『AUDIO BOOK』、『DAISY』、『MUSIC』、『DOCUMENTS』、『PODCASTS』、『RADIO』、『RECORD』、『USERDIRECT』というフォルダが確認できます。リムーバブルディスクでは、上記のフォルダの他に、『\$BS\_OTHER』というフォルダが表示されます。パソコン上の好きなデータ（音楽データ、テキストデータなど）をコピーし、適切なフォルダに貼り付けます。適切なフォルダに入れるとは、テキストデータは『DOCUMENTS』フォルダに、デージーデータは『DAISY』フォルダに入れるということになります。

## 5. メディア（保存装置）を選択する。

0番ボタンを長押しすることで、接続されているメディアを変更できます。

フラッシュメモリ、SDカード、USBメモリーなど、ブックセンスに接続されているメディアがアナウンスされます。

## 6. ガイド音声の速度やピッチ（ピッチとは音の高さ。）を調整する。

メニューボタンを押して、メニューを開きます。上方向ボタンを押して、『共通オプション設定、下位メニューがあります。』まで移動します。右方向ボタンを押して、共通オプション設定の中に入ります。そうすると、『アラーム設定、下位メニューがあります。』とアナウンスがあります。下方向ボタンを2回押して、『TTS、ガイド音声ダイアログボックス』に移動します。右方向ボタンを押して、ダイアログボックスに入ります。『TTS、ガイド音声ダイアログボックスです。現在ボリ

ュームは00です。』というアナウンスがあります。アナウンスにしたがって、左右方向ボタンで音量を調整します。音量の数値を決めたら、下方向ボタンを押して、音声速度の選択に移動します。『音声速度00』というアナウンスがあります。ここでもアナウンスに従って、左右方向ボタンで速度を設定します。音声速度の数値を決めたら、下方向ボタンを押して、音声ピッチの選択に移動します。『音声ピッチ00』というアナウンスがあります。アナウンスに従って、左右方向ボタンで音声ピッチを調整します。最後に確認ボタンを押すと、設定が保存されます。

## 7. ファイルの選択方法。

ブックセンスでは、フォルダやメニューが何階層かになっている場合があります。メニューやフォルダ、ファイルがいくつかあり、選択ができる場合は、項目やフォルダ、ファイルの名前の後に、『1/ (スラッシュ) いくら』というようなアナウンスがあります。この、『1/ (スラッシュ) いくら』というアナウンスがあった場合には、下方向ボタンを押すことで、次の項目、フォルダ、ファイルに移動することができます。

例えば、ブックセンスに取り込んだデジター図書を聞く際には、デジタープレーヤーモードを選択します。デジタープレーヤーモードでは、最初のデジター図書のタイトルが読み上げられ、その後に、『1/ (スラッシュ) いくら』というアナウンスがあります。デジター図書が複数ある場合には、下方向ボタンを押すことで、次のタイトルに移動できます。

この基本的な構造を知っていれば、聞きたいファイルにスムーズに移動しやすくなります。

## 8. 再生速度を調整する。

再生速度を変更するには、数字の4、5、6番ボタンを使います。4番ボタンを押すごとに速度を遅くできます。反対に、6番ボタンを押すごとに速度を速くできます。5番ボタンを押すと速度を標準に戻します。

## 9. 再生音量を調整する。

再生音量を変更するには、本体左側面のボリューム調節ボタンを使います。本体左側面、上から2番目のボタンを押すごとに、音量が大きくなります。本体左側面、上から3番目のボタンを押すごとに、音量が小さくなります。

## 10. デジター図書を聴く。

### 10.1 タイトルを選択し、再生する。

再生したいデジター図書のタイトルを選択し、再生する方法は次の通りです。

1. モード切替ボタンで、デジタープレーヤーを選択します。
2. ファイルリストが表示され、最初のデジター図書のタイトルが読み上げられます。
3. 上方向ボタン、または下方向ボタンを押すことで、タイトルを移動できます。
4. 聴きたいタイトルまで移動し、決定ボタンもしくは再生ボタンを押すと、ファイルを再生します。
5. 本体右側面の一番上の再生、電源ボタンを押すと、再生を一時停止します。
6. 取り消しボタンを押すと、再生を終了し、ファイルリストに戻ります。

### 10.2 移動単位を変更する。

移動単位の変更方法。

1. 再生中もしくは一時停止中に、上下方向ボタンを押すと移動単位が変更できます。移動単位は、レベル、ページ、グループ、フレーズ、段落、見出し、最初または最後、移動時間、時間移動、再生ボリュームから選択できます。
2. 移動単位を選択し、左右方向ボタンを押すと、選択した移動単位で、前後に移動します。移動時間を選択している場合は、移動時間の単位が、5秒、10秒、30秒、1分、3分、5分、10分、15分、20分、30分、1時間の順で変わります。その後上下方向矢印を押して時間移動を選択し、左右方向ボタンを押すと、移動時間で設定した時間単位で、前または後ろに移動します。再生ボリューム



ムを選択している場合は、再生ボリュームが変更されます。

### 10.3 しおりを挿入する。しおりに移動する。しおりを削除する。

しおりの操作方法。

1. 再生中または一時停止中に、1番ボタンを押すとしおりが挿入できます。
2. しおり番号を数字ボタンを使って入力し、最後に確認ボタンを押します。
3. 2番ボタンを押すと、設定しているしおりに移動できます。
4. 移動したいしおり番号を、数字ボタンを使って入力し、最後に確認ボタンを押します。
5. 3番ボタンを押すと、設定しているしおりを削除できます。
6. 削除したいしおり番号を、数字ボタンを使って入力し、最後に確認ボタンを押します。

## 11. 音楽を聴く。

モード切替ボタンで、メディアプレーヤーを選択します。『レコード』というアナウンスが出ます。下方向ボタンを押して、『ミュージック』に移動します。右方向ボタンを押して、ミュージックフォルダの中に入ります。フォルダ内にあるファイルリストが表示され、一番目のファイル名が読み上げられます。上下方向ボタンを押して再生したいファイルに移動し、確認ボタンもしくは再生ボタンを押すと、音楽が再生されます。

## 12. テキスト、ドキュメント文書を聴く。

### 12.1 タイトルを選択し、再生する。

モード切替ボタンで、ドキュメントリーダーを選択します。ファイルリストが表示され、一番目のファイルが読み上げられます。上下方向ボタンで再生したいファイルに移動し、確認ボタンもしくは再生ボタンを押します。

### 12.2 移動単位を変更する。

再生中に移動単位を変更するには、再生中もしくは一時停止中に、上下方向ボタンを押します。移動単位は、ページ、段落、ライン、文章、単語、文字、単語検索から選択可能。再生中もしくは一時停止中に、上下方向ボタンを押すと移動単位が変更できます。移動単位を選択し、左右方向ボタンを押すと、選択した移動単位で、前後に移動します。

## 13. FMラジオを楽しむ。(T50XTのみ。)

### 13.1 聴きたい放送（周波数）を受信する。

まず、ブックセンスにイヤホンを接続します。(イヤホンがアンテナ代わりになります。)次に、モード切替ボタンで、ラジオを選択します。左右方向ボタンを長押しすると、受信できる周波数を自動検索します。ただし、かならずしもきれいに受信するわけではありません。受信状態は環境により異なります。また、周波数は76MHzから108MHzです。

受信している状態で、数字の1から6までの任意のボタンを長押しすると、受信している周波数をチャンネル登録できます。チャンネルは6局まで設定できます。受信中に、9番ボタンを押すと内蔵スピーカーから音声を出力します。

### 13.2 受信中の放送を録音し、録音したデータを再生する。

ラジオ受信中に録音ボタンを2秒以上長押しすると、録音が始まります。再度録音ボタンを押すと一時停止し、決定ボタンまたは、再生ボタンを押すと録音を終了します。録音したデータは、メディアプレーヤーのラジオフォルダに入っています。データを再生するには、モード切替ボタンを押して、メディアプレーヤーに移動してください。メディアプレーヤーのメニューが表示されますので、上方向ボタン、または、下方向ボタンを押して、ラジオフォルダに移動してください。右方向ボタンを押してラジオフォルダの中に入って下さい。ラジオフォルダでは、ファイルリストが表示されます。フ

ファイルリストでは録音の最初の5秒がタイトルとして再生されます。上下方向ボタンを押して、聴きたいファイルまで移動し、決定ボタンまたは、再生ボタンを押すことで、データが再生できます。

#### 14. 会話や会議、講演を録音する。

ラジオモード以外で録音ボタンを2秒以上長押しすると録音が始まります。録音方式には、一般録音とデジタイズ録音がありますが、初期設定は一般録音になっています。

録音ボタンを長押しすると、『録音開始』というアナウンスがあり、初めの5秒間はタイトルの録音になります。ここで録音した内容は、再生したいファイルを探す際にタイトルとして再生されますので、『何月何日の講演会』などのように、分かりやすいタイトルを録音していただくと、後でファイルを検索する際に便利です。録音を一時停止する場合は、再度録音ボタンを短く押します。録音を完全に終了する場合は、決定ボタンもしくは、再生ボタンを押します。

#### 15. 録音方式を変更する。(初期設定は一般録音です。)

メニューボタンを押して、メニューを開きます。上方向ボタンを押して、『共通オプション設定 下位メニューがあります』まで移動します。右方向ボタンを押して下位メニューに入ると、『アラーム設定 下位メニューがあります』とメッセージが出ます。下方向ボタンを3回押して、『音声録音設定ダイアログボックス』に移動します。右方向ボタンを押して、ダイアログボックスの中に入ると、録音形式(デジタイズ録音、一般録音)の選択があります。左右方向ボタンで、設定したい録音形式に合わせます。次に下方向ボタンを押して、録音フォーマット(MP3、WAV)選択に移動します。ここでも左右方向ボタンで、設定したいフォーマットに合わせます。さらに下方向ボタンを押して、サンプルレート選択に移動します。左右方向ボタンで、設定したいサンプルレートに合わせます。サンプルレートが高いほど、高音質になりますが、その分容量が大きくなり、録音時間が短くなります。再度下方向ボタンを押して、チャンネル選択に移動します。左右方向ボタンで、ステレオ、モノラルのが選択できます。設定したいチャンネルに合わせて、最後に決定ボタンを押します。そうすると、『設定完了』というアナウンスが出て、メニューを開く前の状態に戻ります。

#### 16. 録音したデータを再生する。

一般録音したデータは、メディアプレーヤーの中の、レコードフォルダの中に入っています。メディアプレーヤーモードのレコードフォルダまで移動し、右方向ボタンを押すと、録音データのファイルリストが表示されます。下方向ボタンを押すと、ファイル移動が出来ますので、再生したいファイルまで移動し、再生ボタンを押してください。

デジタイズ録音したデータは、デジタイズプレーヤーフォルダの中の、レコードフォルダの中に入っています。デジタイズプレーヤーモードのレコードフォルダまで移動し、右方向ボタンを押すと、録音データのファイルリストが表示されます。下方向ボタンを押すと、ファイル移動が出来ますので、再生したいファイルまで移動し、再生ボタンを押してください。

デジタイズ録音は最初の10秒間、一般録音は最初の5秒間の録音が、タイトルとしてファイルリストに表示されます。録音の初めには、分かりやすい題名を話すようにすると、録音データを検索する際に便利です。

#### 17. フォルダ、ファイルを削除する。

まず、削除したいフォルダまたはファイルが保存されているモードに切り替えます。ファイルリストが表示されている状態で、上下方向ボタンで、削除したいフォルダまたは、ファイルのタイトルが表示されるまで移動します。削除したいフォルダまたは、ファイルのタイトルが表示された状態で、3番ボタンを2秒以上長押しします。

ブックセンスが、ファイル名を読み上げ、削除するかどうかの確認を聞いてきますので、削除する際は決定ボタンを押してください。削除を取消す場合は、取消ボタンを押してください。

## 18. おやすみタイマーを設定する。

お休みタイマーは、指定した時間になると自動で電源をオフする機能です。おやすみタイマーの設定方法は次の通りです。

- 1) 数字の4番ボタンを2秒以上長押ししてください。
- 2) 「おやすみタイマー時間を入力してください。オフ」というメッセージが出ますので、0分から180分までの間の数字を入力してください。0を入力すると、おやすみタイマーはオフとして認識されます。
- 3) 確認ボタンまたは、メニューボタンを押します。

また、ラジオ使用中には、4番ボタンを押しておやすみタイマー時間の設定が出来ません。また、節電モードとおやすみタイマーを両方使う場合には、節電モードが優先します。おやすみタイマー設定時間が30分で、節電モードが5分に設定されていると、ブックセンスは5分後にオフされます。

## 19. ファイルまたはフォルダのコピー、貼り付け

任意のファイルやフォルダをコピーして、別の場所に張り付ける手順について説明します。

ファイルリストを表示中に任意のファイルでメニューボタンを押すと、「ファイルのコピー」というメッセージが出ます。ここで確認ボタンを押すと、選択中のファイルをコピーできます。

ファイルのコピーが完了したら、ファイルを移動したいフォルダに移動し、そこでメニューボタンを押します。「ファイルのコピー」というメッセージが出ますので、下方向ボタンを押します。「貼り付け」というメッセージが出ますので、確認ボタンを押します。「貼り付け開始」というメッセージが出て、ファイルの貼り付けを始めます。ファイル貼り付け中はピッピッという音が出ます。ファイル貼り付け中に数字の0番ボタンを押すと、貼り付けの進行状況をパーセンテージで確認できます。

ファイルの貼り付けを中止したい場合は、取り消しボタンを押します。「貼り付けをキャンセルしますか？はい。」というメッセージが出ます。貼り付けを中止する場合は確認ボタンを、そのまま貼り付けを継続する場合は取り消しボタンを押します。

## 20. お問い合わせ窓口。

ブックセンスの使用にあたり、ご不明な点やお気づきの点がございましたら、下記までご連絡願います。

〒665-0051

兵庫県宝塚市高司1-6-11

株式会社タイムズコーポレーション

お客様相談室：0120-960-807

受付時間：月曜日～金曜日 9：30～17：30

土日祝日は休業

FAX：0797-73-8894

E-mail：info@times.ne.jp

ホームページ：http://www.times.ne.jp/

## 2. 詳細説明編

### 目次

1. ブックセンスのご紹介	17ページ
1.1 ブックセンスの梱包	17ページ
1.2 ハードウェア仕様	18ページ
1.3 ブックセンスの概観	18ページ
1.3.1 前面	18ページ
1.3.2 左面	19ページ
1.3.3 右面	19ページ
1.3.4 上面	19ページ
1.3.5 下面	19ページ
1.3.6 裏面	20ページ
1.4 ブックセンス購入後、初めて電源を入れる	22ページ
1.5 バッテリー装着および取り外し方法	22ページ
1.6 電源オンとオフ	22ページ
1.7 ブックセンスの充電	22ページ
1.8 ブックセンスにSDカード、USBメモリー挿入およびCDドライブを接続	23ページ
1.9 パソコンのデータをブックセンスに移動する	23ページ
1.10 取扱説明書で使う用語の説明	24ページ
2. 基本機能	26ページ
2.1 ブックセンスで使われるフォルダ	26ページ
2.2 モードの切り替え	27ページ
2.3 ボリュームの調節	27ページ
2.4 ファイルの移動、選択、削除方法	27ページ
2.5 ファイルまたはフォルダのコピー、貼り付け	28ページ
2.6 ファイルまたはフォルダの削除	28ページ
2.7 特定ファイルまたはフォルダに移動	29ページ
2.8 基本保存装置の変更	30ページ
2.9 メニュー、ダイアログボックスの使い方	30ページ
2.10 充電率の確認	31ページ
2.11 日付と時間の確認	31ページ
2.12 アンドゥ (Undo) とリドゥ (Redo)	32ページ
2.13 おやすみタイマー設定	32ページ
2.14 Bluetooth オンとオフ	32ページ
2.15 キーロック	33ページ
2.16 ユーザー辞書	33ページ
2.16.1 ユーザー辞書の制作	33ページ
2.16.2 ユーザー辞書のコピー	34ページ
2.16.3 ユーザー辞書の変更	35ページ
3. ヘルプモードの使い方	36ページ
4. メディアプレーヤー	37ページ
4.1 メディアプレーヤーが再生するファイル	37ページ
4.2 オーディオファイルの再生および停止	37ページ
4.2.1 再生停止位置の保存と基本移動単位	38ページ
4.2.2 再生ボリュームと再生速度の保存	38ページ
4.3 一時停止	38ページ
4.4 移動単位の変更	39ページ
4.5 1曲単位の移動	39ページ
4.6 5曲単位の移動	39ページ
4.7 最初または最後の曲に移動	39ページ
4.8 時間移動	39ページ
4.9 再生ボリュームの変更	39ページ

4.10	しおり単位の移動	40ページ
4.11	区間リピート	40ページ
4.12	しおり	40ページ
4.12.1	しおりの挿入	41ページ
4.12.2	音声メモの挿入	42ページ
4.12.3	ハイライトしおりの挿入	42ページ
4.12.4	設定したしおりへの移動	43ページ
4.12.5	設定したしおりの削除	43ページ
4.13	再生速度の調節	44ページ
4.13.1	再生速度を遅くする	44ページ
4.13.2	再生速度を基本速度に戻す	45ページ
4.13.3	再生速度を速くする	45ページ
4.14	移動時間単位の設定及び時間移動	45ページ
4.15	ランダム再生	45ページ
4.16	パーセント移動	46ページ
4.17	リピート再生	46ページ
4.18	エコライザー設定	46ページ
4.19	再生リストの保存	47ページ
4.20	再生中のファイル情報の確認	47ページ
4.21	再生中ファイルのメディア情報の確認	48ページ
4.22	メディアプレーヤーメニューの使い方	48ページ
4.22.1	エコライザー設定	48ページ
4.22.2	再生設定	49ページ
	(1) ファイル名出力	50ページ
	(2) 区間リピート回数	50ページ
	(3) ランダム再生	50ページ
	(4) リピート再生	50ページ
4.22.3	再生リストを開く	51ページ
4.22.3.1	再生リストを再生する	51ページ
4.22.3.2	メディア情報を利用したファイル検索	52ページ
	(1) アーティスト別検索	52ページ
	(2) アルバム別検索	53ページ
	(3) ジャンル別検索	53ページ
4.22.4	再生リスト保存	54ページ
4.22.5	しおり情報	55ページ
4.22.6	CD-ROMにあるコンテンツの取込み	55ページ
5.	DAISYプレーヤー	57ページ
5.1	再生できるDAISYコンテンツ	57ページ
5.2	DAISYコンテンツの再生および終了	57ページ
5.3	一時停止	58ページ
5.4	移動単位の変更	58ページ
5.5	フレーズ単位の移動	59ページ
5.6	段落単位の移動	59ページ
5.7	見出し単位の移動	59ページ
5.8	コンテンツの最初または最後の見出しに移動	59ページ
5.9	時間単位の移動	59ページ
5.10	再生ボリュームの変更	60ページ
5.11	しおり単位の移動	60ページ
5.12	レベル単位の移動	60ページ
5.13	ページ単位の移動	61ページ
5.14	グループ単位の移動	61ページ
5.15	DAISYの種類による移動単位の違い	61ページ

5.16	しおり	61ページ
5.16.1	しおりの挿入	62ページ
5.16.2	音声メモの挿入	62ページ
5.16.3	ハイライトしおりの挿入	63ページ
5.16.4	設定したしおりへの移動	63ページ
5.16.5	設定したしおりの削除	64ページ
5.17	再生速度の調節	65ページ
5.17.1	再生速度を遅くする	65ページ
5.17.2	再生速度を基本速度に戻す	66ページ
5.16.3	再生速度を速くする	66ページ
5.18	時間移動単位の設定および時間移動	66ページ
5.19	読みたいページに移動	67ページ
5.20	読みたい見出しに移動	67ページ
5.21	パーセント移動	68ページ
5.22	テキストDAISYでの英語補助音声の使い方	68ページ
5.23	再生中のDAISYコンテンツの情報確認	69ページ
5.24	再生中コンテンツの再生状態情報確認	70ページ
5.25	再生ボリュームと再生速度の保存	70ページ
5.26	CD-ROMのDAISYコンテンツの再生	70ページ
5.27	DAISYプレーヤーメニューの使い方	70ページ
5.27.1	再生音声使用	71ページ
5.27.2	しおり情報	71ページ
5.27.3	CD-ROMにあるコンテンツの取込み	72ページ
6.	ドキュメントリーダー	74ページ
6.1	ドキュメントリーダーで読めるファイル	74ページ
6.2	文書ファイルの再生	74ページ
6.3	一時停止	74ページ
6.4	移動単位の変更	75ページ
6.5	ページ単位の移動	75ページ
6.6	段落単位の移動	75ページ
6.7	見出しレベル単位の移動	75ページ
6.8	ライン単位の移動	76ページ
6.9	文章単位の移動	76ページ
6.10	単語単位の移動	76ページ
6.11	文字単位の移動	76ページ
6.12	詳細読み	76ページ
6.13	しおり単位の移動	77ページ
6.14	単語検索	77ページ
6.15	しおり	77ページ
6.15.1	しおりの挿入	78ページ
6.15.2	音声メモの挿入	79ページ
6.15.3	ハイライトしおりの挿入	79ページ
6.15.4	設定したしおりへの移動	80ページ
6.15.5	設定したしおりの削除	81ページ
6.16	再生速度の調節	81ページ
6.16.1	再生速度を遅くする	82ページ
6.16.2	再生速度を基本速度に戻す	82ページ
6.16.3	再生速度を速くする	82ページ
6.17	英語補助音声の使用	82ページ
6.18	読みたいページに移動	83ページ
6.19	読みたい位置までパーセント単位で移動	83ページ
6.20	現在読んでいるファイル情報の確認	84ページ

6.21	ドキュメントリーダーのメニュー	84ページ
6.21.1	最近開いた文書のリスト	84ページ
6.21.2	しおり情報	86ページ
6.21.3	ページ設定	86ページ
	(1) ラインあたりの文字数	87ページ
	(2) ページあたりのライン数	87ページ
	(3) フォームフィード (改ページ情報) によるページ区分	88ページ
6.21.4	CD-ROMにあるコンテンツの取込み	88ページ
7.	ラジオ	90ページ
7.1	前の周波数を自動検索	90ページ
7.2	次の周波数を自動検索	90ページ
7.3	0.05MHz単位で前の周波数に移動	90ページ
7.4	0.05MHz単位で次の周波数に移動	90ページ
7.5	登録されたチャンネルの中で前のチャンネルに移動	91ページ
7.6	登録されたチャンネルの中で次のチャンネルに移動	91ページ
7.7	無音機能	91ページ
7.8	チャンネル登録及びチャンネル移動	91ページ
7.9	チャンネル検索感度の調節	92ページ
7.10	チャンネル削除	92ページ
7.11	内蔵スピーカで聴く	93ページ
7.12	現在の放送情報の確認	93ページ
7.13	ラジオ放送の録音	93ページ
7.14	ラジオメニューの使い方	94ページ
	7.14.1 内蔵スピーカからの音声出力設定	94ページ
	7.14.2 ラジオ放送録音設定	95ページ
	7.14.3 メニューを利用したチャンネル管理	96ページ
	7.14.3.1 メニューを利用したチャンネル登録	96ページ
	7.14.3.2 メニューを利用したチャンネル削除	96ページ
	7.14.4 メニューを利用したチャンネル検索感度設定	97ページ
8.	録音	98ページ
8.1	DAISY方式に録音	100ページ
8.1.1	DAISY録音中のしおり挿入	101ページ
8.1.2	DAISY録音中の見出し挿入	101ページ
8.1.3	DAISY録音中のフレーズの挿入	102ページ
8.2	一般録音	98ページ
8.2.1	一般録音中のしおり挿入	99ページ
8.3	オーディオ機器からの録音	102ページ
8.4	録音時間について	103ページ
9.	共通オプション設定	105ページ
9.1	アラーム設定	105ページ
9.1.1	設定したアラームの確認	105ページ
9.1.2	アラーム時間の設定	105ページ
9.1.3	アラーム削除	107ページ
9.2	日時設定	108ページ
9.2.1	日付と時間の確認	108ページ
9.2.2	日付と時間の設定	109ページ
9.3	TTS・ガイド音声設定	110ページ
9.4	音声録音設定	111ページ
9.5	システム情報確認	113ページ
9.6	Bluetooth(ブルートゥース)設定	114ページ
9.6.1	Bluetoothヘッドセットの接続	114ページ
9.6.2	Bluetooth オフ	116ページ

9.6.3 Bluetoothヘッドセット接続解除.....	116ページ
9.6.4 Bluetooth接続情報消去.....	117ページ
9.6.5 FTPを使ってパソコンからのファイル転送.....	117ページ
9.7 おやすみタイマー設定 .....	118ページ
9.8 節電モード設定 .....	119ページ
9.9 しおりのお知らせ設定 .....	119ページ
9.10 保存装置のフォーマット .....	120ページ
9.11 基本保存装置の設定 .....	121ページ
10. 拡張メニュー .....	123ページ
10.1 ソフトウェアアップグレード.....	123ページ
10.2 レジストリーバックアップ .....	123ページ
10.3 レジストリー復旧 .....	124ページ
10.4 効果音設定 .....	125ページ
11. 計算機 .....	126ページ
11.1 計算機の開始及び終了 .....	126ページ
11.2 数式の入力及び計算 .....	126ページ
11.3 計算機ヘルプモードの実行及び終了.....	127ページ
12. お問い合わせ先 .....	128ページ



## 1. ブックセンスのご紹介

この度はブックセンスをお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。

ブックセンスは韓国のHIMS社が開発した、小さくて軽い多機能デジタルデジプレーヤー及びレコーダーです。ブックセンスを使って次のようなことができます。

- 1) メディアプレーヤー：音楽やオーディオブックなど多様なマルチメディアファイルの再生ができます。再生速度調節、しおりの挿入、イコライザー（音質）の設定などができます。
- 2) ドキュメントリーダー：様々な文書ファイルの読み上げができます。文書読み上げ中、ページ、フレーズ、段落、ライン単位の移動ができます。また、しおりの挿入などができます。
- 3) デイジー（DAISY）プレーヤー：デイジーファイルの再生ができます。デイジーファイルの再生中、ページ、見出し、フレーズ単位の移動、しおりの挿入などができます。
- 4) ラジオ：FMラジオの受信、録音ができます。（FMラジオはブックセンスXT（モデル番号：T50XT）でのみ受信できます。ブックセンス（モデル番号：T50）ではFMラジオの受信はできません。）
- 5) 録音機能：内蔵マイクまたは外付けのマイクを利用した音声録音、他のオーディオ機器からのラインイン録音ができます。録音ファイルの形式はデジ録音、一般録音のいずれかを選択できます。一般録音の場合は、MP3もしくはWaveのいずれかを選択して録音できます。（ラインイン録音用ミニプラグケーブル、録音用外付けマイクは別売りです）
- 6) 時計およびアラーム機能：日時の確認およびアラームの設定ができます。
- 7) Bluetooth（ブルートゥース）ヘッドセットおよびFTPのサポート：Bluetoothヘッドセットに無線接続して使用することができます。また、Bluetoothを通してパソコンと接続してパソコンからのデータファイル転送もできます。（BluetoothはブックセンスXT（モデル番号：T50XT）でのみ対応しています。ブックセンス（モデル番号：T50）はBluetoothに対応していません。）

### 1.1 ブックセンスの梱包

ブックセンスの購入時に製品ボックスに下記の付属品が全て揃っているかをご確認ください。

- ブックセンス本体
- バッテリー（本体に装着されています。）
- 電源アダプタ
- イヤホン
- SDカード（本体に装着されています。）
- 取扱説明CD
- USB ケーブル（パソコンとの接続時に使用します）
- USBジェンダー（CDドライブやUSBメモリーなどに接続するときに使用します）
- ネックストラップ
- ポーチ

- 保証書、ユーザー登録用紙、返信用封筒（ユーザー登録用紙を返信用封筒で返信下さい）  
ユーザー登録はタイムズコーポレーションのホームページからも可能です。

## 1.2 ハードウェア仕様

ブックセンスのハードウェア仕様は次の通りです。

- 内蔵メモリー：4GB（内蔵メモリーは、ブックセンスXT(モデル番号：T50XT)にのみ内蔵されており、ブックセンス(モデル番号：T50)には内蔵メモリーはありません。）
- RAM：128MB
- MP3録音チップ内蔵(MP3録音の場合、FMラジオ、内蔵・外付けマイクを通した音声録音、ラインイン端子を利用する全ての録音に対応しています)
- USB OTGポート
- SDカードスロット
- FMラジオ（FMラジオはブックセンスXT(モデル番号：T50XT)でのみ受信できます。ブックセンス(モデル番号：T50)ではFMラジオの受信はできません。）
- ブルートゥース2.0（BluetoothはブックセンスXT(モデル番号：T50XT)でのみ対応しています。ブックセンス(モデル番号：T50)はBluetoothに対応していません。）
- ヘッドホン出力端子(3.5mmステレオミニジャック)
- マイク入力端子(3.5mmステレオミニジャック、ラインイン入力時にも使用)
- 内蔵ステレオスピーカ
- 内蔵マイク(モノラル)
- 着脱式バッテリー（リチウムポリマー、満充電時に連続12時間音楽再生可能）
- 電源充電口(3.5mm)

## 1.3 ブックセンスの概観

ブックセンスは直方形で、小型携帯電話と似ています。大きさは、幅4.7cm、縦10.8cm、厚さ1.85cmで、重さは115グラムです。

ブックセンスのボタン位置と外形についてご説明します。表面に四角い移動ボタンおよび数字ボタンがある面を「前面」、ネックストラップ掛けが飛び出している面を「上面」とします。前面が手前、上面が上になるように置いた状態でご説明します。

### 1.3.1 前面

前面の上のほうに小さい穴がたくさんあいている部分が内蔵スピーカです。

内蔵スピーカの下には「時計ボタン」があります。

時計ボタンの下には菱形の「矢印ボタン」があります。この移動ボタンは上、下、左、右の4つで構

成されます。この上、下、左、右のボタンを各々「上方向ボタン」、「下方向ボタン」、「左方向ボタン」、「右方向ボタン」と呼びます。

この4つのボタンの真ん中には「メニューボタン」があります。

4つの方向ボタンの下には「数字ボタン」があります。数字ボタンは電話の数字ボタンのような構成で、横3つ、縦4つ、合わせて12個のボタンで構成されます。一番上の列の左側に「1」、その右に「2」、その右に「3」番のボタンがあります。2番目の列の中央には「5」番ボタンがあって、このボタンに小さいポッチが突き出ています。4番目の列の一番左側には「取消(C)ボタン」、中央には「0」番ボタン、一番右側には「確認(0)ボタン」があります。

「取消ボタン」の下には充電状態を知らせるLEDランプがあります。「確認ボタン」の下にある小さい穴が「内蔵マイク」です。

### 1.3.2 左面

左面を上から触ると、3つのボタンと細長い穴があります。ボタンは上から順に、「モード切替ボタン」、「ボリュームボタン(細長いボタンの上がボリュームアップ、下がボリュームダウン)」で、細長い穴が「SDカードスロット」です。

### 1.3.3 右面

右面を上から触ると、2つのボタンと1つのスライドスイッチ、そして小さい穴があります。ボタンは上から順に「再生ボタン」、「録音ボタン」で、スイッチは「ホールドスイッチ」です。ホールドとは、キーロックのことです。ホールドスイッチは上下にスライドし、上がキーロック解除、下がキーロック実行になっています。「再生ボタン」は電源ボタンとしても使います。「再生ボタン」を使用した電源オン・オフについては1.6節の電源オン・オフで詳しく説明します。

「ホールドスイッチ」から下の方に小さい穴があります。これは「リセットボタン」です。もしブックセンスが何の動作もできなくなった場合にはクリップなどを使ってこのボタンを押して再起動させます。もし「リセットボタン」が押しにくい場合にはバッテリーを分離して、再び装着して再起動する方法もあります。ただし、バッテリーを分離してから装着するときには、バッテリー分離後、約10秒程度経過してからバッテリーを装着してください。

### 1.3.4 上面

上面には中央に突起がひとつあります。この突起はネクストラップ掛けです。このネクストラップ掛けを中心に、左側には外付けマイク入力端子、右側にはヘッドホン出力端子があります。ヘッドホン端子の上側には、突起でしるしがついています。

### 1.3.5 下面

下面には2つの穴があります。左側にある穴は電源アダプタを接続する電源充電口、右側にある穴

がUSB OTGポートです。ブックセンスのバッテリーを充電するときには、ブックセンスと一緒に提供した電源アダプタをこの電源充電口に挿入してください。USB OTGポートは、パソコンからのデータ転送するとき、パソコンに接続してブックセンスを充電するとき、USBメモリーおよび外付けCD-ROMドライブを接続して使うときにUSBケーブルを接続します。

### 1.3.6 裏面

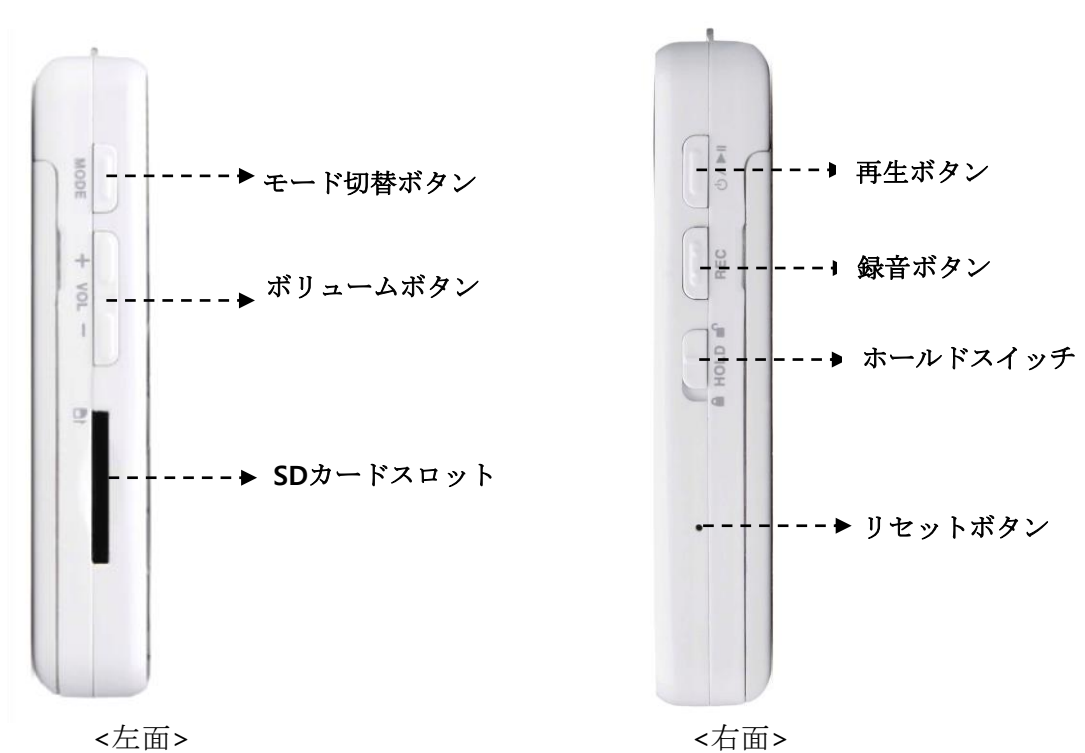
ブックセンスの裏面には、バッテリーが装着されています。バッテリー装着方法は1.5節の「バッテリー装着および取り外し方法」で詳しく説明します。

### 1.3.7 ブックセンスの各部の名称

(ブックセンス XT (T50XT) 外側ケースの色は白、ブックセンス (T50) 外側ケースの色は赤です)



<前面、上面、画面のボタンとポート>



## 1.4 ブックセンス購入後、初めて電源を入れる

ブックセンスをご購入して最初に電源をいれる際には、まず2時間程度充電してください。その後ホールドスイッチを上スライドし、キーロックを解除してください。キーロックを解除してから、再生ボタンを2秒以上長押しし、電源を入れてください。

## 1.5 バッテリー装着および取り外し方法

バッテリーを触ると、ツルツルした滑らかな面と、その反対面の少しザラザラした若干粗い面があります。そして、若干粗い面のすみを触りながら移動すると2つの四角いへこみがあります。

ブックセンス本体の裏面、下側に、四角い突起がありますので、バッテリーを装着するときには、バッテリーの若干粗い面とブックセンスの本体裏面をあわせるようにします。バッテリーの2つのへこみがある部分をブックセンス本体の裏面の下側にある突起に合わせます。反対側が浮き上がっている状態になりますので、浮き上がっている側をカチッと音がするまで押し込みます。

バッテリーを取り外すときは、背面の「バッテリーロックスイッチ」を上面方向に押し上げたままでバッテリーの両側を握って持ち上げます。右側面の録音ボタン、左側面のボリュームアップボタンの背面側に、バッテリーを取り外す際の指掛け用のへこみがあります。

ブックセンス使用中、ブックセンスが動かなくなるなどの問題が発生し、バッテリーを取り外してから改めて装着するときにはバッテリーを取り外した後、少なくとも10秒経過後に改めて装着してください。

## 1.6 電源オンとオフ

電源が入っていない状態で再生ボタンを約2秒長押しすると起動音が鳴って、電源が入ります。

ブックセンスがオンの状態で再生ボタンを約2秒長押しすると、電源オフのメロディが流れ電源が切れます。

電源が入ると、取消ボタンの下にあるランプ(LED)が薄い緑色に点灯します。電源を切るとこのランプも消えます。

## 1.7 ブックセンスの充電

ブックセンスを充電するには、次の二つの方法があります。

ひとつは、電源アダプタを使用しての充電。二つ目はパソコンに接続しての充電です。

電源アダプタで充電する場合は、ブックセンスの下面左側のAC電源ジャックに電源アダプタを接続して充電します。電源アダプタで充電する場合は、必ずブックセンスと一緒に提供される専用の電源アダプタを利用してください。アダプタを使用して充電する場合、約2時間半で完全充電できます。

パソコンに接続して充電するためには、ブックセンスと共に提供される「USBケーブル」をブックセンスの下面にあるUSB OTGポートとパソコンのUSBポートに接続します。USBポートで接続して充電するときには、ブックセンスが電源オフの状態では約5時間、電源オンの状態では約10時間で完全充電

できます。

ブックセンスの充電中には取消ボタンの下にあるランプ(LED)が赤く点灯します。完全充電されると薄い緑色に変わって、電源が入っている場合は、「充電完了。AC電源使用」とアナウンスします。

バッテリーが完全充電した後では約12時間程度連続使用ができます。ただし、これはMP3ファイルを再生するときの使用時間で、他の作業をするかBluetooth(ブルートゥース)ヘッドセット(XTのみ対応)を使用すると使用時間が短くなります。

## 1.8 ブックセンスにSDカード、USBメモリー挿入およびCDドライブを接続

SDカードを挿入するためには、SDカードの角の切れ込みがブックセンス本体側上側を向くようにして、本体の左面にあるSDカードスロットに挿入します。正常に挿入されるとブックセンスはSDカードを認識したという意味で、「ピンポーン」と効果音を出します。

SDカードを取り出す際は、指先でSDカードをブックセンス本体側に少し押し込んでください。そうすると、SDカードはブックセンス本体内部のバネによって、本体から5mmほど出てきます。SDカードの先端を指先でつまんで取り出してください。

USBメモリーを接続するためには、ブックセンスとともに提供される「USBジェンダー」の大きいコネクタ側にUSBメモリーを挿入して、反対側のコネクタをブックセンスのUSB OTGポートに接続します。USBジェンダーというのは、ブックセンスと共に提供される二つのUSBケーブルの、短い方のケーブルです。正しく接続されるとブックセンスは装置を正しく認識したという効果音を出します。

USBメモリーを取り外す際は、USBジェンダーをブックセンス本体から取り外し、その後、USBジェンダーからUSBメモリーを取り外してください。大容量のSDカードやUSBメモリーを挿入すると、ブックセンスはそのメモリーを認識するのに時間が掛かります。認識中にはビープ音が出ます。

CDドライブを接続する際の手順は下記の通りです。まず、ブックセンスの電源を入れます。次にCDドライブにACアダプタとUSBケーブルを接続します。CDドライブをブックセンスに接続するときには必ずCDドライブにAC電源にて電源を供給してください。そうしないと、ブックセンスがCDドライブを認識しない恐れがあります。次に、USBジェンダーの大きいコネクタとCDドライブに接続したUSBケーブルを接続し、USBジェンダーの反対側をブックセンスに接続します。そうすると、『ピンポーン』という効果音が出て、ブックセンスがCDドライブを認識したことをお知らせします。ブックセンスがCDドライブを認識してから、CDドライブにCDを挿入してください。

CDドライブを取り外す際は、初めにCDを取り出してから、CDドライブを取り外してください。

SDカード、USBメモリー、CDドライブを接続するときに、無理な力を入れて挿入すると、接続するメモリーやブックセンスが壊れる恐れがありますのでご注意ください。

## 1.9 パソコンのデータをブックセンスに移動する

ブックセンスにファイルをコピーするためには、まず、ブックセンスをパソコンに接続します。ブックセンスとパソコンの接続後に、データを指定し移動します。手順は以下の通りです。

- 1) ブックセンスとともに提供されたUSBケーブルを使ってブックセンスのUSB OTGポートとパソコンのUSBポートを接続します。
- 2) パソコンのマイコンピュータを起動すると「BOOKSENSE」と「リムーバブルディスク」が現れます。「BOOKSENSE」はブックセンスXT(モデル番号：T50XT)を接続した場合にのみ現れます。ブックセンス(モデル番号：T50)を接続した時には現れません。
- 3) 「BOOKSENSE」はブックセンスの内蔵フラッシュメモリーを意味し、「リムーバブルディスク」はブックセンスに挿入されている「SDカード」を意味します。ブックセンスにSDカードを挿入していないと、「リムーバブルディスク」は空きディスクと認識され、使用できません。
- 4) パソコンの「マイコンピュータ」で、「BOOKSENSE」あるいは「リムーバブルディスク」を選択して、その下のフォルダを見ると、「AUDIO BOOKS」、「DAISY」、「DOCUMENTS」、「MUSIC」、「PODCASTS」、「RADIO」、「RECORD」、「USERDICT」フォルダがあります。(リムーバブルディスクには、これらのフォルダの他に、「\$BS\_OTHER」というフォルダが現れます。また、「RADIO」フォルダはブックセンスXT(モデル番号：T50XT)でのみ現れます。ブックセンス(モデル番号：T50)では現れません。)
- 5) パソコンにあるファイルの中で再生したいファイルをコピーして、ブックセンスの該当するフォルダに貼り付けます。このときファイルの属性によってブックセンス内の適当なフォルダにコピーしなければなりません。2.1節の「ブックセンスで使用するフォルダ」で詳しく説明しますのでご確認ください。

パソコンと接続してファイルを移動している間は、ブックセンス本体は使用できません。ただし、充電はできます。

また、ブックセンスをパソコンに接続して、「AUDIO BOOKS」、「DAISY」、「DOCUMENTS」、「MUSIC」、「PODCASTS」、「RADIO(XTのみ表示)」、「RECORD」、「USERDICT」フォルダに入ってみると「PLAYLIST」と「MARK」フォルダがあります。このフォルダはブックセンスが自動で生成するファイルを保存するフォルダで、今後ブックセンスを使用していく中で、プレイリストやしおりを作成した際に、このフォルダ内にデータが保存されます。保存されたデータに障害がでる恐れがありますので、これらのフォルダにはファイルをコピーしないでください。「PLAYLIST」と「MARK」フォルダ内のファイルをパソコンで編集しないでください。

また、「AUDIO BOOKS」、「DAISY」、「DOCUMENTS」、「MUSIC」、「PODCASTS」、「RADIO (XTのみ表示)」、「RECORD」、「USERDICT」フォルダではなくて、任意にフォルダを作ってファイルをコピーした場合には、ブックセンスはそのフォルダあるいはそのフォルダ内のファイルを読むことができません。

ファイルを整理する場合は、各フォルダ内で、分かりやすいようにフォルダを作成、管理してください。

## 1.10 取扱説明書で使う用語の説明

この取扱説明書で使用する用語について簡単に説明します。

- 1) 「長押し」というのは、ボタンを2秒以上押すことです。



- 2) メニューを移動中に「下位メニューがあります」というメッセージが出ると、そのメニューには、更に下位のメニューがあることを意味します。右方向ボタンを押すことで下位のメニューに移動できます。
- 3) メニューを移動中に「ダイアログボックス」というメッセージが出ると、そのメニューは、いくつかの選択項目があることを意味します。
- 4) 「コンテンツ」というのは、各々のプログラムが再生できるファイルを意味します。
- 5) 「ファイルリスト」というのは、再生できるファイルまたはフォルダを示す一覧リストを意味します。

## 2. 基本機能

### 2.1 ブックセンスで使われるフォルダ

ブックセンスのフラッシュメモリーには次のようなフォルダがあります。

- 1) RECORD：メディアプレーヤーで使われるフォルダで、音声録音、ラインイン録音時に録音したファイルが保存されます。
- 2) RADIO：メディアプレーヤーで使われるフォルダで、ラジオ放送の録音したファイルが保存されます。「RADIO」フォルダはブックセンスXT(モデル番号：T50XT)でのみ現れます。ブックセンス(モデル番号：T50)では現れません。
- 3) AUDIO BOOKS：メディアプレーヤーで使われるフォルダで、各種オーディオファイルを保存するフォルダです。
- 4) PODCASTS：メディアプレーヤーで使われるフォルダで、インターネットで提供される学習用の資料、または講義資料などのファイルを保存するフォルダです。
- 5) MUSIC：メディアプレーヤーで使われるフォルダで、再生したい音楽ファイルを保存するフォルダです。
- 6) DOCUMENTS：ドキュメントリーダーで使われるフォルダで、テキストやワードなどの文書ファイルを入れるフォルダです。
- 7) DAISY：デイジープレーヤーで使われるフォルダで、各種DAISYコンテンツを保存するフォルダです。このフォルダ内では、各コンテンツをフォルダ単位で保存します。フォルダ単位でコピーせず、ファイル単位でコピーした場合には、ブックセンスはDAISYコンテンツとして認識しません。
- 8) \$BS\_OTHER：ブックセンスがSDカードに自動で生成するフォルダです。株式会社高知システムのパソコン用のアプリケーションソフト、「My Book2」を利用して、ブックセンスを介さずに、パソコンにSDカードを直接接続した場合、ブックセンスで使用しているSDカードであることをMY BOOK2が認識するために必要なフォルダです。このフォルダがあることで、MY BOOK2からSDカードに適切にファイルが転送されます。

メディアプレーヤーモードのファイルリストでは、AUDIO BOOKS、MUSIC、PODCASTS、RADIO (XTのみ表示)、RECORDフォルダが確認できます。

デイジープレーヤーモードのファイルリストではDAISYフォルダ内のファイルが確認できます。

ドキュメントリーダーモードのファイルリストでは、DOCUMENTSフォルダ内のファイルが確認できます。

SDカードスロットにSDカードを挿入すると、自動的に上記のフォルダ、「\$BS\_OTHER」、「AUDIO BOOKS」、「DAISY」、「DOCUMENTS」、「MUSIC」、「PODCASTS」、「RADIO (XTのみ表示)」、「RECORD」、「USERDICT」が生成されます。

## 2.2 モードの切り替え

再生したいコンテンツによってモードを切り替えてください。たとえば、テキストファイルになっている本を読みたいときにはドキュメントリーダーモードに変更して、音楽を聴きたいときにはメディアプレーヤーモードに変更してください。プログラムの切り替えは、製品の左面にある「モード切り替えボタン」を押します。ボタンを押すと、「メディアプレーヤー」、「デイジープレーヤー」、「ドキュメントリーダー」、「ラジオ（XTのみ表示）」の順にモードが変わります。（FMラジオはブックセンスXT（モデル番号：T50XT）でのみ受信できます。ブックセンス（モデル番号：T50）ではFMラジオの受信はできません。）

モードを切り替えると、各々のモードで再生することができるファイルリストが現れます。もしコンテンツの再生中、もしくは一時停止状態でモードを切り替えた場合、再びそのモードに戻って来たときには、モードを切り替える直前の状態を維持します。つまり、再生中に他のプログラムに切り替えて、またそのプログラムに帰ってきた場合、再生状態から始めます。

## 2.3 ボリュームの調節

左面にあるボリュームボタンを押して簡単に音量の調節ができます。ボリュームボタンの上側を押すとボリュームアップ、下側を押すとボリュームダウンします。ボリュームは1から21段階まで調節できます。ボリュームアップ、ボリュームダウンボタンを押すと、変更されたボリューム段階を音声でお知らせします。基本値は15です。

コンテンツ再生中にボリュームを調節すると、メッセージなしでボリュームが調節されます。一時停止あるいはリストを読み上げるときにボリュームを調節するとボリューム段階を案内します。ただし、再生中にボリュームを調節すると、基本値になった時に「ピッ」という音を出します。最小・最大値、つまり、1段階と21段階ではピンという音を出します。

ブックセンスではイヤホンボリュームと内蔵スピーカボリュームを別々に調節することができます。基本的なボリュームは内蔵スピーカボリューム調節で、イヤホンを挿入した状態ではイヤホンから出る音のボリュームが調節されます。イヤホンを取り外すとまた内蔵スピーカボリューム調節に戻ります。

## 2.4 ファイルの移動、選択、削除方法

メディアプレーヤーなどの各モードでファイルリストの中を移動する方法は次の通りです。

- 1) 前の項目に移動：上方向ボタン。
- 2) 次の項目に移動：下方向ボタン。
- 3) 選択したフォルダに入る：右方向ボタン。
- 4) 現在のフォルダから上位のフォルダに戻る：左方向ボタン。
- 5) 現在選択中の項目の位置を表示：0ボタン。

- 6) コンテンツを開く(再生)：再生ボタンまたは確認ボタン。
- 7) 再生を停止して、ファイルリストに戻る：取消ボタン。
- 8) ファイルリストで5つ前の項目に移動：数字の1番ボタン。
- 9) ファイルリストで5つ次の項目に移動：数字の4番ボタン。
- 10) ファイルリストで10個前の項目に移動：数字の2番ボタン。
- 11) ファイルリストで10個次の項目に移動：数字の5番ボタン。
- 12) ファイルリストの最初の項目に移動：数字の3番ボタン。
- 13) ファイルリストの最後の項目に移動：数字の6番ボタン。
- 14) ファイルまたはフォルダの削除：数字の3番ボタンを2秒以上長押しします。
- 15) 特定のファイルまたはフォルダに移動：8番ボタン。
- 16) 基本保存装置の変更：数字の0番ボタンを2秒以上長く押しします。
- 17) 全部選択：数字の7番ボタン(メディアプレーヤーでのみ使えます。)
- 18) 個別選択：数字の9番ボタン(メディアプレーヤーでのみ使えます。)
- 19) 選択を取消：取消ボタン(メディアプレーヤーでのみ使えます。)

上記の16番から18番までの項目は、メディアプレーヤーでのみ使える機能で、例えば、デジプレーヤーなどのほかのモードではこの機能は動作しません。

## 2.5 ファイルまたはフォルダのコピー、貼り付け

任意のファイルやフォルダをコピーして、別の場所に張り付ける手順について説明します。

ファイルリストを表示中に任意のファイルでメニューボタンを押すと、「ファイルのコピー」というメッセージが出ます。ここで確認ボタンを押すと、選択中のファイルをコピーできます。

ファイルのコピーが完了したら、ファイルを移動したいフォルダに移動し、そこでメニューボタンを押します。「ファイルのコピー」というメッセージが出ますので、下方向ボタンを押します。「貼り付け」というメッセージが出ますので、確認ボタンを押します。「貼り付け開始」というメッセージが出て、ファイルの貼り付けを始めます。ファイル貼り付け中はピッピッという音が出ます。ファイル貼り付け中に数字の0番ボタンを押すと、貼り付けの進行状況をパーセンテージで確認できます。ファイルの貼り付けを中止したい場合は、取り消しボタンを押します。「貼り付けをキャンセルしますか?はい。」というメッセージが出ます。貼り付けを中止する場合は確認ボタンを、そのまま貼り付けを継続する場合は取り消しボタンを押します。

## 2.6 ファイルまたはフォルダの削除

どのモード使用中にも、使用しないファイルまたはフォルダを、ファイルリストから削除ができます。削除方法は次の通りです。

- 1) 2.4節の「ファイルリストでの移動、選択、削除方法」で説明した通りに、上方向、下方向、左方

向、右方向ボタンを使って、削除したいファイルあるいはフォルダに移動します。

- 2) 数字の3番ボタンを2秒以上長押しします。そうすると、「(ファイル名またはフォルダ名)を削除しますか。はい」というメッセージが出ます。
- 3) メニューボタンまたは確認ボタンを押すと、「ファイル(またはフォルダ)削除完了」というメッセージがあり、選択したファイルまたはフォルダを削除して元のファイルリストに戻ります。  
もし、削除したくない場合には、取消ボタンを押すか、上記の2番目の段階で左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して「いいえ」に変更してメニューボタンまたは確認ボタンを押します。

メディアプレーヤーの場合、任意のファイルまで移動し、数字の9番ボタンを押して、削除するファイルまたはフォルダを選択しながら移動して、3番ボタンを2秒以上長押しすると選択したファイル及びフォルダを一気に削除することができます。なお、7番ボタンを押して現在のフォルダにある全てのファイルあるいは全ての下位のフォルダを選択した後、3番ボタンを2秒以上長押しすると、選択したファイルとフォルダを一気に削除することができます。

ただし、ドキュメントリーダー及びデジプレーヤーでは、複数のファイルまたはフォルダ削除はできません。一つずつ削除してください。

SDカードがロックされている状態で、3番ボタンを2秒以上長押しすると、「SDカードがロックされています。ファイルを削除できません」というメッセージが出ます。

## 2.7 特定ファイルまたはフォルダに移動

ブックセンス使用中、ファイルリストで特定のファイルまたはフォルダに移動することができます。例えば、現在のフォルダに150個のファイルがあるとします。ここで、70番目のファイルに移動したいときには次の方法で移動します。

- 1) ファイルリストで8番ボタンを押します。そうすると、「移動するフォルダまたはファイルの番号を入力してください。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出ます。
- 2) ここで移動したいファイルまたはフォルダの位置を数字で入力した後、メニューボタンまたは確認ボタンを押します。この例では、数字ボタンで7、0を入力してメニューボタンまたは確認ボタンを押します。

メッセージの途中で数字を入力すると、ブックセンスはメッセージを中断して、入力した数字を読み上げます。

- 3) 入力した数字に該当するファイルまたはフォルダに移動して、そのファイルまたはフォルダ名を読み上げます。

移動をキャンセルしたい場合には、数字入力の段階で取消ボタンを押します。

入力した数字のファイルまたはフォルダが無い場合は、「存在しないファイルまたはフォルダ番号です」というメッセージが出ます。

特定ファイルまたはフォルダに移動を取り消したい場合には、上記の2番目の段階で、数字を入力する前に、取消ボタンを押してください。あるいは、上記の3番目の段階で、確認ボタンではなく、取消ボタンを押してください。

入力したすべての数字を取り消したい場合には、入力した数字がすべて削除される時まで、取消ボタンを繰り返して押してください。もしくは、取消ボタンを長押ししてください。全ての数字がすべての数字が削除されると、ベルの音と、「入力がありません」というメッセージが出ます。ここでもう一回取消ボタンを押すと、「取消し」というメッセージが出て、編集ボックスが閉じます。すべての数字を消さないと編集ボックスを閉じることが出来ません。数字の入力待ち状態では、BGMが流れます。

## 2.8 基本保存装置の変更

ブックセンスではメモリー(保存装置)別にファイルリストを確認することができます。メモリーを変更するには、数字の0番ボタンを2秒以上長押しします。そうするとブックセンスに接続されているすべてのメモリー(保存装置)、例えば、ブックセンスの内部フラッシュメモリー、SDカード、USBメモリーを順に読み上げます。(内蔵メモリーは、ブックセンスXT(モデル番号:T50XT)にのみ内蔵されており、ブックセンス(モデル番号:T50)には内蔵メモリーはありません。)

メニューを使って他のメモリーのファイルリストを確認する方法は、9.11節の「基本保存装置の設定」で詳しく説明します。

## 2.9 メニュー、ダイアログボックスの使い方

ブックセンスでは各々のモードで使われるメニューを持っています。メニューを使用するためには、メニューボタンを押してメニューを呼び出します。メニューの移動方法は次の通りです。

- 1) 前のメニュー項目に移動：上方向ボタン。
- 2) 次のメニュー項目に移動：下方向ボタン。
- 3) 下位メニューに入るまたはメニューの実行：右方向ボタン、メニューボタンまたは確認ボタン。
- 4) 上位のメニューに戻る：左方向ボタン。
- 5) メニューを閉じる：取消ボタン。

最上位メニューでは左方向ボタンを押してメニューを閉じることもできます。

メニューを呼び出して、メニュー内で移動するときに、メニュー名の後で「下位メニューがあります」あるいは「ダイアログボックス」などの案内メッセージが出る場合があります。

「下位メニューがあります」が付いているメニュー項目は、右、左ボタンを使って下位メニューに入ったり、上位メニューに戻ったりできます。

「ダイアログボックス」が付いているメニュー項目の場合には、右ボタンを押すと、すぐそのメニューが実行されますので、上位のメニューに戻ることができません。

メニューを実行して、ダイアログボックスが開いてからは、次のように選択項目間を移動します。

- 1) ダイアログボックス内で、前の設定項目に移動：上方向ボタン。
- 2) ダイアログボックス内で、次の設定項目に移動：下方向ボタン。
- 3) ダイアログボックス内で、設定する値を変更：左方向ボタンまたは右方向ボタン。
- 4) 選択した内容を確定して、ダイアログボックスを閉じて、選択を適用する：メニューボタンまたは確認ボタン。
- 5) 選択した内容を適用せず、設定を取消して、ダイアログボックスを閉じる：取消ボタン。  
ダイアログボックスを終了した場合には、メニューを呼び出す直前の状態に戻ります。

メニュー、ダイアログボックス内では、メニュー名及び設定値などを循環しながらお知らせします。

メニューを実行した時に現れるダイアログボックスでのデータ入力方法は次の通りです。

- 1) 数字データの入力：数字ボタンを使って入力します。
- 2) 一文字(数字)ずつ削除：取消ボタンを押します。
- 3) 入力したすべてのデータを削除：取消ボタンを2秒以上長押しします。
- 4) 一文字ずつ移動しながら確認：左方向または右方向ボタンを押して移動しながら確認します。
- 5) メニュー実行を取消し：取消ボタンを押して最後の文字まで削除して、もう一回取消ボタンを押すとメニューを閉じます。

ダイアログボックス内の項目の入力待ち状態で、2秒以上ボタン操作がない場合、ブックセンスが編集ボックスの入力待ち状態であることを知らせるためにBGMが再生されます。

## 2.10 充電率の確認

ブックセンスの充電率を確認するためには、電源が入っている状態で「確認ボタン」を長押しして確認します。バッテリーの充電率は、例えば「バッテリー段階8」のようにバッテリーの充電率を10段階でお知らせします。電源アダプタの使用中に充電率を確認すると、「充電中、AC電源使用」というメッセージが出ます。電源アダプタをはずした直後に充電率を確認すると、バッテリーの特性上、不正確な情報をお知らせしますので、電源アダプタをはずしてから5秒以上後に充電率を確認してください。ただし、パソコンと接続しての充電中には、ブックセンスが動作しませんので、充電状態の確認ができません。この場合には充電LEDの色を見て確認してください。

## 2.11 日付と時間の確認

電源オンの状態でも、電源オフの状態でも「時計ボタン」を押して日付と時刻の確認ができます。このボタンを押すと時間、日付、曜日、充電率の順で読み上げます。読み上げ中に改めて時計ボタンを押すと、読み上げを中止します。

日付と時間の確認をするためには、予め「共通オプション設定」で日付と時間を設定する必要があります。設定方法は9.2.2節の「日付と時間の設定」をご確認ください。

## 2.12 アンドゥ (Undo) とリドゥ (Redo)

ある動作をした後、左方向ボタンを2秒以上長押しすると、その動作の前の状態に戻ります。これを「アンドゥ (Undo)」と呼びます。また、アンドゥ操作をした後、右方向ボタンを2秒以上長押しすると、アンドゥ動作を取り消して、アンドゥする前の状態に戻ります。これを「リドゥ (Redo)」と呼びます。

これらの動作は、コンテンツを再生中に、ページ移動や、パーセント移動で、再生位置を移動した際、移動する前の内容を再度確認したい時などに便利です。

アンドゥとリドゥは3回まで繰り返して使えます。また、ラジオモードでは、アンドゥとリドゥは使えません。その他、ドキュメントリーダーでは、ライン単位、章単位、単語単位、文字単位、発音単位での移動では使えません。

## 2.13 おやすみタイマー設定

お休みタイマーは、指定した時間になると自動で電源をオフする機能です。おやすみタイマーの設定方法は次の通りです。

- 1) 4番ボタンを2秒以上長押ししてください。
- 2) 「おやすみタイマー時間を入力してください。XX、数字ボタンを使って入力してください」と言うメッセージが出ますので、0分から180分までの間の数字を入力してください。0を入力すると、おやすみタイマーはオフとして認識されます。
- 3) 確認ボタンまたは、メニューボタンを押します。

ラジオ使用中には、4番ボタンを押しておやすみタイマー時間の設定が出来ません。おやすみタイマー設定時間は、共通オプション設定でも設定することが出来ます。9.7節のおやすみタイマー設定をご確認ください。

一度おやすみタイマー設定時間を設定すると、指定した時間になると、ブックセンスはオフになります。節電モードとおやすみタイマーを両方使う場合には、節電モードが優先します。例えば、おやすみタイマー設定時間が30分で、節電モードが5分に設定されていると、ブックセンスは5分後にオフされます。

## 2.14 Bluetooth のオンとオフ

ブックセンスはBluetoothヘッドホンと接続して、無線で楽しむことが出来ます。ブックセンスとBluetoothステレオヘッドホンを接続するには、6番ボタンを2秒以上長押しして、Bluetoothをオンにします。そうすると、Bluetoothヘッドホンとの接続が可能になります。ラジオ使用中は、6番ボタンを



押してもBluetoothをオン・オフすることが出来ません。

共通オプション設定を使ってBluetoothをオン・オフすることも出来ます。Bluetooth設定の詳細は、9.6節のBluetooth設定をご確認ください。

## 2.15 キーロック

ブックセンスを使って音楽を聴いたり、あるいは本を読んだりしている最中に、誤って他のボタンを押す可能性があります。また、電源をオフにした状態でかばんやポケットに入れておくと、誤ってボタンが押される場合もあります。このような誤動作を防ぐために、キーロック機能があります。

キーロック機能を有効にするには、右面にある「ホールドスイッチ」を下方向にスライドしてください。そうすると、電源オンの状態でも、オフの状態でもすべてのボタンが動作しません。またロックを解除するには、このロックスイッチを上方向にスライドしてください。

## 2.16 ユーザー辞書

### 2.16.1 ユーザー辞書の制作

この機能は、予め単語の読み方や発音を指定することにより、ブックセンスがテキストデータを読み上げるときに、特定の単語を、指定した発音で読み上げるようにする機能です。

この機能を使うためには、パソコンが必要になります。まず、パソコンのNotePadあるいは、メモ帳を開いて、ユーザー辞書を作ります。ユーザー辞書の作り方は次の通りです。

- 1) NotePadまたはメモ帳に、読み方を編集したい単語を入力し、その後にコンマを入れます。
  - A. 発音変換をしようとする原本単語です。
  - B. 辞書に登録する原本単語は重複して登録することができません。但し、品詞の違う単語は登録が可能です。
  - C. 漢字、ひらがな、かたかな（全角）、アルファベット（全角、大文字/小文字）、数字（全角）、記号を入力することができます。
  - D. 単語の長さは29文字以下で入力してください。
- 2) 新しく登録したい読み方、アクセントを入力し、その後にコンマを入れます。
  - A. 変換されて発音される内容です。
  - B. カタカナで発音データを入力します。
  - C. また、`、/ を利用してアクセントの位置と境界を表示します。発音の長さは29文字以下で入力が可能です。
  - D. ^: アクセントを付ける位置(強く発音する音)を表します。
  - E. /: アクセント区の境界(合成語などの単語と単語の境界)を表します。
  - F. ^アクセントを付けることができるのは一つのアクセント区に対して1ヶ所です。
  - G. アクセント記号は“キャ”などの“キ”と“ャ”の間に入れることはできません。

- H. 発音とアクセント区の最初の文字には“ッ”、“ャ”、“ン”など発音が不可能な文字を設定することはできません。

〈例〉

- I. オシャベリデ<sup>ン</sup>タク。これは、アクセント区が1つで、アクセント位置が1つなので、OK。
- J. オシャベリ/<sup>デ</sup>ンタク。これは、アクセント区が2で、アクセント位置が1つなので、OK。
- K. オシャ<sup>ベ</sup>リ/<sup>デ</sup>ンタク。これは、アクセント区が2つで、アクセント位置が2つなので、OK。
- L. オシャ<sup>ベ</sup>リデ<sup>ン</sup>タク。これは、アクセント区が1つしかないのに、アクセント位置が2つあるため、NG。
- M. オシ<sup>ャ</sup>ベリ/<sup>デ</sup>ンタク。これは、アクセント位置がシャのシとヤの間にあるため、NG。
- 3) 登録したい単語の品詞を入力します。動詞の場合は活用を入力も必要です。
- A. 普通名詞、姓、名前、地名、企業名、その他固有名詞、代名詞、動詞、形容詞、形容動詞、副詞、記号、連体詞、接続詞、接頭語、接尾語、感動詞、助詞の18種類の中から1つ選択します。
- B. 品詞が動詞の場合は「元の単語」を動詞の原形の形で登録しなければなりません。
- C. 発音も原形の形に合わせて入力しなければなりません。
- D. 動詞を登録する場合、五段活用、一段活用のいずれかを選択します。
- E. 同じ単語で同じ品詞の場合は、一つしか登録できません。
- 4) 作成したファイルを「USERDICT.csv」と言うファイル名で保存してください。

例。宝塚市の読み方を登録したい場合。まずブックセンスとパソコンを接続します。NotePadもしくは、メモ帳を開き、『宝塚市、<sup>たづ</sup>が、固有名詞』と入力して、名前をつけて保存を選択します。保存先をデスクトップなど分かりやすい場所にして、USERDICT.csvという名前で保存してください。指定した場所に来た、USERDICT.csvファイルを、ブックセンスのUSERDICTフォルダにコピーしてください。これで登録が完了です。

2回目からは、ブックセンスのUSERDICT.csvファイルに追加し、保存してもらうだけで辞書登録されます。

## 2.16.2 ユーザー辞書のコピー

パソコンのUSERDICT.csvというファイルを、ブックセンスのフラッシュメモリー内のUSERDICTフォルダにコピーしてください。ブックセンス(T50)では、USERDICT.csvファイルをSDカードのUSERDICTフォルダにコピーしてください。

パソコンからブックセンスにこのファイルをコピーするためには、ブックセンスをUSBケーブルでパソコンに接続し、パソコンでマイコンピュータを開いてください。パソコン上のUSERDICT.csvファイルをコピーして、T50XTの場合は、マイコンピュータ上のBOOKSENSEフォルダ内のUSERDICT内に貼り

付けてください。T50の場合は、リムーバブルディスクフォルダ内の、USERDICTフォルダ内に貼り付けてください。

USERDICT.csvファイルのコピー、貼り付けが完了しましたら、ブックセンスとパソコンの接続を解除してください。接続を解除すると、USERDICT.csvの設定が適用されます。

### 2.16.3 ユーザー辞書の変更

既に作ったユーザー辞書の内容を変更したい場合には、パソコンで、USERDICT.csvファイルを開いて、内容を編集し、改めてパソコンに保存します。パソコンに保存したファイルをブックセンスにコピーすると、変更したユーザー辞書の発音が適用されます。

ユーザー辞書の制作方法や、ファイルのコピー方法は、上記をご確認願います。

### 3. ヘルプモードの使い方

ヘルプモードというのは、ボタンを押したときにそのボタンの機能を教えてくれるモードです。デジプレーヤー、ドキュメントリーダーなど、モードによって違うヘルプが出ます。ヘルプモードではボタンを押してもそのボタンの機能は実行しません。

ヘルプモードを実行するには、メニューボタンを2秒以上長押しします。終了するには再度メニューボタンを2秒以上長押しします。

メニューを利用しヘルプモードを実行する方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。
- 2) 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「ヘルプモード」まで移動します。
- 3) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押し、ヘルプモードを実行します。
- 4) ヘルプモードを終了するためにはメニューボタンを2秒以上長押しします。

## 4. メディアプレーヤー

メディアプレーヤーというのはMP3ファイルのようなオーディオファイルを再生するモードです。

### 4.1 メディアプレーヤーが再生するファイル

ブックセンスのメディアプレーヤーが再生できるファイルは次のようなファイルです。

mp3, mp4, wav, wma, ogg, asf, flac, mpc, 3gp, audible, wmv

### 4.2 オーディオファイルの再生および停止

オーディオファイルを再生するためには、まず「モード切替ボタン」を押してメディアプレーヤーまで移動します。工場出荷状態では、最初のモードがメディアプレーヤーです。

メディアプレーヤーに入ると、AUDIO BOOKS、MUSIC、PODCASTS、RADIO (XTのみ表示)、RECORDという5つのフォルダが現れます。上下キーで再生したいフォルダまで移動し、右ボタンを押すとフォルダの中に入り、ファイルリストが現れます。ファイルリストでは、タイトル名のあとに、1 スラッシュ5 などのようなアナウンスがあります。これは5個ファイルがある内の1番目のファイルの名前を読み上げています、という意味です。他のファイルに移動したい場合は、上下ボタンを使います。

ファイルリストで上下ボタンを使って再生したいフォルダまたはファイルに移動し、再生ボタンまたは確認ボタンを押すとファイルを再生します。フォルダで再生ボタンまたは確認ボタンを押すと、そのフォルダにあるすべてのファイルが再生されます。そして、ファイルで再生ボタンまたは確認ボタンを押すと、そのファイルのみを再生します。

ファイルリストで上下ボタンを押して、再生したいファイルで9番ボタンを押して再生するファイルを選択した後で、再生ボタンまたは確認ボタンを押すと、選択したファイルをすべて再生します。ただし、フォルダを超えて、ファイルを選択することはできません。

ファイルリストで数字の7番ボタンを押してから、再生ボタンまたは確認ボタンを押すと、現在のフォルダにあるすべてのファイルを再生します。

再生を開始すると、ファイルリストは閉じて、再生リストが現れます。再生リストではファイルリストで選択したファイルが確認できます。ファイル再生中または一時停止中には再生リストが現れた状態で動作します。

現在の再生リストではない、他のファイルを再生するには、ファイルリストに戻ってください。ファイルリストに戻るためには取消ボタンを押します。そうすると、再生を終了して、ファイルリスト

に戻ります。

#### 4.2.1 再生停止位置の保存と基本移動単位

ブックセンスのメディアプレーヤーでは、フォルダによって、再生停止位置を保存するかどうかや、基本移動単位が変わります。詳細は次の通りです。

- 1) AUDIO BOOKS、PODCASTS：この二つのフォルダ内のファイルについては、ブックセンスは再生停止位置を自動で記憶します。ファイル再生中に停止して、後でまた再生をすると、前に読み終わったところから再生します。基本移動単位は時間移動です。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押すと、指定した移動時間単位で前後に移動できます。
- 2) RECORD、RADIO：この二つのフォルダでは、コンテンツの全体再生時間が10分以上であれば、再生停止位置を自動で記憶し、次に再生する際には、前に停止したところから再生します。基本移動単位は一曲です。即ち、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して前の曲もしくはファイル、あるいは次の曲もしくはファイルに移動します。
- 3) MUSIC：このフォルダでは、ファイルの再生停止位置を記憶しません。もし再生停止位置を記憶しておく必要がある場合には、そのファイルをAUDIO BOOKSあるいはPODCASTSフォルダに移動してください。MUSICフォルダでの基本移動単位は一曲です。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、前の曲あるいは次の曲に移動します。

また、全てのフォルダで、ファイルを閉じるときに取消ボタンを2秒以上長押しすると、ブックセンスは「再開しおりを削除して終了します」というメッセージが出ます。確認ボタンを押すと、ブックセンスは再生停止位置を記憶しないままファイルを閉じます。取消ボタンを押すと、ブックセンスはそのファイルの再生停止位置を記憶します。

#### 4.2.2 再生ボリュームと再生速度の保存

AUDIO BOOKSあるいはPODCASTフォルダ内のすべてのファイルを選択して再生するか、これらのフォルダ内のフォルダを選択してフォルダ単位で再生中に取消ボタンを押すと、ブックセンスは再生中に設定した再生ボリュームと再生速度が自動で保存してから再生を停止します。すべてのファイルを選択せずに、特定のファイルのみを選択して再生した場合には、再生ボリュームと再生速度は保存されません。

#### 4.3 一時停止

再生中に再生ボタンを押すと一時停止状態になります。一時停止状態で再生ボタンを押すと再生を再開します。

#### 4.4 移動単位の変更

再生リストにあるファイルの再生中または一時停止中に、前の曲(ファイル)または次の曲(ファイル)に移動したり、あらかじめ設定した時間単位で前後に移動したりすることができます。

移動単位は「しおり、1曲、5曲、最初または最後の曲、移動時間、時間移動、再生ボリューム」の順に変更できます。移動単位は、上方向ボタンまたは下方向ボタンで変更できます。

移動単位を選択した後は、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、前あるいは後に移動して再生できます。

#### 4.5 1曲単位の移動

上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、移動単位を「1曲」に変更した後で、左方向ボタンを押すと、一曲前の曲を再生します。右方向ボタンを押すと、一曲次の曲を再生します。

#### 4.6 5曲単位の移動

上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動単位を「5曲」に変更した後で、左方向ボタンを押すと、前の5曲目の曲を再生します。右方向ボタンを押すと、次の5曲目の曲を再生します。

#### 4.7 最初または最後の曲に移動

上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動単位を「最初または最後の曲」に変更した後で、左方向ボタンを押すと最初の曲を、右方向ボタンを押すと最後の曲を再生します。

#### 4.8 時間移動

ブックセンスでは、予め指定した時間移動単位で、再生中のコンテンツの中を前後に移動することができます。時間移動単位の変更は、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動単位を「移動時間」に変更します。右方向ボタンを押すと、5秒、10秒、30秒、1分、2分、5分、10分、20分、30分、1時間の順に時間移動単位が変更されます。初期設定は5秒です。上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動単位を「時間移動」に変更し、左方向ボタンを押すと、設定した時間移動単位で前に戻って再生します。右方向ボタンを押すと、設定した時間移動単位で先に進んで再生します。

時間の設定の詳細は4.14節の「時間単位の移動設定及び時間移動」をご確認ください。

#### 4.9 再生ボリュームの変更

上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動単位を「再生ボリューム」に設定します。左方向ボタンあるいは右方向ボタンを押して再生ボリュームを調整します。再生ボリュームは-5から+6まで調整できます。

## 4.10 しおり単位の移動

既にしおりを設定したファイルでは、しおり単位で移動することができます。コンテンツ再生中に上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、移動単位を「しおり」に設定し、左方向ボタンあるいは右方向ボタンを押すと、前のしおりあるいは次のしおりに移動できます。再生中のファイルにしおりが設定されていないと、上方向ボタンあるいは下方向ボタンを押しても移動単位に「しおり」は出ません。

また、しおりには、しおり、音声メモ、ハイライトしおりの3種類がありますが、しおり単位の移動では、しおりの種類を特定することはできません。

## 4.11 区間リピート

区間リピートは、オーディオファイルを聴くときに、特定の空間を繰り返し聞きたいときに使う機能です。区間リピートを設定する手順は次の通りです。

- 1) ファイル再生中に区間リピートを始めたいところで録音ボタンを押します。
- 2) 「区間スタート」というメッセージが出て、この部分を区間リピートの始点として登録して、再生を続けます。
- 3) ファイル再生中に区間リピートの終点で録音ボタンをもう一回押します。
- 4) 「指定完了」というメッセージが出て、この部分を区間リピートの終点として設定します。

このように設定すると、設定した区間を指定した回数だけ繰り返して再生します。

繰り返しの回数の設定方法は4.22.2節の「再生設定」の「区間リピート回数」をご確認ください。

区間リピート再生中に、区間リピートを取消したいときには、再生ボタンを押してください。再生ボタンを押すと、「区間リピート停止」というメッセージが出て、区間リピート機能が取り消されます。

区間リピートは、ひとつのファイル内でしか使用できませんので、終点を指定しないままそのファイルの再生が終わると、自動で区間リピート機能は解除されます。

## 4.12 しおり

ブックセンスでは、再生中のコンテンツにしおり、音声メモ、ハイライトしおりを挿入、すでに挿入されているしおり、音声メモ、ハイライトしおりに移動、挿入しておいたしおり、音声メモ、ハイライトしおりを削除することができます。一度コンテンツに設定したしおり情報は、再生を取消しても、そのまま保存されます。

しおりは一つのコンテンツに1000個まで挿入できます。

しおりと関係のあるボタンは次のようなボタンがあります。

- 1) 1番ボタン: しおり、音声メモ、ハイライトしおりの挿入。初期設定はしおりの挿入です。
- 2) 2番ボタン: しおり、音声メモ、ハイライトしおりに移動。
- 3) 3番ボタン: 特定のしおり、音声メモ、ハイライトしおりの削除。ファイル内のしおりを全て削除する場合は、3番ボタンを2秒以上長押ししてください。



- 4) 9 番ボタン: 9 番ボタンを押して、しおり、音声メモ、ハイライトしおりの切り替えができます。9 番ボタンを押すごとに、「音声メモ設定モード」、「ハイライトしおり設定モード」、「しおり設定モード」というメッセージが出ます。

しおり、音声メモ、ハイライトしおりの番号は区別されません。しおり番号で1を使用すると、音声メモ、ハイライトしおりの番号では、1は使用できません。同じ番号を設定しようとする、既にしおりや音声メモ、ハイライトしおりが存在していることを知らせ、上書きするかどうかのメッセージが出ます。

また、設定するしおり、音声メモ、ハイライトしおりの番号は、自動的に更新されていきます。初めてしおり、音声メモ、ハイライトしおりを挿入する場合は、番号は1に設定されています。既に10個のしおり、音声メモ、ハイライトが設定されていて、11個目のしおり、音声メモ、ハイライトしおりを挿入する場合は、番号は11になっています。使用できる番号は1から1000までで、これを超える番号を入れると、「入力可能な範囲は1から1000までです。数字ボタンを使って入力してください」というメッセージが出ます。

#### 4.12.1 しおりの挿入

現在再生中のファイルにしおりを挿入する機能です。

ファイルを再生中、現在再生している位置を記憶するために、しおりを挿入することができます。しおりを挿入すると、次回ファイルを再生する際に、任意のしおり位置から再生することができます。しおりを挿入する方法は次の通りです。

- 1) ファイル再生中または一時停止中、しおりを挿入したい位置で数字の1番ボタンを押します。
- 2) 「しおりの総数、00. しおり番号を0から1000までの数字で入力してください。」というメッセージが出ます。ここで1から1000までの数字を入力し、確認ボタンを押します。
- 3) 「しおり挿入完了」というメッセージが出て、続けて再生します。

しおりは1000個まで挿入できます。しおり番号は1から1000の間の数字を使ってください。この範囲を超える数字を入力すると、「入力可能な範囲は1から1000までです。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出て、入力待機状態になります。

しおり挿入途中にしおりの挿入をキャンセルしたい場合には、数字を入力する前にキャンセルボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、キャンセルボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度キャンセルボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、しおりの挿入が取り消されます。

#### 4.12.2 音声メモの挿入

再生中に音声メモを挿入する方法は、次の通りです。

- 1) ファイルの再生あるいは一時停止中に、9番ボタンを押して、音声メモに切り替えます。
- 2) 1番ボタンを押します。そうすると、「音声メモ開始」というメッセージが出て、音声メモの録音を開始します。音声録音を終了したい場合には、確認ボタンを押してください。音声メモは最長40秒間録音できます。
- 3) そうすると、「録音終了。音声メモ番号を1から1000までの数字で入力してください。数字ボタンを使って入力してください」というメッセージが出ます。ここで、入力したい番号を入力します。
- 4) 確認ボタンまたはメニューボタンを押します。そうすると、「音声メモ設定完了」というメッセージが出て、音声メモ挿入前の状態に戻ります。

音声メモ挿入途中に音声メモの挿入をキャンセルしたい場合には、数字を入力する前にキャンセルボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、キャンセルボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度キャンセルボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、音声メモの挿入が取り消されます。

#### 4.12.3 ハイライトしおりの挿入

ハイライトしおりはある区間を指定したしおりです。ハイライトしおりは、ファイル内のある区間を保存しておき、後で確認する場合などに便利な機能です。

ハイライトしおりの設定方法は次の通りです。

- 1) ファイルの再生中あるいは一時停止中、9番ボタンを押して、「ハイライトしおり」設定モードに切り替えます。
- 2) 1番ボタンを押すと、「ハイライトしおり開始」というメッセージが出て、再生が続きます。
- 3) ハイライトしおりの終点にしたい位置で、確認ボタンを押します。
- 4) そうすると、「ハイライトしおり終了。ハイライトしおり番号1から1000までの数字を入力してください。数字ボタンを使ってください。」というメッセージが出ます。ここで、入力したい数字を入力します。
- 5) 確認ボタンあるいはメニューボタンを押すと、「ハイライトしおり挿入完了」というメッセージが出て、ハイライトしおり挿入前の状態に戻ります。

ハイライトしおり挿入途中にハイライトしおりの挿入をキャンセルしたい場合には、数字を入力する前にキャンセルボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、キャンセルボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度キャンセルボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、ハイライトしおりの挿入が取り消されます。

#### 4.12.4 設定したしおりへの移動

再生中のファイルにしおりが挿入されている場合、そのしおりがある位置に移動して、しおりの位置から再生することができます。しおり、音声メモ、ハイライトしおりなど、しおりの種類に関わらず、しおりの挿入位置に移動できます。しおりへの移動は次のように使います。

- 1) ファイル再生中または一時停止中に数字の2番ボタンを押します。
- 2) 「移動するしおり番号。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出ます。ここで移動したいしおり番号を入力し、確認ボタンを押します。
- 3) 該当するしおりがある部分に移動して再生します。

しおりには次のような3種類のしおりがあります。

- 1) しおり：しおりまで移動して、そのしおりから再生を続きます。
- 2) 音声メモ：音声メモまで移動して、録音しておいた音声メモを再生して、ファイルを再生します。
- 3) ハイライトしおり：ハイライトしおりが始まる位置に移動して再生を開始します。ハイライトしおりの区間を再生して、一時停止します。確認ボタンを押すと、ハイライトしおり区間再生あるいは、一時停止状態を問わず、区間の初めから区間の終わりまで再生して一時停止します。区間再生中に再生ボタンを押すと、区間再生が一時停止されて、この状態で再生ボタンを再び押すと、一時停止した位置から再生して、区間の終わりの位置で停止します。ハイライトしおりの再生が停止した後、再生ボタンをもう一回押すと、区間の終わりから再生を再開します。

ハイライトしおりの区間を再生中、取消ボタンを押すと、ハイライトしおりの終わりの部分まで移動して、その部分から再生を再開します。

存在しないしおり番号を入力した場合、「移動するしおりがありません」というメッセージが出て、再生状態に戻ります。もし、しおり番号の範囲(1から1000まで)を超えたしおり番号を入力すると「入力可能な範囲は1から1000までです。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出て、入力待機状態になります。

しおりへの移動を取消したい場合には、数字を入力する前に取消ボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、取消ボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度取消ボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、しおりへの移動が取消されます。

#### 4.12.5 設定したしおりの削除

再生中のファイルにしおりが挿入されている場合、要らなくなったしおりを削除することができます。しおりの削除方法は次の手順の通りです。

- 1) ファイル再生中または一時停止中、数字の3番ボタンを押します。
- 2) 「削除するしおり番号。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出ます。ここで削除したいしおり番号を入力し確認ボタンを押します。しおりの種類に関わらず、削除することができます。
- 3) そうすると、削除するしおりの種類により、「00番しおり削除完了」、「音声メモ##削除完了」、「ハイライトしおり##削除完了」というメッセージが出て、該当するしおりを削除してしおりを削除する前の状態に戻ります。

ただし、ハイライトしおりの再生中に、該当のハイライトしおりを削除すると、ハイライトしおりは削除されますが、再生は続きます。

しおり番号の範囲を超えたしおり番号を入力した場合には「入力可能な範囲は1から1000までです。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出て、入力待機状態になります。

もし入力したしおり番号が存在しない場合には、「削除するしおりがありません」というメッセージが出て、再生を再開します。

しおりの削除をキャンセルしたい場合には、数字を入力する前に取消ボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、取消ボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度取消ボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、しおりの削除がキャンセルされます。

- 4) ファイルにあるすべてのしおりを削除する場合は、ファイルの再生中、もしくは一時停止中に数字の3番ボタンを2秒以上長押しします。そうすると、「挿入されたすべてのしおりを削除しますか？」とメッセージが出ます。削除する場合は確認ボタンを、削除を取り消す場合は取り消しボタンを押してください。

## 4.13 再生速度の調節

ファイル再生中または一時停止中に、簡単に再生速度を調節することができます。

ただし、MP4、OGGフォーマットのファイルの中でサンプルレートが44100Hz以上のファイルの場合には、再生速度調節時にピッチ(音の高さ)が変わります。また、ASFファイル、WAVファイルの場合、再生速度調節時、サンプルレートにかかわらずピッチ(音の高さ)が変わります。

### 4.13.1 再生速度を遅くする

再生速度を遅くするには、ファイル再生中に数字の4番ボタンを押します。数字の4番ボタンを一回押すと、再生速度が1段階ずつ遅くなります。基本速度から2段階まで遅くすることができます。

#### 4.13.2 再生速度を基本速度に戻す

再生速度を変更した状態で、基本速度に戻したいときには数字の5番ボタンを押します。そうすると、ピッと音を出して基本速度に戻ります。

#### 4.13.3 再生速度を速くする

再生速度を速くするには、数字の6番ボタンを押します。6番ボタンを一回押すと、速度が1段階ずつ速くなります。基本速度から6段階まで速く再生することができます。

#### 4.14 移動時間単位の設定及び時間移動

コンテンツ再生中、指定した時間単位で移動することができます。初期設定は5秒です。

上方向ボタンまたは下方向ボタンを繰り返して押して、「時間移動」まで移動します。ここで、右方向ボタンを押すと、5秒後の部分から再生します。ここで、左方向ボタンを押すと、5秒前の部分から再生します。

初期設定は5秒ですが、この移動時間単位を変更したい場合には、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「移動時間」まで移動します。ここで、右方向ボタンを押すと、時間間隔が5秒、10秒、30秒、1分、3分、5分、10分、15分、20分、30分、1時間の順に変わります。左方向ボタンを押すと逆順に変わります。設定したい移動時間単位で止めてください。移動時間単位の設定後、この時間移動を適用して移動し再生したい場合には、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「時間移動」に移動してください。

#### 4.15 ランダム再生

ファイルを再生するときに、再生リストに並べた順序で再生するか、この順序とは関係なく無作為に再生するかを選択できます。

基本的な再生方法は再生リスト順での再生です。これを無作為再生(ランダム再生)したい場合には、再生または一時停止中に9番ボタンを長く押してください。そうすると「ランダム再生オン」というメッセージが出て、再生リスト内のファイルの順序とは関係なくランダムに再生します。

ランダム再生オンのときに、数字の9番ボタンを2秒以上長く押すと「ランダム再生オフ」というメッセージが出て、基本再生モードに戻ります。

ただし、AUDIO BOOKSとPODCASTSフォルダを再生中であれば、ブックセンスはこれらのフォルダにあるすべてのファイルをひとつの本のように扱いますので、ランダム再生は動作しません。

ランダム再生に変更するには、数字の9番ボタンを押す方法以外に、メニューを呼び出して変更することもできます。メニューを利用して変更する方法は4.22.2節の「再生設定」の「ランダム再生」をご確認ください。

## 4.16 パーセント移動

ファイル再生中、現在再生中のファイルを対象にパーセント単位で移動することができます。  
パーセント移動の手順は次の通りです。

- 1) ファイル再生中または一時停止中に、数字の8番ボタンを2秒以上長押しします。
- 2) 「00パーセント再生中。移動するパーセントを0から99までの数字で入力してください。」というメッセージが出ます。
- 3) ここで数字ボタンを使い移動したいパーセントの数字を入力し、確認ボタンを押します。そうすると指定したパーセントまで移動して再生を再開します。

例えば、100分の長さを持つファイル再生中、パーセント移動を実行して「00パーセント再生中。移動するパーセントを0から99までの数字で入力してください」というメッセージのあとで10を入力して、確認ボタンを押すと、10分の位置に移動して再生を再開します。

100以上の数字を入力して確認ボタンを押すと、「入力した数字が許容範囲を外れました。0から99までの数字を入力してください。」というメッセージが出て、入力待機状態になります。

パーセント移動を取り消したい場合には、数字を入力する前に、取消ボタンを押します。もし、既に数字を入力した場合には、取消ボタンを入力した数字を消して、ベルの音と、「入力がありません」というメッセージが出るまで取消ボタンを押します。取消ボタンをもう一回押すと、「取消」というメッセージが出て、パーセント移動が取り消され、パーセント移動する前の状態に戻ります。

ただし、AUDIO BOOKSあるいはPODCASTSフォルダにあるm p 3 ファイルを聞いているときは、そのフォルダのすべてのファイルの全体再生時間をベースにしたパーセントで計算されます。

## 4.17 リピート再生

再生リストにあるファイルを一度のみ再生するか、繰り返して再生するかを選択することができます。

基本値は、一回のみ再生です。一回のみというのは再生リストにあるすべてのファイルを一回再生して停止するという意味です。

再生リストにあるすべてのファイルを繰り返して再生したい場合には、再生または一時停止中に数字の8番ボタンを2秒以上長押しすると「リピート再生オン」というメッセージが出て、再生リストにあるファイルを繰り返して再生します。リピート再生がオンのときに、数字の8番ボタンをもう一回2秒以上長押しすると「リピート再生オフ」というメッセージが出て一般再生モードに戻ります。

リピート再生の変更は数字の8番ボタンを押す以外にも、メニューを呼び出して変更することもできます。メニューを使用して変更する方法は4.22.2節の「再生設定」の「リピート再生」をご確認ください。

## 4.18 イコライザー設定

ブックセンスには4つのイコライザーモードがあります。

イコライザーは音楽のジャンルによって音色を変化させる機能で、イコライザーを変更したい場合には、音楽の再生中、または一時停止中に、数字の7番ボタンを押します。7番ボタンを押すごとに、「クラシックモード」、「ダンスモード」、「フルバスモード」、「フルバスアンドトレブルモード」、「ライブモード」、「ポップモード」、「ロックモード」、「テクノモード」、「ジャズモード」、「ノーマルモード」の順に変わります。再生中にイコライザーを変更しても音楽の再生は止まらず、音色のみが変わります。工場出荷時の基本値はノーマルモードです。

イコライザー設定は7番ボタンを押す以外にも、メニューを呼び出して変更することもできます。メニューを使用して変更する方法については、4.22.1節の「イコライザー設定」で詳しくご説明します。

#### 4.19 再生リストの保存

ブックセンスでは、任意のファイルを選択し、ファイルリストを作成することができます。よく聴くファイルのファイルリストを作成しておくことで、次回にファイルを聴きたいときに、ファイルを検索する必要がなくなりますので、大変便利です。

再生リストを作成、保存する方法は次の通りです。

- 1) 任意のファイルを選択します。(選択したいファイルに移動し、9番ボタンを押すと、ファイルを選択できます。ファイルはフォルダを超えて選択することはできません。)
- 2) 再生ボタンを押すと、ファイルリストは閉じて、再生リストが開きます。
- 3) ファイル再生中または一時停止中7番ボタンを2秒以上長押しします。
- 4) 「再生リスト保存完了」というメッセージが出て、再生を続けます。(一時停止中に実行すると、再生リスト保存後に一時停止状態に戻ります。)
- 5) このときに、現在再生している再生リストは、m3uファイルとして保存されます。このファイルは「MUSIC」フォルダにある「PLAYLIST」フォルダ内に「PLAYLIST-001.m3u」フォルダとして保存されます。このフォルダは、ブックセンスをパソコンに接続した時に、パソコンで確認ができます。ブックセンスのファイルリストでは確認できません。複数の再生リストを保存すると、ファイル名の数字が「PLAYLIST-002.m3u」「PLAYLIST-003.m3u」のように増加します。ファイル名を変更したい場合には、パソコンに接続してパソコンで変更することができます。(ファイル名の変更時に拡張子(m3u)を変更すると、この再生リストは使えなくなりますのでご注意ください。)

保存された再生リストを呼び出して再生する方法は、4.22.3.1節の「再生リストを利用した再生」をご確認ください。

#### 4.20 再生中のファイル情報の確認

ファイル再生中または一時停止中に数字の0番ボタンを押すと、再生しているファイルの情報が確認できます。

数字の0番ボタンを押すと「ファイル名、現在再生時間、全体再生時間、現在のトラック番号/すべてのトラック数、再生状態または一時停止」の順で情報を案内します。再生中に数字の0番ボタンを押

した場合には、情報を案内した後はまた再生状態に戻り、一時停止中に数字の0番ボタンを押した場合には、情報を案内した後は一時停止状態に戻ります。

メッセージ出力途中、案内を止めたいときには取消ボタンを押します。

ただし、AUDIO BOOKSあるいはPODCASTSフォルダにあるm p 3 ファイルを聞いているときに0番ボタンを押すと、そのフォルダのあるすべてのm p 3 ファイルの全体再生時間として案内します。

## 4.21 再生中ファイルのメディア情報の確認

「メディア情報」というのは、再生する音楽ファイルのタイトル、アーティスト、アルバム、ジャンルなどの情報です。

再生中のファイルの情報を確認したいときには、数字の0番ボタンを2秒以上長押しします。そうすると「メディア情報ダイアログボックス」が現れます。

メディア情報ダイアログボックスでは「タイトル、アーティスト、アルバム、ジャンル」の項目があって、各項目間は上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動します。そして、各項目内でひと文字ずつ詳しく確認したい場合は、左または右方向ボタンを押して移動します。

メディア情報確認後、メディア情報ダイアログボックスを閉じたい場合は、確認ボタンまたは取消ボタンを押します。そうすると、ダイアログボックス呼び出し前の状態に戻ります。

## 4.22 メディアプレーヤーメニューの使い方

メディアプレーヤーでメニューボタンを押すとメディアプレーヤーで使用可能なメニューが現れます。

メニューには、「イコライザー設定」、「再生設定」、「再生リスト開き」、「再生リスト保存」、「拡張メニュー」、「ヘルプモード」、「共通オプション設定」があります。メニュー項目間の移動は上方向ボタンまたは下方向ボタンを使います。

「再生リスト保存」以外のメニューは、ファイルリストを読むときにも、再生または一時停止中にも使えます。「再生リスト保存」は、再生中または一時停止中のみに使えます。

「拡張メニュー」、「ヘルプモード」と「共通オプション設定」は、メディアプレーヤー、ドキュメントリーダー、DAISYプレーヤーなど、どのプログラムを使うときにも共通で使われるメニューです。ヘルプモードについての詳しい説明は3章の「ヘルプモードの使い方」をご確認ください。共通オプション設定は9章の「共通オプション設定」をご確認ください。拡張メニューについては、メニュー内にある項目を10章の「ソフトウェアアップグレード」と11章の「計算機」で説明します。

### 4.22.1 イコライザー設定

4.18節の「イコライザー設定」で説明した機能です。メニューを利用してイコライザーを変更する方法は次の通りです。



- 1) ファイル再生中またはファイルリストでメニューボタンを押してメニューを呼び出します。
- 2) 「イコライザー設定ダイアログボックス」というメッセージが出ますので、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。
- 3) 「イコライザー設定ダイアログボックスです。現在のイコライザーモードはノーマルモードです。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、設定したい値まで移動してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定を保存してください。取り消ししたい場合には取消ボタンを押してください」というメッセージが出ます。ここで左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して選択を変更します。右方向ボタンを押すと、クラシックモード、ダンスモード、フルバスモード、フルバスアンドトレブルモード、ライブモード、ポップモード、ロックモード、テクノモード、ジャズモード、ノーマルモードの順に移動します。左方向ボタンを押すと、この順序の逆順に移動します。
- 4) 変更したいモードまで移動し、メニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると「オプション保存完了」というメッセージが出て、設定したモードに再生音色が変わります。  
もし、イコライザー設定を取り消ししたい場合には、イコライザーモード選択の段階で取消ボタンを押してください。

#### 4.22.2 再生設定

ファイル再生時に使われる様々のオプションの設定ができるメニューで、次のように使えます。

- 1) ファイル再生中またはファイルリストでメニューボタンを押してメニューを呼び出します。
- 2) 下方向ボタンを1回押して「再生設定ダイアログボックス」に移動します。
- 3) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。
- 4) 「再生設定ダイアログボックスです。現在のファイル名出力はいいえです。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値に移動してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定するか、あるいは上方向または下方向ボタンを押して前の項目または次の項目に移動してください」というメッセージが出ます。

この再生設定ダイアログボックスでは、ファイル名を読み上げるかどうか、区間リピートの回数、ランダム再生のオン・オフ、リピート再生のオン・オフの選択ができます。これらの項目間の移動は上方向ボタンまたは下方向ボタンで行います。各項目での設定の変更は左方向ボタンまたは右方向ボタンで行います。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押すと、設定値が循環して変更されます。設定したい設定値まで移動し、確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定します。そうすると再生設定ダイアログボックスを閉じて、メニューを呼び出した直前の状態に戻ります。

複数の項目を一度に変更する際は、項目の設定を変更した後、確認ボタンまたはメニューボタンを押さずに、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して項目を移動します。そして移動した項目で同じように設定値を変更します。すべての項目の設定を変更した後に、確認ボタンまたはメニューボタン

を押して設定を保存します。

確認ボタンを押す前に取消ボタンを押すと、変更された値に設定せずに、再生設定ダイアログボックスを閉じて、メニューを呼び出す直前の状態に戻ります。

再生設定の各項目別の詳しい説明と設定変更方法は以下の通りです。

### (1) ファイル名出力

ファイル再生する際、ファイル名を読み上げてから再生を開始するか、ファイル名を読み上げずに再生を開始するかの設定です。設定を「はい」にしておくと、曲間の移動、あるいは現在の曲の演奏を終えて、次の曲の再生を開始する前にファイル名を読み上げてから曲を再生します。「いいえ」に設定しておくと、曲の再生開始前にファイル名を読み上げずに再生を開始します。基本値は「いいえ」です。「はい」に設定しておくと、再生中にファイル移動する際に、ファイル名が確認できるので便利です。

設定の変更方法は、メニューで再生設定ダイアログボックスまで移動し、右方向ボタンまたは、左方向ボタンで設定を変更します。

### (2) 区間リピート回数

指定した区間を何回リピートするかを設定します。初期設定は3回です。

設定を変更するには、再生設定ダイアログボックスの「区間リピート回数、3。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値に移動してください」まで移動します。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して「無限リピート」あるいは1から10までの数字の中で設定したい値まで移動します。

無限リピートに設定すると、再生ボタンを押して区間リピートを解除するまで何度も繰り返し再生します。

### (3) ランダム再生

ファイル再生時、再生リストにあるファイルをカナの順序で再生するか、無作為に再生するかを設定します。基本設定はオフです。4.17節で説明した、数字の9番ボタンで設定する以外にも、メニューを使って設定できます。再生設定ダイアログボックスの、「ランダム再生、オン。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値に移動してください」まで移動します。左方向ボタンまたは右方向ボタンでオン、オフの設定を変更します。

### (4) リピート再生

再生リストにあるファイルを一度のみ再生して止めるか、繰り返して再生するかを設定します。4.15節で説明した数字の8番ボタンで設定する方法以外にも、メニューを使って設定できます。再生設定ダイアログボックスの「リピート再生、オフ。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値に移動してください」まで移動します。左方向ボタンまたは右方向ボタンでオン、オフの設定を

変更します。

### 4.22.3 再生リストを開く

「再生リスト開き」メニューを使って、すでに保存した再生リストを呼び出して再生するか、アルバム、アーティスト、ジャンル別に再生することができます。

メニューボタンを押してメニューを開き、下方向ボタンを2回押して「再生リスト開き」まで移動します。右方向ボタンを押して下位メニューに入ります。下位メニューには「私の再生リスト」、「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」の4つの項目があります。上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して項目を移動します。そして実行したい項目で右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。

「私の再生リスト」は、保存された再生リストを呼び出して再生する機能です。「アーティスト、アルバム、ジャンル」は音楽ファイルのファイル情報を利用してアーティスト、アルバム、ジャンル別に検索する機能です。各々の項目について詳しく説明します。

#### 4.22.3.1 再生リストを再生する

保存した再生リストファイルを呼び出して再生する機能です。再生方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。下方向ボタンを2回押して「再生リスト開き」まで移動し、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。
- 2) 「私の再生リスト、ダイアログボックス」というメッセージが出ますので、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。
- 3) 「再生リストダイアログボックスです。私の再生リスト (ファイル名)。上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して設定したい項目まで移動します」というメッセージが出ます。再生リストのファイル名は PLAYLIST-001やPLAYLIST-002のように読み上げられます。パソコンと接続してファイル名を変更した場合には変更したファイル名で表示されます。
- 4) 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して再生したいファイル名に移動します。そして、メニューボタン、再生ボタンまたは確認ボタンを押します。
- 5) ファイルに保存されている再生リストにあるファイルの自動再生を開始します。

保存した再生リストがない場合には、再生リストダイアログボックスに入った段階で「再生リストがありません」というメッセージが出て、メニューを呼び出した直前の状態に戻ります。

「再生リストダイアログボックス」では、要らなくなったファイルを削除できます。ファイルを削除するには、上記の再生リストダイアログボックスに入った段階で、上方向または下方向ボタンを押して削除したいファイルまで移動し、3番ボタンを2秒以上長押しします。そうすると、「(ファイル名またはフォルダ名)を削除しますか。はい」というメッセージが出ます。ここで、メニューボタンまたは確認ボタンを押すと削除されます。ファイル削除を取り消したい場合は、左方向または右方向ボタン

を押して「いいえ」に変更してメニューボタンまたは確認ボタンを押すとファイル削除が取り消されません。

#### 4.22.3.2 メディア情報を利用したファイル検索

ブックセンスで再生するオーディオファイルにはメディア情報があります。メディア情報というのは、オーディオファイルのタイトル、アーティスト、アルバム名、ジャンルなどの曲情報をいいます。

このメディア情報を分析してオーディオファイルをアーティスト別、アルバム別、ジャンル別に分類して聴くことができます。

メディア情報の検索は、「MUSIC」フォルダにあるファイルのみを検索対象とします。即ち、レコード、ラジオ、オーディオ、PODCASTフォルダにあるファイルは検索しません。そしてメディア情報がないファイルは検索時には「わかりません」とアナウンスされます。

メディア情報がないか、不明確な場合、パソコンで使われるメディアプレーヤーを使ってメディア情報を編集することができます。これは、パソコン上の各メディアプレーヤーによって異なりますので、パソコンのメディアプレーヤーのマニュアルをご確認ください。

##### (1) アーティスト別検索

「MUSIC」フォルダにあるファイルをアーティスト別に検索して、特定のアーティストの曲のみを聞きたい場合には、次のように実行します。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出すと、「イコライザー設定ダイアログボックス」というメッセージが出ます。
- 2) 下方向ボタンを2回押して「再生リスト開き」に移動して、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。
- 3) 「私の再生リスト、ダイアログボックス」というメッセージが出ます。ここで、下方向ボタンを1回押して「アーティスト、ダイアログボックス」に移動します。そして右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。
- 4) そうすると、「アーティストリストダイアログボックスです。(アーティスト名)、(そのアーティストの曲の数) 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して設定したい項目まで移動します」というメッセージが出ます。例えば、「アーティストリスト、ダイアログボックス、スティーヴィーワンダー、10」のように読み上げます。ここで上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、再生したいアーティスト名まで移動します。
- 5) 再生したいアーティスト名が現れたときに、再生ボタン、メニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、選択したアーティストの曲が再生されます。このファイルを再生リストに保存したい場合には、再生中あるいは一時停止中に数字の7番ボタンを2秒以上長押しすると、再生リストに保存されます。

メディア情報を持ったファイルがない場合は、「わかりません」とアナウンスされます。そして、同

じアーティストの曲でも、メディア情報が違う方法で記録されていると、それは別のアーティストとして分類されます。例えば、同じアーティストでも、アーティスト名にスペースがある場合とアーティスト名にスペースがない場合とでは、違うアーティストとして分類されます。

## (2) アルバム別検索

「MUSIC」フォルダにあるファイルをアルバム別に検索して、特定のアルバムの曲のみを聴きたい場合には、次のように実行します。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出すと、「イコライザー設定ダイアログボックス」というメッセージが出ます。
- 2) 下方向ボタンを2回押して「再生リスト開き」まで移動して、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。
- 3) 「私の再生リスト、ダイアログボックス」というメッセージが出ます。ここで下方向ボタンを2回押して「アルバム ダイアログボックス」まで移動します。そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。
- 4) 「アルバムリストダイアログボックスです。アルバム (アルバム名)、(そのアルバムに入っている曲数) 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して設定したい項目まで移動します」というメッセージが出ます。例えば、「アルバムリストダイアログボックス、スティーヴィーワンダーベスト、12」。ここで上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、再生したいアルバム名まで移動します。
- 5) 聴きたいアルバム名が現れたときに、再生ボタン、メニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると選択したアルバムに入っているファイルを再生します。このファイルを再生リストに保存したい場合には、再生中あるいは一時停止中に数字の7番ボタンを2秒以上長押しすると、再生リストに保存されます。

メディア情報を持ったファイルがない場合は、「分かりません」とアナウンスされます。そして、同じアルバムにある曲でも、違うメディア情報が入っていると、別々のアルバムとして分類します。例えば、アルバム名にスペースがある場合と、アルバム名にスペースがない場合とは、違うアルバムとして分類されます。

## (3) ジャンル別検索

「MUSIC」フォルダにあるファイルをジャンル別に検索して、特定のジャンルの曲のみを聴きたい場合には、次のように実行します。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出すと、「イコライザー設定ダイアログボックス」というメッセージが出ます。
- 2) 下方向ボタンを2回押して「再生リスト開き」まで移動して、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。

- 3) 「私の再生リスト、ダイアログボックス」というメッセージが出ます。ここで下方向ボタンを3回押し、「ジャンル、ダイアログボックス」まで移動します。そして右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。
- 4) 「ジャンルリストダイアログボックスです。ジャンル (ジャンル名)、(そのジャンルのファイルの数) 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して設定したい項目まで移動します」というメッセージが出ます。ここで上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、再生したいジャンルまで移動します。
- 5) 再生したいジャンル名が現れたときに、再生ボタン、メニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、選択したジャンルに含まれたファイルが再生されます。このファイルを再生リストに保存したい場合には、再生中あるいは一時停止中に数字の7番ボタンを2秒以上長押しすると、再生リストに保存されます。  
メディア情報をもったファイルがない場合は、「分かりません」とアナウンスされます。

#### 4.22.4 再生リスト保存

4.19節の「再生リスト保存」で説明した、任意のファイルを選択し、ファイルリストを作成する機能です。よく聴くファイルのファイルリストを作成しておく、次回にファイルを聴きたいときに、ファイルを検索する必要がなくなりますので、大変便利です。

ここでは、数字の7番ボタンを2秒以上長押しして保存する方法ではなく、メニューを使って保存する方法を説明します。このメニューはファイルの再生中あるいは一時停止中のみに現れます。

メニューを使って再生リストを保存する方法は次の通りです。

- 1) ファイル再生中または一時停止中にメニューボタンを押してメニューを呼び出します。
- 2) 「イコライザー設定、ダイアログボックス」というメッセージを出します。下方向ボタンを3回押し、「再生リスト保存」まで移動します。
- 3) そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると「再生リスト保存 完了」というメッセージを出して、メニューを呼び出す直前の状態に戻ります。
- 4) このときに内部的には現在再生中の再生リストがm3uファイルとして、MUSICフォルダにあるPLAYLISTフォルダに「PLAYLIST-001.m3u」のように保存されます。このファイル名は、ブックセンスをパソコンに接続して、パソコンから確認することができます。複数の再生リストを保存すると、ファイル名の数字が増加します。ファイル名を変更したい場合には、パソコンに接続してパソコンで変更してください。ただし、ファイル名の拡張子であるm3uは変更しないでください。

保存した再生リストを呼び出して再生する方法は、4.22.3.1節「再生リストを再生する」をご確認ください。

#### 4.22.5 しおり情報

このメニューは、しおり、音声メモ、ハイライトしおりを設定したファイルを開いたときに現れます。しおり情報の確認方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押します。「イコライザー設定ダイアログボックス」というメッセージが出ます。
- 2) 下方向ボタンを押して、「しおり情報ダイアログボックス」まで移動します。ここで、右方向ボタン、確認ボタンあるいはメニューボタンを押します。
- 3) そうすると、「しおり、音声メモ情報です。」というメッセージの後に、しおり番号、しおりの種類、しおりの位置、しおりの数という順序でメッセージが出ます。

上方向ボタンあるいは下方向ボタンを押して、しおり、音声メモ、ハイライトしおりに移動します。確認ボタンを押すと、しおり、音声メモ、あるいはハイライトしおりの位置に移動します。

ここで、3番ボタンを2秒以上長押しすると、選択中のしおりが削除できます。

メニューから出るためには、取消ボタンを押します。そうすると、メニューに入る前の状態に戻ります。

#### 4.22.6 CD-ROMにあるコンテンツの取込み

「コンテンツ取り込み」機能は、CD-ROM内にあるメディアコンテンツを、ブックセンス内にあるフラッシュメモリー（T50XTのみ）あるいはSDカードに取り込む機能です。

ブックセンスで取り込むことが出来るファイル形式は、MP3、WMA、WAV、AVI、WMV、ASF、MPG、OGG、RMP、MP2、MPA、PLS、WAX、M4A、ASX、MP4、AAC、AA、AAX、3GP、WBP、FLA、の22種類です。

ブックセンスにCD-ROMドライブを接続しても、メディアコンテンツを直接再生することが出来ません。ブックセンスのメモリに取り込んで、ブックセンスのメディアプレーヤーを使って再生することが出来ます。このメニューはCDドライブが接続されたときのみに表示されます。

CD-ROMにあるメディアコンテンツの取り込み方法は、次の通りです。

- 1) USBケーブルとUSBジェンダーを使ってCDドライブとブックセンスに接続します。接続方法は1.8節をご確認ください。
- 2) メニューボタンを押します。CD-ROMが正常的に認識された場合には、「コンテンツ取り込み」というメッセージが出ます。ここで、右方向ボタン、メニューボタンあるいは確認ボタンを押します。
- 3) 「CDから取り込むデータのファイル形式を選択してください」というメッセージが出ます。このダイアログボックスではCDから取り込むメディアファイルタイプを選択します。ブックセンスで取り込むことが出来るファイル形式は、MP3、WMA、WAV、AVI、WMV、ASF、MPG、OGG、RMP、MP2、MPA、PLS、WAX、M4A、ASX、MP4、AAC、AA、AAX、3GP、WBP、FLAC、の22個です。

ファイルリストの初期設定はすべて選択で、9番ボタンでファイルの個別選択・選択解除することが出来ます。

そして、7番ボタンで、ファイルの全体選択が出来ます。選択したリストをすべて取り消しする

ためには、取消ボタンを押します。選択したリストが無い場合に取消ボタンを押すと、ダイアログボックスを取り消しして、メディアプレーヤーのファイルリストに戻ります。

- 4) 選択したメディアコンテンツをCD-ROMから取り組みたい場合には、確認ボタンを押します。
- 5) この項目は、ブックセンスXT (T50XTのみ) に対する説明です。T50XTの場合は、確認ボタンを押した後、「保存装置設定ダイアログボックスです。現在の選択された保存装置名はフラッシュメモリーです。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値に移動してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定を保存してください。取り消したい場合には取消ボタンを押してください」というメッセージが出ます。ここで左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、フラッシュメモリーあるいはSDカードを選択して、確認ボタンあるいはメニューボタンを押します。もし、SDカードが挿入していないと、メディア選択項目は省略されます。
- 6) ここからはT50とT50XTの共通事項です。確認ボタンを押すと、「コピー中」というメッセージが出て、CD-ROMからブックセンスのSDカードあるいはフラッシュメモリー (T50XTのみ) にコンテンツを取り込みます。取り込み中は、取り込みが進行していることを表すビープ音が出ます。
- 7) 取り込みが終わると、「コピー完了」というメッセージを出して、メディアのファイルリストに戻って現在の項目を案内します。
- 8) CD-ROMから取り込んだコンテンツは、選択したメディアのMUSICフォルダ内に、CD000というフォルダが作成され、その中に保存されます。多数のデータを取り込んだ場合には、CD001、CD002、CD003のように番号がフォルダ名に追加されます。

コンテンツの取り込み中に取り消しをすることは出来ません。取り込み中、CD-ドライブの接続を解除すると、データの損傷の恐れがありますので、ご注意ください。

SDカードあるいはフラッシュメモリー (T50XTのみ) の使用可能な容量が、CD-ROMから取り込むコンテンツの容量より小さい場合には、「保存装置の容量が不足しています。別の保存装置を指定するか、保存装置内のファイルを削除してください。」というメッセージが出て、ファイルリストに戻ります。



## 5. DAISYプレーヤー

DAISYプレーヤーというのは、DAISYコンテンツを再生するためのプログラムです。

### 5.1 再生できるDAISYコンテンツ

DAISYプレーヤーで再生できるコンテンツの形式は次のようです。

- DAISY 2.0/2.02/3.0, DAISY XML/Digital Talking Book.
- ANSI/NISO Z39.86 2002, 2005.

### 5.2 DAISYコンテンツの再生および終了

DAISYコンテンツを再生するためには、まず、本体の左面にあるモード切替ボタンを押してDAISYプレーヤーモードに変更します。

DAISYプレーヤーモードに変更すると、DAISYコンテンツのファイルリストを読み上げます。このリストは「DAISY」フォルダにあるコンテンツを示します。コンテンツはフォルダ名ではなく、各DAISYコンテンツのタイトルを読み上げます。

ファイルリストでは、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して再生したいコンテンツに移動し、再生ボタンまたは確認ボタンを押して再生します。ファイルリストの移動に関する詳しい内容は、2.4節「ファイルリストでの移動方法」をご確認ください。

DAISYコンテンツ再生のために再生ボタンまたは確認ボタンを押すと、「読み込み中」というメッセージが出て、DAISYコンテンツデータを内部のメモリーに読み込みます。データの読み込みが終わると再生を開始します。

もし、DAISYコンテンツを持つCD-ROMドライブを接続した場合には、ファイルリストではCD-ROMにあるDAISYコンテンツのタイトルも読み上げます。

現在のコンテンツ再生を停止して、他のコンテンツを再生したい場合には、取消ボタンを押して再生を停止します。そうすると、コンテンツの再生を止めて、ファイルリストに戻ります。ファイルリストで新しく再生したいコンテンツに移動し、確認ボタンまたは再生ボタンを押してコンテンツを再生します。

現在の再生を停止する際、ブックセンスは、再生が停止された位置を記憶して、再度このDAISYコンテンツを再生するときには、再生を停止した位置から続けて読み始めます。

もし、再度このDAISYコンテンツを読む際に、前回に再生を停止した位置からではなく、そのDAISYコンテンツの最初から読みたい場合には、コンテンツ再生を終了するときに、取消ボタンを2秒以上長押しして終了してください。そうすると、再度このDAISYファイルを再生する際には、DAISYコンテンツの最初から再生します。

### 5.3 一時停止

DAISYコンテンツ再生中に、再生ボタンをもう一回押すと一時停止になります。一時停止状態で、再度再生ボタンを押すと再生を再開します。

### 5.4 移動単位の変更

DAISYコンテンツは、段落、見出しなどの単位で移動することが出来ます。

移動単位を変更するには、コンテンツの再生または、一時停止中に、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押します。上方向ボタンまたは下方向ボタンを押すと、「グループ」、「段落」、「見出し」、「最初または最後」、「移動時間」、「時間移動」、「再生ボリューム」、「しおり」、「レベル1から6」、「ページ」、「フレーズ」、の順に変更されます。初期の移動単位は「フレーズ」に設定されています。再生中のDAISYコンテンツにしおりあるいはページ情報がない場合には、上方向または下方向ボタンを押しても「しおり」あるいは「ページ」の項目は出ません。

移動単位を選択した後、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、設定した移動単位で前、あるいは後方向に移動してコンテンツを再生することができます。

「移動時間」、「時間移動」は、オーディオDAISYコンテンツでしか使えません。テキストDAISYコンテンツを使うときには移動単位に「移動時間」、「時間移動」は現れません。

移動単位を「再生ボリューム」に設定すると、再生音量を調整することができます。移動単位を「再生ボリューム」に設定し、右方向ボタンを押すと、押すごとに音量が大きくなり、左方向ボタンを押すと、押すごとに音量が小さくなります。一時停止中に、再生ボリュームを変更すると、「再生ボリューム00」というようなアナウンスがあり、再生ボリュームが変更されます。再生ボリュームは-5から6までで変更可能で、初期設定は0になっています。

再生ボリュームは、本体左側面のボリュームボタンでも変更可能ですが、本体左側面のボリュームボタンで音量を調節すると、ガイド音声の音量も同時に変更されます。

再生ボリュームのみを変更したい場合には、移動単位の中にある、再生ボリュームで変更してください。

「しおり」は、DAISYコンテンツにしおりを挿入しておいたときに、しおりがある部分に移動する移動単位です。しおりを挿入しなかったコンテンツを再生するときには、移動単位にしおりは出ません。

なお、レベル1からレベル6も、再生しているコンテンツが持っているレベルだけを表示します。再生しているDAISYコンテンツがレベル1とレベル2のみを持っているコンテンツであれば、レベル1とレベル2のみが移動単位として現れます。

ページも、ページ情報をもつコンテンツの再生中のみに移動単位として現れます。再生中のコンテンツがページ情報を持っていないと、移動単位にはページは現れません。

基本移動単位はオーディオDAISYコンテンツでは時間移動、テキストDAISYコンテンツでは段落です。

## 5.5 フレーズ単位の移動

初期の移動単位はフレーズに設定されています。移動単位が変更されている場合は、DAISYコンテンツ再生中または一時停止中に、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、移動単位を「フレーズ」に変更します。移動単位を「フレーズ」に変更し、左方向ボタンを押すと、前のフレーズに移動して再生します。右方向ボタンを押すと次のフレーズに移動して再生を再開します。

フレーズというのは、一息くらいの文章の長さで、DAISYコンテンツ制作者によって、その長さが異なります。文章が長い場合もありますし、5つの文章程度がひとつのフレーズになる場合もあります。

## 5.6 段落単位の移動

DAISYコンテンツの再生中または一時停止中に、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、移動単位を「段落」に変更します。移動単位を「段落」に変更し、左方向ボタンを押すと、前の段落に移動して再生を再開、右方向ボタンを押すと次の段落に移動して再生を再開します。

ブックセンスでは、5つのフレーズをまとめて、1段落と認識しています。

## 5.7 見出し単位の移動

DAISYコンテンツの再生中または一時停止中に、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、移動単位を「見出し」に変更します。移動単位を「見出し」に変更し、左方向ボタンを押すと、前の見出しに移動して再生を再開します。右方向ボタンを押すと、次の見出しに移動して再生を再開します。

## 5.8 コンテンツの最初または最後の見出しに移動

DAISYコンテンツの再生中または一時停止中に、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、移動単位を「最初または最後」に変更します。移動単位を「最初または最後」に変更し、左方向ボタンを押すとDAISYコンテンツの最初の見出しに移動して再生を再開します。右方向ボタンを押すと、DAISYコンテンツの最後の見出しに移動して再生を再開します。

## 5.9 時間単位の移動

再生中のコンテンツがオーディオDAISYである場合には、時間単位での移動が可能です。DAISYコンテンツの再生中または一時停止中に、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、移動単位を「時間移動」に変更します。移動単位を「時間移動」に変更し、左方向ボタンを押すと、設定した時間だけ前に戻って再生を開始します。右方向ボタンを押すと設定した時間だけ先に進み再生を開始します。時間設定方法は5.18節の「時間移動単位の設定」をご確認ください。

テキストDAISYコンテンツのように、再生するコンテンツに時間の情報が入っていない場合には、時間移動という移動単位は表示されません。

## 5.10 再生ボリュームの変更

再生中のコンテンツの音量を、ガイド音声の音量とは別に調整できます。コンテンツ再生中もしくは一時停止中に、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動単位を「再生ボリューム」に合わせます。左方向ボタンあるいは右方向ボタンを押して再生ボリュームを調整します。再生ボリュームは-5から+6まで調整できます。

## 5.11 しおり単位の移動

再生中のコンテンツにしおりを付けた場合、任意のしおりに移動することができます。コンテンツ再生中に上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、移動単位を「しおり」に設定し、左方向ボタンあるいは右方向ボタンを押すと、前のしおりあるいは次のしおりに移動できます。再生中のファイルにしおりが設定されていないと、上方向ボタンあるいは下方向ボタンを押しても移動単位に「しおり」は出ません。また、しおりには、しおり、音声メモ、ハイライトしおりの3種類がありますが、しおり単位の移動では、しおりの種類を特定することはできません。

しおりの挿入方法については、5.16 節「しおり」をご確認ください。

## 5.12 レベル単位の移動

レベルというのは、コンテンツの作成者により設定された移動単位です。例えば、本の目次に、1章から5章までであるとします。さらに1章には1節、2節があるとします。1章の1節には、a、b、cという3つの項が、1章2節にはd、e、fという項があるとします。一般的には、1章から5章までの章をレベル1、その下にある節をレベル2、さらにその下にある a、b、cという項をレベル3と設定している、即ち、レベル2はレベル1の下位レベル、レベル3はレベル2の下位レベルに設定されていることが多いようです。

ブックセンスでは、レベル単位の移動は、レベル1からレベル6まで対応しています。再生中のコンテンツがレベル3までの情報を持っている場合には、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押したときに、移動単位として「レベル1」、「レベル2」、「レベル3」が現れます。レベル6までの情報を持つコンテンツであれば、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動単位を変更する際、レベル1からレベル6まですべて表示されます。

上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、移動単位を任意のレベルに変更します。移動単位を任意のレベルに変更し、左方向ボタンを押すと、設定したレベルで一つ前に移動し、再生を開始します。右方向ボタンを押すと設定したレベルで一つ先に移動し、再生を再開します。

### 5.13 ページ単位の移動

再生中のDAISYコンテンツにページ情報が入っている場合、任意のページに移動できます。上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、移動単位を「ページ」に変更します。移動単位を「ページ」に変更し、左方向ボタンを押すと、一つ前のページに移動して再生を再開します。右方向ボタンを押すと一つ次のページに移動して再生します。

再生中のコンテンツがページ情報を持っていない場合には、移動単位に「ページ」は現れません。

また、ページ情報が入っているコンテンツでは、読みたいページに移動して再生することもできます。読みたいページに移動する方法は、5.19「読みたいページに移動」をご確認ください。

### 5.14 グループ単位の移動

再生中のDAISYコンテンツにグループ情報が入っている場合、グループ単位での移動ができます。上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、移動単位を「グループ」に変更します。その後左方向ボタンあるいは右方向ボタンを押して、ひとつ前のグループあるいはひとつ次のグループに移動します。

### 5.15 DAISYの種類による移動単位の違い

DAISYプレーヤーでは、DAISYの種類によって、表示される移動単位が異なります。デイジーの種類とは、音声のみのDAISY、テキストのみのDAISY、音声もテキストも持っているDAISYの3種類です。

テキストデイジーでは、通常の移動単位に加え、「文章」、「単語」、「文字」、「詳細読み」、「単語検索」などの移動単位が選択できます。

### 5.16 しおり

ブックセンスでは、再生中のコンテンツにしおり、音声メモ、ハイライトしおりを挿入、すでに挿入されているしおり、音声メモ、ハイライトしおりに移動、挿入しておいたしおり、音声メモ、ハイライトしおりを削除することができます。一度コンテンツに設定したしおり情報は、再生をキャンセルしても、そのまま保存されます。

しおりは一つのコンテンツに1000個まで挿入できます。

しおりと関係のあるボタンは次のようなボタンがあります。

- 1) 1番ボタン: しおり、音声メモ、ハイライトしおりの挿入。初期設定はしおりの挿入です。
- 2) 2番ボタン: しおり、音声メモ、ハイライトしおりに移動。
- 3) 3番ボタン: 特定のしおり、音声メモ、ハイライトしおりの削除。ファイル内のしおりを全て削除する場合は、3番ボタンを2秒以上長押ししてください。
- 4) 9番ボタン: 9番ボタンを押して、しおり、音声メモ、ハイライトしおりの切り替えができます。9番ボタンを押すごとに、「音声メモ設定モード」、「ハイライトしおり設定モード」、「しおり設定モード」というメッセージが出ます。

しおり、音声メモ、ハイライトしおりの番号は区別されません。しおり番号で1を使用すると、音声メモ、ハイライトしおりの番号では、1は使用できません。同じ番号を設定しようとする、既にしおりや音声メモ、ハイライトしおりが存在していることを知らせ、上書きするかどうかのメッセージが出ます。

また、設定するしおり、音声メモ、ハイライトしおりの番号は、自動的に更新されていきます。初めてしおり、音声メモ、ハイライトしおりを挿入する場合は、番号は1に設定されています。既に10個のしおり、音声メモ、ハイライトが設定されていて、11個目のしおり、音声メモ、ハイライトしおりを挿入する場合は、番号は11になっています。使用できる番号は1から1000までで、これを超える番号を入れると、「入力可能な範囲は1から1000までです。数字ボタンを使って入力してください」と言うメッセージが出ます。

### 5.16.1 しおりの挿入

現在再生中のDAISYコンテンツにしおりを挿入する機能です。

ファイルを再生中、現在再生している位置を記憶するために、しおりを挿入することができます。しおりを挿入すると、次回ファイルを再生する際に、任意のしおり位置から再生することができます。しおりを挿入する方法は次の通りです。

- 1) ファイル再生中または一時停止中、しおりを挿入したい位置で数字の1番ボタンを押します。
- 2) 「しおりの総数、00. しおり番号を0から1000までの数字で入力してください。」というメッセージが出ます。ここで1から1000までの数字を入力し、確認ボタンを押します。
- 3) 「しおり挿入完了」というメッセージが出て、続けて再生します。

しおりは1000個まで挿入できます。しおり番号は1から1000の間の数字を使ってください。この範囲を超える数字を入力すると、「入力可能な範囲は1から1000までです。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出て、入力待機状態になります。

しおり挿入途中にしおりの挿入をキャンセルしたい場合には、数字を入力する前にキャンセルボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、キャンセルボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度キャンセルボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、しおりの挿入が取り消されます。

### 5.16.2 音声メモの挿入

再生中に音声メモを挿入する方法は、次の通りです。

- 1) ファイルの再生あるいは一時停止中に、9番ボタンを押して、音声メモに切り替えます。
- 2) 1番ボタンを押します。そうすると、「音声メモ開始」というメッセージが出て、音声メモの録音を開始します。音声録音を終了したい場合には、確認ボタンを押してください。音声メモは最長

40秒間録音できます。

- 5) そうすると、「録音終了。音声メモ番号を1から1000までの数字で入力してください。数字ボタンを使って入力してください」と言うメッセージが出ます。ここで、入力したい番号を入力します。
- 6) 確認ボタンまたはメニューボタンを押します。そうすると、「音声メモ設定完了」と言うメッセージが出て、音声メモ挿入前の状態に戻ります。

音声メモ挿入途中に音声メモの挿入を取消したい場合には、数字を入力する前に取消ボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、取消ボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度取消ボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、音声メモの挿入が取り消されます。

### 5.16.3 ハイライトしおりの挿入

ハイライトしおりはある区間を指定したしおりです。ハイライトしおりは、ファイル内のある区間を保存しておき、後で確認する場合などに便利な機能です。

ハイライトしおりの設定方法は次の通りです。

- 1) ファイルの再生中あるいは一時停止中、9番ボタンを押して、「ハイライトしおり」設定モードに切り替えます。
- 2) 1番ボタンを押すと、「ハイライトしおり開始」と言うメッセージが出て、再生が続きます。
- 3) ハイライトしおりの終点にしたい位置で、確認ボタンを押します。
- 4) そうすると、「ハイライトしおり終了。ハイライトしおり番号1から1000までの数字を入力してください。数字ボタンを使ってください。」と言うメッセージが出ます。ここで、入力したい数字を入力します。
- 5) 確認ボタンあるいはメニューボタンを押すと、「ハイライトしおり挿入完了」と言うメッセージが出て、ハイライトしおり挿入前の状態に戻ります。

ハイライトしおり挿入途中にハイライトしおりの挿入を取消したい場合には、数字を入力する前に取消ボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、取消ボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度取消ボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、ハイライトしおりの挿入が取り消されます。

### 5.16.4 設定したしおりへの移動

再生中のファイルにしおりが挿入されている場合、そのしおりがある位置に移動して、しおりの位置から再生することができます。しおり、音声メモ、ハイライトしおりなど、しおりの種類に関わらず、しおりの挿入位置に移動できます。しおりへの移動は次のように使います。

- 1) ファイル再生中または一時停止中に数字の2番ボタンを押します。
- 2) 「移動するしおり番号。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出ます。ここで移動したいしおり番号を入力し、確認ボタンを押します。
- 3) 該当するしおりがある部分に移動して再生します。  
しおりには次のような3種類のしおりがあります。
- 4) しおり：しおりまで移動して、そのしおりから再生を続きます。
- 5) 音声メモ：音声メモまで移動して、録音しておいた音声メモを再生して、ファイルを再生します。
- 6) ハイライトしおり：ハイライトしおりが始まる位置に移動して再生を開始します。ハイライトしおりの区間を再生して、一時停止します。確認ボタンを押すと、ハイライトしおり区間再生あるいは、一時停止状態を問わず、区間の初めから区間の終わりまで再生して一時停止します。区間再生中に再生ボタンを押すと、区間再生が一時停止されて、この状態で再生ボタンを再び押すと、一時停止した位置から再生して、区間の終わりの位置で停止します。ハイライトしおりの再生が停止した後、再生ボタンをもう一回押すと、区間の終わりから再生を再開します。  
ハイライトしおりの区間を再生中、取消ボタンを押すと、ハイライトしおりの終わりの部分まで移動して、その部分から再生を再開します。

存在しないしおり番号を入力した場合、「移動するしおりがありません」というメッセージが出て、再生状態に戻ります。もし、しおり番号の範囲(1から1000まで)を超えたしおり番号を入力すると「入力可能な範囲は1から1000までです。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出て、入力待機状態になります。

しおりへの移動を取消したい場合には、数字を入力する前に取消ボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、取消ボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度取消ボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、しおりへの移動が取消されます。

### 5.16.5 設定したしおりの削除

再生中のファイルにしおりが挿入されている場合、要らなくなったしおりを削除することができます。しおりの削除方法は次の手順の通りです。

- 5) ファイル再生中または一時停止中、数字の3番ボタンを押します。
- 6) 「削除するしおり番号。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出ます。ここで削除したいしおり番号を入力し確認ボタンを押します。しおりの種類に関わらず、削除することができます。
- 7) そうすると、削除するしおりの種類により、「00番しおり削除完了」、「音声メモ##削除完了」、「ハイライトしおり##削除完了」というメッセージが出て、該当するしおりを削除してしおりを



削除する前の状態に戻ります。

ただし、ハイライトしおりの再生中に、該当のハイライトしおりを削除すると、ハイライトしおりは削除されますが、再生は続きます。

しおり番号の範囲を超えたしおり番号を入力した場合には「入力可能な範囲は1から1000までです。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出て、入力待機状態になります。

もし入力したしおり番号が存在しない場合には、「削除するしおりがありません」というメッセージが出て、再生を再開します。

しおりの削除をキャンセルしたい場合には、数字を入力する前にキャンセルボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、キャンセルボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度キャンセルボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、しおりの削除がキャンセルされます。

- 8) ファイルにあるすべてのしおりを削除する場合は、ファイルの再生中、もしくは一時停止中に数字の3番ボタンを2秒以上長押しします。そうすると、「挿入されたすべてのしおりを削除しますか？」とメッセージが出ます。削除する場合は確認ボタンを、削除を取り消す場合は取り消しボタンを押してください。

## 5.17 再生速度の調節

DAISYコンテンツ再生中または一時停止中に、数字ボタンを使って簡単に再生速度の調節ができます。

再生速度の調節可能な範囲は、再生中のコンテンツがオーディオDAISYか、テキストDAISYかによって異なります。オーディオDAISYとは録音されたコンテンツで、テキストDAISYとは、テキストデータのみコンテンツで、ブックセンスの合成音声を使って読み上げます。

### 5.17.1 再生速度を遅くする

再生速度を遅くするためには、数字の4番ボタンを押します。4番ボタンを一回押すと1段階ずつ遅くなります。

オーディオDAISYコンテンツの場合には基本速度から2段階まで遅くすることができます。一時停止中に数字の4番ボタンを押すと、「再生速度 マイナス1」、「再生速度 マイナス2」というメッセージが出ます。再生中には、メッセージを出さずに、速度が遅くなります。

テキストDAISYコンテンツの場合には、TTS(合成音声)によって再生しますので、TTS速度調節段階

と同じ段階で調節することができます。つまり、速度調節段階を1から21まで調節できて、基本速度である7から遅くすることができますので、基本速度から6段階まで遅くすることができます。一時停止中に数字の4番ボタンを押すと、「再生速度 6」、「再生速度 5」などのメッセージが出ますが、再生中にはメッセージなしで速度が遅くなります。

### 5.17.2 再生速度を基本速度に戻す

再生速度を変更した場合、改めて基本速度に戻したい場合には、数字の5番ボタンを押します。そうするとピッと音が出て、再生速度が基本速度に戻ります。

一時停止中に5番ボタンを押すと、ピッと音を出さずに、基本再生速度をメッセージでお知らせします。即ち、オーディオDAISYコンテンツの一時停止中には「再生速度0」と、テキストDAISYコンテンツの一時停止中には「再生速度7」とメッセージが出ます。

### 5.16.3 再生速度を速くする

再生速度を速くするためには、数字の6番ボタンを押します。6番ボタンを一回押すと1段階ずつ速くなります。

オーディオDAISYコンテンツの場合には基本速度から5段階まで速くすることができます。一時停止中に数字の6番ボタンを押すと、「再生速度 1」、「再生速度 2」などというメッセージが出ます。再生中には、メッセージを出さずに、速度が速くなります。

テキストDAISYコンテンツの場合には、TTS(合成音声)によって再生しますので、TTS速度調節段階と同じ段階で調節することができます。つまり、速度調節段階が1から21まで調節できて、基本速度である7から速くすることができます、基本速度から14段階まで速くすることができます。一時停止中に数字の6番ボタンを押すと、「再生速度 8」、「再生速度 9」などのメッセージが出ますが、再生中にはメッセージなしで速度が速くなります。

## 5.18 時間移動単位の設定と時間移動

DAISYコンテンツ再生中、指定した時間単位で移動することができます。初期設定は5秒です。

上方向ボタンまたは下方向ボタンを繰り返して押して、「時間移動」まで移動します。ここで、右方向ボタンを押すと、5秒後の部分から再生します。ここで、左方向ボタンを押すと、5秒前の部分から再生します。

初期設定は5秒ですが、この移動時間単位を変更したい場合には、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「移動時間」まで移動します。ここで、右方向ボタンを押すと、時間間隔が5秒、10秒、30秒、1分、3分、5分、10分、15分、20分、30分、1時間の順に変わります。左方向ボタンを押すと逆順に変わります。設定したい移動時間単位で止めてください。移動時間単位の設定後、

この時間移動を適用して移動し再生したい場合には、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「時間移動」に移動してください。

## 5.19 読みたいページに移動

DAISYコンテンツ再生中、読みたいページに移動して再生を再開することができます。読みたいページに移動して再生する方法は次の通りです。

- 1) コンテンツ再生中または一時停止中に数字の7番ボタンを押します。
- 2) 「現在ページXX、総ページXXX、移動するページ番号を数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出ます。ここで移動したいページ番号を入力します。
- 3) 確認ボタンを押します。そうすると入力したページに移動して再生を開始します。

もし、総ページより大きい数字を入力すると「入力した数字が許容範囲を外れました。00(最初のページ)からXXX(最後のページ)までの間の数字を入力してください。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出て、ページ入力待機状態になります。ここで改めて移動したいページを入力してください。

ページ移動を取り消したい場合には、数字を入力する前に取消ボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、取消ボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度取消ボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、ページへの移動が取消されます。

## 5.20 読みたい見出しに移動

DAISYコンテンツ再生中、読みたい部分の見出しに移動することができます。読みたい部分の見出しに移動して再生するためには次のように操作します。

- 1) コンテンツ再生中または一時停止中に数字の8番ボタンを押します。
- 2) 「現在の見出しXX、総見出しXXX、移動する見出し番号を数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出ます。ここで移動したい見出し番号を入力します。
- 3) 確認ボタンを押します。そうすると、入力した見出し番号に移動して再生を開始します。

もし、総見出し数より大きい数字を入力した場合、「入力した数字が許容範囲を外れました。xxからyyまでの数字を入力してください。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出て、数字の入力待機状態になります。ここで、改めて数字を入力してください。

見出しへの移動を取り消したい場合には、数字を入力する前に取消ボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、取消ボタンを繰り返し押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度取消ボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、見出しへの移動が取消されます。

## 5.21 パーセント移動

DAISYコンテンツ再生中、現在再生中のファイルを対象にパーセント単位で移動することができます。ただし、この機能は全体再生時間に対するパーセントで移動しますので、時間情報がある、オーディオDAISYコンテンツの再生中でのみ動作します。

パーセント移動の手順は次の通りです。

- 1) ファイル再生中または一時停止中に、数字の8番ボタンを2秒以上長押しします。
- 2) 「00パーセント再生中。移動するパーセントを0から99までの数字で入力してください。」というメッセージが出ます。
- 3) ここで数字ボタンを使い移動したいパーセントの数字を入力し、確認ボタンを押します。そうすると指定したパーセントまで移動して再生を再開します。

例えば、100分の長さを持つファイル再生中、パーセント移動を実行して「00パーセント再生中。移動するパーセントを0から99までの数字で入力してください」というメッセージのあとで10を入力して、確認ボタンを押すと、10分の位置に移動して再生を再開します。

100以上の数字を入力して確認ボタンを押すと、「入力した数字が許容範囲を外れました。0から99までの数字を入力してください。」というメッセージが出て、入力待機状態になります。

パーセント移動を取り消したい場合には、数字を入力する前に、取消ボタンを押します。もし、既に数字を入力した場合には、取消ボタンを入力した数字を消して、ベルの音と、「入力がありません」というメッセージが出るまで取消ボタンを押します。取消ボタンをもう一回押すと、「取消」というメッセージが出て、パーセント移動が取り消され、パーセント移動する前の状態に戻ります。

## 5.22 テキストDAISYでの英語補助音声の使い方

DAISYコンテンツの中で、テキストDAISYコンテンツの場合には、英語と日本語が混用されているコンテンツがあります。このようなコンテンツを読むときには英語補助音声を使うと、英語の部分を英語合成音声を読み上げますので、より正確な内容を聴くことができます。

英語補助音声を使うと、日本語の部分は日本語合成音声で、英語の部分は英語合成音声で自動で変更されながらコンテンツを読み上げます。

英語補助音声を使用しないと、コンテンツ内のすべてのテキストを日本語合成音声を読み上げます。

テキストDAISYファイル内で、英語補助音声を使用するためには、数字の5番ボタンを2秒以上長押しします。そうすると「英語補助音声、使用」というメッセージが出て、日本語は日本語合成音声で、英語は英語合成音声で読み上げます。英語補助音声を使用に設定すると、その後は再生するすべてのテキストDAISYファイルは英語補助音声を使用して再生します。

英語補助音声を使用したくない場合には、5番ボタンを再度2秒以上長押しします。そうすると「英語補助音声、使用しません」というメッセージが出て日本語合成音声ですべてのテキストファイルを読み上げます。

英語補助音声機能はメニューを使っても設定できます。メニューを使った使用方法については9.3節のTTS設定をご確認ください。

英語補助音声はテキストDAISYコンテンツでのみ使える機能で、再生中のDAISYコンテンツ以外のところ、例えば、ファイルリストとかメニューでは使えない機能です。つまり、英語補助音声機能を使用して英文のテキストDAISYコンテンツを再生するときには、英文を英語合成音声を読み上げますが、メニューを読み上げるときには日本語合成音声を読み上げます。ただし、補助音声の使用選択は、再生中のみならず、ファイルリスト上でも5番ボタンを2秒以上長押しして設定することができます。

## 5.23 再生中のDAISYコンテンツの情報確認

再生中のコンテンツの情報を確認したいときには数字の0番ボタンを2秒以上長押しします。そうすると、「DAISY情報ダイアログボックス」が現れます。

「DAISY情報ダイアログボックス」では、しおり、見出し、ページ、再生時間の情報の確認ができます。

DAISY情報の確認方法は次の通りです。

- 1) 0番ボタンを2秒以上長押しします。そうすると「DAISY情報ダイアログボックス、現在しおりxx、しおりの総数xx」がアナウンスされます。もし0番ボタンを押す前に再生していたフレーズにしおりがない場合には、しおりの総数のみをお知らせします。
- 2) しおり情報確認後、下方向ボタンを押します。そうすると、「現在の見出しxx、全体の見出しxx」をアナウンスします。
- 3) 見出し情報の確認後、下方向ボタンを押します。そうすると、「現在ページ xx、全体ページxx」をアナウンスします。
- 4) ページ情報の確認後、下方向ボタンを押すと、「全体再生時間xx時間xx分xx秒」をアナウンスします。
- 5) 全体再生時間確認後、下方向ボタンを押すと、「現在再生時間xx時間xx分xx秒」をアナウンスします。
- 6) 現在再生時間確認後、下方向ボタンを押すと、「残り時間xx時間xx分xx秒」をアナウンスします。再生時間と残りの時間は、再生中のコンテンツが音声DAISYコンテンツで、再生時間情報を持っていないと表示しません。

ダイアログボックスで上方向ボタンまたは下方向ボタンを押すと、各々の項目を循環して情報を教えます。各項目で一文字ずつ移動しながら正確に情報を確認したい場合には左方向ボタンまたは右方向ボタンを押してください。

情報確認後ダイアログボックスを閉じたいときには確認ボタンまたは取消ボタンを押します。そうすると、「閉じる」というメッセージが出て、DAISY情報確認前の状態に戻ります。

## 5.24 再生中コンテンツの再生状態情報確認

再生中コンテンツの状態情報を確認したい場合には、数字の0番ボタンを押します。そうすると、再生中のコンテンツのタイトルと再生中のページ、現在再生中の見出し番号、現在再生時間、残り時間をアナウンスします。「現在再生時間」は、再生中のコンテンツが再生時間情報を持っていない場合には案内されない場合もあります。もし、現在再生されているフレーズにしおりが挿入されている場合には、そのしおり番号もアナウンスします。

再生中に数字の0番ボタンを押して情報確認を実行した場合には、情報案内後にはコンテンツ再生を再開します。メッセージ出力途中、止めたい場合には取消ボタンを押します。

## 5.25 再生ボリュームと再生速度の保存

DAISYブックの再生中、取消ボタンを押して再生を中止すると、再生ボリュームと再生速度は自動で保存されます。そのDAISYコンテンツを再び再生すると、保存された再生ボリュームと再生速度で再生されます。

## 5.26 CD-ROMのDAISYコンテンツの再生

ブックセンスにCDドライブを接続し、DAISYコンテンツが入っているCD-ROMを読み込ませると、ファイルリストにCD-ROMが表示されます。接続されたCD-ROMにDAISYコンテンツが一つしかない場合、ファイルリストのCD-ROMで確認ボタンまたは再生ボタンを押すと、CD-ROMに入っているDAISYコンテンツを再生します。

ブックセンスに接続されたCD-ROMに二つ以上のDAISYコンテンツが入っている場合、ファイルリストのCD-ROMで、右方向ボタンを押して下位フォルダに移動します。

そうすると、CD-ROMの中の複数のコンテンツが表示されますので、再生したいコンテンツまで移動して確認ボタンまたは再生ボタンを押すと、再生出来ます。

## 5.27 DAISYプレーヤーメニューの使い方

DAISYプレーヤーでメニューボタンを押すとDAISYプレーヤーで使用できるメニューが出ます。メニューには、デイジー設定、しおり情報、「コンテンツ取込み」、「拡張メニュー」、「ヘルプモード」、「共通オプション設定」があります。しおり情報はしおりが設定されている場合のみ表示されます。メニュー項目間の移動は上方向ボタンまたは下方向ボタンを押します。

ただし、「コンテンツ取込み」メニューは、外付けのCD-ROMがUSBに接続されていない場合には、表示されません。

「コンテンツ取込み」は、USBに接続された外付けのCD-ROMにあるDAISYコンテンツをブックセンスに取り込む機能で、ファイルリスト状態でのみ使えます。そして、「拡張メニュー」、「ヘルプメニュー」、

「共通オプション設定」は、DAISYプレーヤー以外のどのプログラムでも使えるメニューで、ファイルリストでも、コンテンツ再生中にも、一時停止中にも使えます。

ヘルプモードについての詳細は3章の「ヘルプモードの使い方」をご確認ください。

共通オプション設定についての詳細は9章の「共通オプション設定」をご確認ください。

拡張メニューについての詳細は10章の「ソフトウェアアップグレード」と11章の「計算機」をご確認ください。

### 5.27.1 再生音声仕様

オーディオファイルとテキストファイルを両方持っているDAISYコンテンツを再生中には、オーディオあるいはテキストを選択することが出来ます。

- 1) メニューボタンを押すと、「デイジー設定ダイアログボックス」が現れます。
- 2) 右方向ボタン、確認ボタンあるいはメニューボタンを押します。そうすると、「デイジー設定ダイアログボックス」です。現在の再生音声仕様はオーディオです。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して、設定を保存してください。取り消したい場合には、取り消しボタンを押してください。」というメッセージが出ます。
- 3) 左方向ボタンあるいは右方向ボタンを押して、オーディオあるいはテキストを選択します。再生中のコンテンツが、オーディオ専用の場合には、テキストの選択は出来ません。
- 4) 確認ボタンあるいはメニューボタンを押すと、「オプション保存完了」というメッセージが出て、メニューを呼び出す前の状態に戻ります。

### 5.27.2 しおり情報

このメニューは、しおり、音声メモ、ハイライトしおりを設定したファイルを開いたときに現れます。しおり情報の確認方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押します。「デイジー設定ダイアログボックス」というメッセージが出ます。
- 2) 下方向ボタンを押して、「しおり情報ダイアログボックス」まで移動します。ここで、右方向ボタン、確認ボタンあるいはメニューボタンを押します。
- 3) そうすると、「しおり、音声メモ情報です。」というメッセージの後に、しおり番号、しおりの種類、しおりの位置、しおりの数という順序でメッセージが出ます。

上方向ボタンあるいは下方向ボタンを押して、しおり、音声メモ、ハイライトしおりに移動します。確認ボタンを押すと、しおり、音声メモ、あるいはハイライトしおりの位置に移動します。

ここで、3番ボタンを2秒以上長押しすると、選択中のしおりが削除できます。

メニューから出るためには、取消ボタンを押します。そうすると、メニューに入る前の状態に戻ります。

テキストDAISYの場合には、しおりの位置が見出しとして扱われます。

また、オーディオDAISYとテキストDAISYを両方持つコンテンツの場合には、オーディオモードで再生した際に設定したしおりと、テキストモードで再生した際に設定したしおりは、別々に認識されません。つまり、オーディオDAISYを再生中には、オーディオDAISYで設定したしおりのみが検索され、テキストDAISYを再生中には、テキストDAISYで設定したしおりのみが検索されます。

### 5. 27. 3 CD-ROMにあるコンテンツの取込み

コンテンツの取込み機能は、外付けのCD-ROMにあるDAISYコンテンツを、ブックセンスに挿入されているSDカード、またはブックセンスの内部フラッシュメモリー（T50XTのみ）に取り込む機能です。

ブックセンスにCD-ROM を接続してDAISYコンテンツを再生する場合、CD-ROM はブックセンスより大きくて、持ち運ぶのが面倒ですので、CD-ROMにあるDAISYコンテンツをSDカード、あるいはブックセンスXTの内部フラッシュメモリーにコピーしておくのが便利です。

1. 8節の「ブックセンスにSDカード、USBメモリー挿入およびCD-ROM接続」でも説明しましたが、ブックセンスXTはDAISYコンテンツCDのみを認識できますので、オーディオファイルあるいはテキストファイルのように、DAISYフォーマットの以外のフォーマットのファイルをコピーすることはできません。

CD-ROM にあるDAISYコンテンツをコピーするためには、次のように実行します。

- 1) 1. 8節の「ブックセンスにSDカード、USBメモリー挿入およびCD-ROM接続」で説明した方法のようにCD-ROMをブックセンスに接続します。
- 2) メニューボタンを押します。そうすると、「コンテンツ取り込み」というメッセージが出ます。ここで右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。
- 3) この項目はブックセンスT50XT用の説明です。「保存装置設定ダイアログボックスです。現在の選択された保存装置名はフラッシュメモリーです。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値に移動してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定を保存してください。取り消したい場合には取消ボタンを押してください」というメッセージが出ます。ここで左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、フラッシュメモリー（XTのみ）あるいはSDカードの中で、DAISYコンテンツを取込みたいメディア（保存装置）を選択して、確認ボタンまたはメニューボタンを押します。
- 4) ここからは、T50、T50XT共通の説明です。そうすると、「容量確認中」というメッセージと「コピー中」というメッセージが出て、CD-ROMからブックセンスのSDカード、あるいはフラッシュメモリー（XTのみ）にコンテンツのコピーを始めます。コピー中には確認音を出して、10パーセント単位で進行率を音声でお知らせします。
- 5) コピーが終わると、「コピー完了」というメッセージが出ます。コピーする前に使っていたメディア（保存装置）にコピーした場合には、コピーしたコンテンツのタイトルを読み上げます。



注意事項として、コピーを開始してからは、取消ができません。コピー中にCD-ROMとの接続を切ると、データが損傷される恐れがありますので、ご注意ください。

なお、コピーしたいコンテンツと同じコンテンツがすでにSDカード、あるいはフラッシュメモリーにある場合には、コンテンツのフォルダ名に01、02の順に数字が追加されます。

「コンテンツ取り込み」メニューはCD-ROMが接続されている状態で、CDドライブにはDAISYコンテンツが挿入されている状態でのみ使用できます。CD-ROMが接続されていないか、CD-ROMを接続してもCDドライブにあるCDがDAISY CDではない場合には、この機能は使えません。

SDカードあるいはフラッシュメモリー（XTのみ）の使用可能な容量が、取り込もうとするデータ容量より小さい場合にこの機能を実行すると、「保存装置の容量が不足しています。別の保存装置を指定するか、保存装置内のファイルを削除してください。」というメッセージが出て、この機能を実行する前の状態に戻ります。

## 6. ドキュメントリーダー

ドキュメントリーダーというのはパソコンで一般的に使われる文書ファイルを読む機能です。

### 6.1 ドキュメントリーダーで読めるファイル

ドキュメントリーダーが読めるファイルフォーマットは次の12種類のファイルフォーマットです。txt、rtf、doc、docx、htm、html、xml、brl、brf、bes、bet、EPUB(unprotected e-book)、pdf(縦書きには対応していません)。

### 6.2 文書ファイルの再生

文書ファイルを読むためには、まずブックセンスの左側にあるモード切替ボタンを押してドキュメントリーダーモードに変更します。

ドキュメントリーダーモードに変更するとファイルリストが現れます。このリストには「DOCUMENTS」というフォルダ内にあるファイルまたはフォルダが現れます。

ファイルリストで、読みたいファイルまで移動して再生ボタンまたは確認ボタンを押して選択したファイルを読みます。

既に再生したことのあるファイルを再生すると、前回停止した位置から読み始めます。

読んでいるファイルを閉じて、他のファイルを開いて読みたいときには、取消ボタンを押します。そうすると、再生を終了してファイルリストに戻ります。ファイルリストで読みたいファイルに移動して、再生ボタンまたは確認ボタンを押すと、そのファイルを再生します。

ファイルの再生中に取消ボタンを押してファイルの再生を終了すると、ブックセンスは読み終わった位置を記憶しておいて、再度そのファイルを開いて読む際には、前回停止した位置から続けて読み始めます。

再度再生する際に、ファイルの先頭から読み始めたい場合には、再生を終了する際に、取消ボタンを2秒以上長押しして終了してください。このようにして再生を終了したファイルを再び再生すると、そのファイルの先頭から読み始めます。

なお、メニューを利用して最近読んだ本のリストから再び読みたいファイルを探して再生する方法もあります。この機能については、6.21.1節の最近開いた文書のリストをご確認ください。

### 6.3 一時停止

ファイルの再生中、再生ボタンを押すと一時停止になります。一時停止状態で、再生ボタンをもう一回押すと再生状態になります。

## 6.4 移動単位の変更

ブックセンスでは、文書ファイルを読むときに、段落、ページ、ライン、単語、文字単位で移動しながら読むことができます。

移動単位を変更するためには、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押します。

下方向ボタンを押すと、「ページ」、「段落」、「ライン」、「文章」、「単語」、「文字」、「しおり」、「単語検索」の順に移動単位が変わります。

上方向ボタンまたは下方向ボタンを使って移動単位を変更してから、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、設定した移動単位で、現在位置より前の方向、または後の方向に移動できます。

しおりは現在再生中のファイルにしおりが挿入されていないと、移動単位には現れません。

再生中のファイルがHTMLファイルで、HTMLファイルに見出しタグが含まれている場合、移動単位に「レベル」が追加的に現れて、見出しのレベルによって移動することができます。例えば、HTMLファイル内でh1、h2、h3のような見出しタグがある場合、上方向または下方向ボタンを押して移動単位を変更するときに、「段落」の後で「レベル1」、「レベル2」、「レベル3」が追加されます。ここで移動したい単位を選択した後、左方向または右方向ボタンを押すと、設定した見出しレベルで移動することができます。

## 6.5 ページ単位の移動

上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動単位を「ページ」に変更した後、左方向ボタンを押すと前のページに移動して読み上げます。右方向ボタンを押すと次のページに移動して読み上げます。

## 6.6 段落単位の移動

上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動単位を「段落」に変更した後、左方向ボタンを押すと前の段落に移動して読み上げます。右方向ボタンを押すと次のページに移動して読み上げます。

## 6.7 見出しレベル単位の移動

この機能は、見出しタグ情報を持っているhtmlファイルでのみ使えます。

再生中のファイルがHTMLファイルで、HTMLファイルに見出しタグが含まれている場合、移動単位に「レベル」が追加的に現れて、見出しのレベルによって移動することができます。「レベル」というのは、ファイルに含まれている見出しタグによってレベル1、レベル2などがあります。見出しタグというのはhtml文書内にある、h1、h2などを意味します。

レベルは、現在再生中のファイルが持っているすべての見出しタグに対応します。例えば、再生中の文書に、見出しタグh1、h2のみがある場合、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押すとレベル1とレベル2が表示されます。見出しタグがh1、h2、h3までである場合には、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押すとレベル1からレベル3までが現れます。

## 6.8 ライン単位の移動

上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動単位を「ライン」に変更した後、左方向ボタンを押すと前のラインに移動して読み上げます。右方向ボタンを押すと次のラインに移動して読み上げます。

ライン単位の移動時には、移動したラインのみを読み上げた後、再生が止まります。前のラインまたは次のラインを続けて読みたい場合には、左方向ボタンまたは右方向ボタンを繰り返して押ししてください。連続して読みたい場合には、移動したラインを読み終わったときに再生ボタンを押してください。

## 6.9 文章単位の移動

上方向または下方向ボタンを押して移動単位を「文章」に変更した後、左方向ボタンを押すと前の文章に移動して読み上げます。右方向ボタンを押すと次の文章に移動して読み上げます。

文章単位の移動時には、移動した文章のみを読み上げた後、再生が止まります。続けて前の文章あるいは次の文章を読みたい場合には、左方向ボタンまたは右方向ボタンを繰り返して押ししてください。連続して読みたい場合には、移動した文章を読み終わったときに再生ボタンを押してください。

## 6.10 単語単位の移動

上方向または下方向ボタンを押して移動単位を「単語」に変更した後、左方向ボタンを押すと前の単語に移動して読み上げます。右方向ボタンを押すと次の単語に移動して読み上げます。

単語単位の移動時には、移動した単語を読み上げた後、再生が止まります。続けて前の単語あるいは次の単語を読みたい場合には、左方向ボタンまたは右方向ボタンを繰り返して押ししてください。連続して読みたい場合には、単語の読み上げが止まったときに再生ボタンを押してください。

## 6.11 文字単位の移動

上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動単位を「文字」に変更した後、左方向ボタンを押すと前の文字を読み上げて止まります。右方向ボタンを押すと次の文字を読み上げて止まります。続けて前の文字または次の文字を読みたい場合には、左方向ボタンまたは右方向ボタンを繰り返して押ししてください。連続して読みたい場合には、文字の読み上げが止まったときに再生ボタンを押してください。

## 6.12 詳細読み

この機能は、データを文字単位で移動しながら、現在の文字を詳細に読み上げる機能です。

上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、「詳細読み」に移動します。そして、左方向ボタンある

いは右方向ボタンを押して、前の文字、あるいは、次の文字に移動します。ひらがなはそのまま読上げられますが、漢字やカタカナ、アルファベットは、詳細を読上げます。

例えば、「自分」という言葉の場合、みずからの自、分けるの分、というように漢字の詳細を読上げます。カタカナの場合は、カタカナ、ア、というように読上げます。

### 6.13 しおり単位の移動

現在読んでいるファイルにしおりが設定されている場合、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動単位を「しおり」に変更した後、左方向ボタンを押すと、現在位置よりひとつ手前の位置にあるしおりに移動して読み上げます。右方向ボタンを押すと、現在位置よりひとつ先の位置にあるしおりに移動して読み上げます。

読んでいるファイルにしおりが設定されていない場合には、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押しても移動単位に「しおり」は出ません。しおり単位移動時には、移動後は止まることなく読み続けます。また、しおりには、しおり、音声メモ、ハイライトしおりの3種類がありますが、しおり単位の移動では、しおりの種類を特定することはできません。

### 6.14 単語検索

現在読んでいるファイルで、特定の単語を含む箇所を検索する機能です。単語を検索する方法は次の通りです。

- 1) ファイルの再生中に、検索したい単語が出た場合、再生を一時停止状態にし、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動単位を「単語」に変更します。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押すと、単語単位で前後に移動しますので、検索したい単語まで移動します。
- 2) 検索したい単語まで移動したら、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動単位を「単語検索」に変更します。
- 3) 右方向ボタンを押すと、現在の位置から先の方向にある、設定した単語と同じ単語を検索して、その単語が入っているラインを読み上げます。左方向ボタンを押すと、現在の位置から前の方向にある、設定した単語と同じ単語を検索して、その単語が入っているラインを読み上げます。

指定した方向に同じ単語が見つからない場合には、「これ以上探す単語がありません」というメッセージが出ます。

単語検索時には、単語の後に付く助詞が違う場合には、同じ単語でも検索できない場合があります。つまり、「ブックセンス」という単語を検索するときに、「ブックセンスが」とか「ブックセンスを」などの単語は検索できません。

### 6.15 しおり

ブックセンスでは、再生中のコンテンツにしおり、音声メモ、ハイライトしおりを挿入、すでに挿入されているしおり、音声メモ、ハイライトしおりに移動、挿入しておいたしおり、音声メモ、ハイ

ライトしおりを削除することができます。一度コンテンツに設定したしおり情報は、再生をキャンセルしても、そのまま保存されます。

しおりは一つのコンテンツに1000個まで挿入できます。

しおりと関係のあるボタンは次のようなボタンがあります。

- 1) 1番ボタン: しおり、音声メモ、ハイライトしおりの挿入。初期設定はしおりの挿入です。
- 2) 2番ボタン: しおり、音声メモ、ハイライトしおりに移動。
- 3) 3番ボタン: 特定のしおり、音声メモ、ハイライトしおりの削除。ファイル内のしおりを全て削除する場合は、3番ボタンを2秒以上長押ししてください。
- 4) 9番ボタン: 9番ボタンを押して、しおり、音声メモ、ハイライトしおりの切り替えができます。9番ボタンを押すごとに、「音声メモ設定モード」、「ハイライトしおり設定モード」、「しおり設定モード」というメッセージが出ます。

しおり、音声メモ、ハイライトしおりの番号は区別されません。しおり番号で1を使用すると、音声メモ、ハイライトしおりの番号では、1は使用できません。同じ番号を設定しようとする、既にしおりや音声メモ、ハイライトしおりが存在していることを知らせ、上書きするかどうかのメッセージが出ます。

また、設定するしおり、音声メモ、ハイライトしおりの番号は、自動的に更新されていきます。初めてしおり、音声メモ、ハイライトしおりを挿入する場合は、番号は1に設定されています。既に10個のしおり、音声メモ、ハイライトが設定されていて、11個目のしおり、音声メモ、ハイライトしおりを挿入する場合は、番号は11になっています。使用できる番号は1から1000までで、これを超える番号を入れると、「入力可能な範囲は1から1000までです。数字ボタンを使って入力してください」というメッセージが出ます。

### 6.15.1 しおりの挿入

現在再生中のファイルにしおりを挿入する機能です。

ファイルを再生中、現在再生している位置を記憶するために、しおりを挿入することができます。しおりを挿入すると、次回ファイルを再生する際に、任意のしおり位置から再生することができます。しおりを挿入する方法は次の通りです。

- 1) ファイル再生中または一時停止中、しおりを挿入したい位置で数字の1番ボタンを押します。
- 2) 「しおりの総数、00. しおり番号を0から1000までの数字で入力してください。」というメッセージが出ます。ここで1から1000までの数字を入力し、確認ボタンを押します。
- 3) 「しおり挿入完了」というメッセージが出て、続けて再生します。

しおりは1000個まで挿入できます。しおり番号は1から1000の間の数字を使ってください。この範囲を超える数字を入力すると、「入力可能な範囲は1から1000までです。数字ボタンを使って入力し

てください。」というメッセージが出て、入力待機状態になります。

しおり挿入途中にしおりの挿入をキャンセルしたい場合には、数字を入力する前にキャンセルボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、キャンセルボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度キャンセルボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、しおりの挿入が取り消されます。

### 6.15.2 音声メモの挿入

再生中に音声メモを挿入する方法は、次の通りです。

- 1) ファイルの再生あるいは一時停止中に、9番ボタンを押して、音声メモに切り替えます。
- 2) 1番ボタンを押します。そうすると、「音声メモ開始」というメッセージが出て、音声メモの録音を開始します。音声録音を終了したい場合には、確認ボタンを押してください。音声メモは最長40秒間録音できます。
- 3) そうすると、「録音終了。音声メモ番号を1から1000までの数字で入力してください。数字ボタンを使って入力してください」というメッセージが出ます。ここで、入力したい番号を入力します。
- 4) 確認ボタンまたはメニューボタンを押します。そうすると、「音声メモ設定完了」というメッセージが出て、音声メモ挿入前の状態に戻ります。

音声メモ挿入途中に音声メモの挿入をキャンセルしたい場合には、数字を入力する前にキャンセルボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、キャンセルボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度キャンセルボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、音声メモの挿入が取り消されます。

### 6.15.3 ハイライトしおりの挿入

ハイライトしおりはある区間を指定したしおりです。ハイライトしおりは、ファイル内のある区間を保存しておき、後で確認する場合などに便利な機能です。

ハイライトしおりの設定方法は次の通りです。

- 1) ファイルの再生中あるいは一時停止中、9番ボタンを押して、「ハイライトしおり」設定モードに切り替えます。
- 2) 1番ボタンを押すと、「ハイライトしおり開始」というメッセージが出て、再生が続きます。
- 3) ハイライトしおりの終点にしたい位置で、確認ボタンを押します。
- 4) そうすると、「ハイライトしおり終了。ハイライトしおり番号1から1000までの数字を入力してください。数字ボタンを使ってください。」というメッセージが出ます。ここで、入力したい数字を入力します。
- 5) 確認ボタンあるいはメニューボタンを押すと、「ハイライトしおり挿入完了」というメッセージが

出て、ハイライトしおり挿入前の状態に戻ります。

ハイライトしおり挿入途中にハイライトしおりの挿入をキャンセルしたい場合には、数字を入力する前にキャンセルボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、キャンセルボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度キャンセルボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、ハイライトしおりの挿入が取り消されます。

#### 6.15.4 設定したしおりへの移動

再生中のファイルにしおりが挿入されている場合、そのしおりがある位置に移動して、しおりの位置から再生することができます。しおり、音声メモ、ハイライトしおりなど、しおりの種類に関わらず、しおりの挿入位置に移動できます。しおりへの移動は次のように使います。

- 1) ファイル再生中または一時停止中に数字の2番ボタンを押します。
- 2) 「移動するしおり番号。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出ます。ここで移動したいしおり番号を入力し、確認ボタンを押します。
- 3) 該当するしおりがある部分に移動して再生します。  
しおりには次のような3種類のしおりがあります。
- 4) しおり：しおりまで移動して、そのしおりから再生を続けます。
- 5) 音声メモ：音声メモまで移動して、録音しておいた音声メモを再生して、ファイルを再生します。
- 6) ハイライトしおり：ハイライトしおりが始まる位置に移動して再生を開始します。ハイライトしおりの区間を再生して、一時停止します。確認ボタンを押すと、ハイライトしおり区間再生あるいは、一時停止状態を問わず、区間の初めから区間の終わりまで再生して一時停止します。区間再生中に再生ボタンを押すと、区間再生が一時停止されて、この状態で再生ボタンを再び押すと、一時停止した位置から再生して、区間の終わりの位置で停止します。ハイライトしおりの再生が停止した後、再生ボタンをもう一回押すと、区間の終わりから再生を再開します。  
ハイライトしおりの区間を再生中、キャンセルボタンを押すと、ハイライトしおりの終わりの部分まで移動して、その部分から再生を再開します。

存在しないしおり番号を入力した場合、「移動するしおりがありません」というメッセージが出て、再生状態に戻ります。もし、しおり番号の範囲(1から1000まで)を超えたしおり番号を入力すると「入力可能な範囲は1から1000までです。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出て、入力待機状態になります。

しおりへの移動をキャンセルしたい場合には、数字を入力する前にキャンセルボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、キャンセルボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度キャンセルボタンを押すと、「取り消し」というメッ



セージが出て、しおりへの移動が取消されます。

### 6.15.5 設定したしおりの削除

再生中のファイルにしおりが挿入されている場合、要らなくなったしおりを削除することができます。しおりの削除方法は次の手順の通りです。

- 9) ファイル再生中または一時停止中、数字の3番ボタンを押します。
- 10) 「削除するしおり番号。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出ます。ここで削除したいしおり番号を入力し確認ボタンを押します。しおりの種類に関わらず、削除することができます。
- 11) そうすると、削除するしおりの種類により、「00番しおり削除完了」、「音声メモ##削除完了」、「ハイライトしおり##削除完了」というメッセージが出て、該当するしおりを削除してしおりを削除する前の状態に戻ります。

ただし、ハイライトしおりの再生中に、該当のハイライトしおりを削除すると、ハイライトしおりは削除されますが、再生は続きます。

しおり番号の範囲を超えたしおり番号を入力した場合には「入力可能な範囲は1から1000までです。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出て、入力待機状態になります。

もし入力したしおり番号が存在しない場合には、「削除するしおりがありません」というメッセージが出て、再生を再開します。

しおりの削除を取消したい場合には、数字を入力する前に取消ボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、取消ボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度取消ボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、しおりの削除が取消されます。

- 12) ファイルにあるすべてのしおりを削除する場合は、ファイルの再生中、もしくは一時停止中に数字の3番ボタンを2秒以上長押しします。そうすると、「挿入されたすべてのしおりを削除しますか？」とメッセージが出ます。削除する場合は確認ボタンを、削除を取り消す場合は取り消しボタンを押してください。

### 6.16 再生速度の調節

文書の再生中または一時停止中に数字ボタンを押して簡単に再生速度を調節することができます。

なお、再生中変更した速度は、取消ボタンを押して再生を終了すると、各ファイル別に自動保存され、後で、そのファイルを開いて再生すると、以前再生した速度で再生します。

### 6.16.1 再生速度を遅くする

再生速度を遅くするためには数字の4番ボタンを押します。一時停止中に、4番ボタンを1回押すと、「再生速度6」というメッセージが出て、速度が1段階遅くなります。再生中には、メッセージなしで速度が遅くなります。

基本速度は7で、「再生速度1」まで調節できます。つまり、基本速度から6段階まで遅く調節することができます。

### 6.16.2 再生速度を基本速度に戻す

再生速度を基本速度に戻すためには数字の5番ボタンを押します。再生中にこのボタンを押すと、ピッという音が出て基本速度に戻ります。一時停止中には「再生速度7」というメッセージが出て、基本速度に戻ります。

### 6.16.3 再生速度を速くする

再生速度を速くするためには数字の6番ボタンを押します。一時停止中に、6番ボタンを1回押すと、「再生速度8」というメッセージが出て、速度が1段階速くなります。再生中には、メッセージなしで速度が速くなります。

基本速度は7で、「再生速度21」まで調節できます。つまり、基本速度から14段階まで速く調節することができます。

## 6.17 英語補助音声の使用

日本語と英語が混在している文書を再生する場合、英語補助音声を使ってより正確に文書を再生することができます。英語補助音声を使うと、日本語の部分は日本語合成音声、英語の部分は英語合成音声で自動で変更されながらコンテンツを読み上げます。英語補助音声を使用しないと、コンテンツ内のすべてのテキストを日本語合成音声で読み上げます。

文書を読むときに英語補助音声を使用するためには、5番ボタンを2秒以上長押しします。そうすると、「英語補助音声、使用」というメッセージが出て、日本語合成音声と英語合成音声で混用されて、自動で切り替えられます。英語補助音声を使用に設定すると、その後は再生するすべての文書は英語補助音声を使用して再生します。

英語補助音声を使用したくない場合には、5番ボタンを再度2秒以上長押しします。そうすると「英語補助音声、使用しません」というメッセージが出て日本語合成音声ですべてのテキストファイルを読み上げます。

英語補助音声使用設定は、メニューを使って設定することもできます。メニューを使って変更する方法は、9.3節のTTS設定をご確認ください。

英語補助音声は文書内でのみ使用できる機能で、文書以外の部分では動作しません。例えば、ファイルリスト、最近開いた文書のリスト、メニュー項目を読み上げるときには英語補助音声が使われません。ファイルリスト、最近開いた文書のリスト、メニューなどを読み上げるときには日本語合成音声が使われます。ただし、補助音声を使用するか、使用しないかの選択は、ファイルリストなどを見るときにも、数字の5番ボタンを2秒以上長く押して変更することができます。

## 6.18 読みたいページに移動

ファイル再生中にも、読みたいページに移動して再生を再開することができます。読みたいページに移動して再生する方法は次の通りです。ファイルを再生中、または一時停止状態で数字の7番ボタンを押します。

- 1) 「現在ページxxx、総ページxxx、移動するページ番号。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出ます。ここで移動したいページ番号を数字ボタンを使って入力してください。
- 2) 確認ボタンを押します。そうすると、入力したページに移動して再生を開始します。

もし、総ページ数より大きい数字を入力した場合には、「入力した数字が許容範囲を外れました。xxからyyの間の数字を入力してください。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出て、また数字入力待機状態になります。ここで改めて移動したいページ番号を入力してください。ここでのxxは最初のページ、yyは最終のページ番号です。

ページ移動を取り消したい場合には、数字を入力する前に取消ボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、取消ボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度取消ボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、ページへの移動が取り消されます。

## 6.19 読みたい位置までパーセント単位で移動

ファイル再生中、そのファイルの全体の長さを100%として、パーセント単位で移動することができます。パーセント単位で移動する方法は次の通りです。

- 1) ファイルを再生中または一時停止中、数字の8番ボタンを押します。
- 2) 「現在xx%、0%から99%までの数字を入力してください。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出ます。ここに数字ボタンを使って移動したいパーセントを数字で入力します。
- 3) 確認ボタンを押します。そうすると、「xx%に移動」というメッセージが出て、入力したパーセントの位置まで移動して再生を再開します。

例えば、200ページの文書ファイルを読むときに、パーセント移動を実行して、数字ボタンを使っ

て10を入力して、確認ボタンを押すと20ページに移動して読み上げます。

入力範囲を超えた数字を入力すると、「入力した数字が許容範囲を外れました。0から99の間の数字を入力してください。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出て、数字入力待機状態になります。

パーセント単位移動を取り消したい場合には、数字を入力する前に取消ボタンを押します。もし、すでに数字を入力した場合には、取消ボタンを繰り返して押して入力した数字を全て消すと、ベルの音と「入力がありません」というメッセージが出ます。再度取消ボタンを押すと、「取り消し」というメッセージが出て、パーセント単位の移動が取り消されます。

## 6.20 現在読んでいるファイル情報の確認

読んでいるファイルの情報を確認したい場合には、数字の0番ボタンを押します。そうすると、現在読んでいるファイルのファイル名、現在のページ、しおりの数、音声メモの数、現在の位置のパーセントを読み上げます。

情報出力後は、ファイル情報を確認する直前の状態に戻ります。ファイル情報の読み上げ中、読み上げを止めたい場合には、確認ボタン、もしくは取消ボタンを押します。

## 6.21 ドキュメントリーダーのメニュー

ドキュメントリーダーモードでメニューボタンを押すと、ドキュメントリーダーで使用できるメニューが現れます。

ドキュメントリーダーのメニューには、「最近開いた文書」、「しおり情報」、「ページ設定」、「拡張メニュー」、「ヘルプモード」、「共通オプション設定」があります。これらのメニュー項目間の移動は上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動します。

メニューはファイルリスト状態でも、ファイルを再生中にも、一時停止状態でも使えます。ただし、ファイル再生中あるいは一時停止中と、ファイルリスト確認中では、確認できるメニューが異なります。

ファイル再生中あるいは一時停止中にメニューを呼び出すと、「ページ設定」メニューは出ません。ファイルリスト確認中にメニューを呼び出したときには、「しおり情報」は出ません。

「拡張メニュー」、「ヘルプモード」と「共通オプション設定」は、どのモードでも現れるメニューです。「ヘルプモード」についての説明は、3章「ヘルプモードの使い方」をご確認ください。「共通オプション設定」は9章「共通オプション設定」をご確認ください。「拡張メニュー」については、10章「ソフトウェアアップグレード」、11章「計算機」をご確認ください。

ここでは、「最近開いた文書」、「しおり情報」、「ページ設定」について詳しく説明します。

### 6.21.1 最近開いた文書のリスト

ブックセンスでは最近開いたファイルのリストを自動で作ります。このリストを使うと、最近開い

て読んだファイルを簡単に探すことができます。このリストには最大20個のファイルが表示されます。最近開いたファイルが20個を超える場合には、自動的に一番古いファイルがリストから削除され、新しいファイルが追加されます。最近開いたファイルリストは、メディア（保存装置）別に作成されますので、メディア（保存装置）を変更して、最近開いたファイルリストを確認した場合は、別のメディア（保存装置）にあるファイルは確認できません。

最近開いた文書のリストを確認する方法は、次の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出すと、最初の項目である「最近開いた文書」というメッセージが出ます。
- 2) 右方向ボタンまたはメニューボタン、または確認ボタンを押します。
- 3) 「(最初のファイル名) 1/y」というメッセージが出ます。ここで、yはすべてのファイル数です。再生中または一時停止中にこのメニューを呼び出した場合には、「ファイル読み上げ取消」というメッセージが出て、読んでいたファイルの読み上げを停止して、「(最初のファイル名) 1/y」というメッセージが出ます。
- 4) ここで上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して開きたいファイルに移動します。このとき、リストは循環しません。つまり、上方向ボタンを押すと最初のファイル名を読み上げて、もう一回上方向ボタンを押すと、エラー音が鳴り、一番最初のファイル名をもう一回読み上げます。逆に最後のファイル名を読み上げた後、もう一回下方向ボタンを押しても、エラー音が鳴り、最後のファイル名をもう一回読み上げます。
- 5) 開きたいファイルまで移動し、確認ボタンまたは再生ボタンを押します。そうすると、選択したファイルを開いて読み始めます。

最近開いた文書リストでは、ファイルを開いた日付順に整列されますので、最近読んだ文書が最初に出ます。リストを読み上げる途中、取消ボタンを押すと、「メニューを閉じます」というメッセージが出て、通常のファイルリストを表示します。つまり、ドキュメントリーダーで読めるファイルを選択するファイルリストに戻ります。

最近開いた文書リストが表示されている最中に、メニューボタンを押した場合、「文書リスト」というメッセージが出ます。ここで右方向ボタンまたはメニューボタン、または確認ボタンを押すと、通常のファイルリストに戻ります。

最近開いた文書リストから最近開いたファイルを削除することも出来ます。詳細は、2.5節 ファイルまたはフォルダの削除 をご参考してください。

## 6.21.2 しおり情報

このメニューは、しおり、音声メモ、ハイライトしおりを設定したファイルを開いたときに現れます。しおり情報の確認方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押します。「イコライザー設定ダイアログボックス」というメッセージが出ます。
- 2) 下方向ボタンを押して、「しおり情報ダイアログボックス」まで移動します。ここで、右方向ボタン、確認ボタンあるいはメニューボタンを押します。
- 3) そうすると、「しおり、音声メモ情報です。」というメッセージの後に、しおり番号、しおりの種類、しおりの位置、しおりの数という順序でメッセージが出ます。

上方向ボタンあるいは下方向ボタンを押して、しおり、音声メモ、ハイライトしおりに移動します。確認ボタンを押すと、しおり、音声メモ、あるいはハイライトしおりの位置に移動します。

ここで数字の3番ボタンを2秒以上長押しすると、選択中のしおりが削除できます。メニューから出るためには、取消ボタンを押します。そうすると、メニューに入る前の状態に戻ります。

## 6.21.3 ページ設定

ページ設定は、どこまでをひとつのページにするかを設定する機能です。即ち、ひとつのページあたりのライン数、ひとつのラインあたりの文字数、フォームフィールド（改ページ情報）によるページの区別をどのようにするかを設定して、文書でのページ移動ができるようにする機能です。

このメニューは、文書を開いた状態では現れません。ファイルリストまたは最近開いた文書リストでメニューを呼び出したときしか現れません。

ページ設定の実行方法は次の通りです。

- 1) ファイルリストでメニューボタンを押してメニューを呼び出します。そうすると、「最近開いた文書」というメッセージが出ます。
- 2) 下方向ボタンを1回押して「ページ設定ダイアログボックス」に移動します。
- 3) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。
- 4) 「ページ設定ダイアログボックスです。現在ラインあたりの文字数80です。数字ボタンを使って入力してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定するか、あるいは上方向または下方向ボタンを押して前の項目または次の項目に移動してください」というメッセージが出ます。

このダイアログボックスには、「ラインあたりの文字数」、「ページあたりのライン数」、「フォームフィールドによるページ区分」という項目があります。これらの項目の間での移動は上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動します。

各項目での設定値を設定したい値に設定した後、確認ボタンまたはメニューボタンを押して変更し

たい値を適用して「ページ設定ダイアログボックス」を閉じると、メニューを呼び出す前の状態に戻ります。

取消ボタンを押すと、変更された値を保存しないままダイアログボックスを閉じてメニューを呼び出した直前の状態に戻ります。

次に、各項目についての詳しい説明です。

### (1) ラインあたりの文字数

ひとつのラインあたりの文字数を何文字にするかを設定します。ページ設定ダイアログボックスに入ると、「ページ設定ダイアログボックスです。現在ラインあたりの文字数は80です。数字ボタンを使って入力してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定するか、あるいは上方向または下方向ボタンを押して前の項目または次の項目に移動してください」というメッセージが出ますので、数字ボタンを押して数字を入力してください。入力できる数字は60から100までです。基本値は80で、80文字をひとつのラインにします。

「ラインあたりの文字数」で数字を入力して、「ページあたりのライン数」と「フォームフィールドによるページ区分」などの次の設定項目に移動したい場合には、下方向ボタンを押して次の設定項目に移動します。

ラインあたりの文字数のみを設定して、ダイアログボックスを閉じたい場合には、確認ボタンまたはメニューボタンを押すと、設定を保存してメニューを呼び出す直前の状態に戻ります。

入力許容範囲を外れた数字を入力した場合、例えば、50や110などの数字を入力して確認ボタンを押した場合には、「入力数字が設定可能な範囲を超えました。ラインあたりの文字数は60から最大100まで設定できます。」というメッセージが出て、数字入力待機状態になります。

入力可能な範囲を超えた状態で、次の設定項目に移動するため、下方向ボタンを押すと、警告音とメッセージが出て、数字入力待機状態になります。

### (2) ページあたりのライン数

ひとつのページあたりのライン数をいくつのラインにするかを設定します。ラインあたりの文字数のメッセージが出た後に、下方向ボタンを押してください。そうすると「ページあたりのライン数 25 数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出ます。入力できる数字は18から40の間の数字です。基本値は25です。ひとつのページに25ラインがあるという意味です。

「ページあたりのライン数」で数字を入力して、「フォームフィールドによるページ区分」設定項目に移動したい場合には、下方向ボタンを押して移動します。次の項目に移動せず、入力したライン数を設定して、ダイアログボックスを閉じたい場合には、確認ボタンまたはメニューボタンを押すと、設定を保存して、メニューを呼び出す直前の状態に戻ります。

入力許容範囲を外れた数字を入力した場合、例えば、10や50などの数字を入力して確認ボタンを押した場合には、「入力数字が設定可能な範囲を超えました。ページあたりのライン数は18から最大40ラインまで設定できます。」というメッセージが出て、数字入力待機状態になります。

入力可能な範囲を超えた状態で、次の設定項目に移動するため、下方向ボタンを押すと、警告音とメッセージが出て、数字入力待機状態になります。

### (3) フォームフィード（改ページ情報）によるページ区分

設定したラインあたりの文字数と、ページあたりのライン数だけではなく、予め文書に設定してあるフォームフィード（改ページ情報）を使ってページを区別することもできます。ラインあたりの文字数のメッセージが出たところで、下方向ボタンを2回押して「フォームフィードによるページ区分採用 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値に移動してください。」に移動します。基本値は「採用」で、「採用」に設定すると、今まで設定したラインあたりの文字数と、ページあたりのライン数を無視して、フォームフィードがあるところからを新しいページとして区分します。

左方向ボタンまたは右方向ボタンを使って「無視」に変更すると、今まで設定したラインあたりの文字数と、ページあたりのライン数を採用し、フォームフィードがあってもページ区分しません。

## 6. 21. 4 CD-ROMにあるコンテンツの取込み

「コンテンツ取り込み」機能は、CD-ROM内にあるメディアコンテンツを、ブックセンス内にあるフラッシュメモリー（T50XTのみ）あるいはSDカードに取り込む機能です。

ブックセンスで取り込むことが出来るファイル形式は、TXT、DOC、DOCX、RTF、HTM、HTML、XML、BRF、BRL、BES、BET、EPUB(unprotected e-book)、PDF（縦書き文書は除く）の13種類です。

ブックセンスにCD-ROMドライブを接続しても、文書コンテンツを直接再生することが出来ません。ブックセンスのメモリーに取り込んで、ブックセンスのドキュメントリーダーを使って再生することが出来ます。このメニューはCDドライブが接続されたときのみに表示されます。

CD-ROMにある文書コンテンツの取り込み方法は、次の通りです。

- 1) USBケーブルとUSBジェンダーを使ってCDドライブとブックセンスに接続します。接続方法は1.8節をご確認ください。
- 2) メニューボタンを押します。CD-ROMが正常的に認識された場合には、「コンテンツ取り込み」と言うメッセージが出ます。ここで、右方向ボタン、メニューボタンあるいは確認ボタンを押します。
- 3) 「CDから取り込むデータのファイル形式を選択してください」と言うメッセージが出ます。このダイアログボックスではCDから取り込む文書ファイルタイプを選択します。ブックセンスで取り込むことが出来るファイル形式は、TXT、DOC、DOCX、RTF、HTM、HTML、XML、BRF、BRL、BES、BET、EPUB(unprotected e-book)、PDF（縦書き文書は除く）の13種類です。

ファイルリストの初期設定はすべて選択で、9番ボタンでファイルの個別選択・選択解除するこ



とが出来ます。

そして、7番ボタンで、ファイルの全体選択が出来ます。選択したリストをすべて取り消しするためには、取消ボタンを押します。選択したリストが無い場合に取消ボタンを押すと、ダイアログボックスを取り消して、ドキュメントリーダーのファイルリストに戻ります。

- 4) 選択した文書コンテンツをCD-ROMから取り組みたい場合には、確認ボタンを押します。
- 5) この項目は、ブックセンスXT (T50XTのみ) に対する説明です。T50XTの場合は、確認ボタンを押した後、「保存装置設定ダイアログボックスです。現在の選択された保存装置名はフラッシュメモリーです。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値に移動してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定を保存してください。取り消したい場合には取消ボタンを押してください」というメッセージが出ます。ここで左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、フラッシュメモリーあるいはSDカードを選択して、確認ボタンあるいはメニューボタンを押します。もし、SDカードが挿入していないと、ディスク選択項目は省略されます。
- 6) ここからはT50とT50XTの共通事項です。確認ボタンを押すと、「コピー中」というメッセージが出て、CD-ROMからブックセンスのSDカードあるいはフラッシュメモリー (T50XTのみ) にコンテンツを取り込みます。取り込み中は、取り込みが進行していることを表すビープ音が出ます。
- 7) 取り込みが終わると、「コピー完了」というメッセージが出て、ファイルリストに戻って現在の項目を案内します。
- 8) CD-ROMから取り込んだコンテンツは、選択したメモリーのDOCUMENTSフォルダ内に、CD000と言うフォルダが作成され、その中に保存されます。多数のデータを取り込んだ場合には、CD001、CD002、CD003のように番号がフォルダ名に追加されます。

コンテンツの取り込み中に取り消しをすることは出来ません。取り込み中、CDドライブの接続を解除すると、データの損傷の恐れがありますので、ご注意ください。

SDカードあるいはフラッシュメモリー (T50XTのみ) の使用可能な容量が、CD-ROMから取り込むコンテンツの容量より小さい場合には、「保存装置の容量が不足しています。別の保存装置を指定するか、保存装置内のファイルを削除してください。」というメッセージが出て、メモリーのファイルリストに戻ります。

## 7. ラジオ

(FMラジオはブックセンスXT(モデル番号：T50XT)でのみ受信できます。ブックセンス(モデル番号：T50)ではFMラジオの受信はできません。)

ラジオを使うためには、ブックセンスの左側にあるモード切替ボタンを押してラジオに切り替えてください。ブックセンスのラジオを聴きたい場合には、まず、イヤホンを接続して、ブックセンスのラジオアンテナとして使えるようにしなければなりません。イヤホンを接続しないとラジオを聴くことはできません。

ラジオモードでは次のようなことができます。

- 1) ラジオを内蔵スピーカまたはイヤホンを通して聴くことができます。
- 2) 聴いている放送の録音ができます。
- 3) 頻繁に聴く周波数を6個までチャンネル登録して、簡単に移動することができます。
- 4) 自動で前の周波数または次の周波数を検索して受信することができます。

ブックセンスのラジオの周波数検索範囲は76MHzから108MHzまでです。

これからラジオの使用方法を説明します。

### 7.1 前の周波数を自動検索

左方向ボタンを2秒以上長押しすると、現在の周波数から前の受信可能な周波数を自動で検索します。

### 7.2 次の周波数を自動検索

右方向ボタンを2秒以上長押しすると、現在の周波数から後の受信可能な周波数を自動で検索します。

### 7.3 0.05MHz単位で前の周波数に移動

左方向ボタンを一回押しと、現在の周波数から0.05MHz(メガヘルツ)ずつ前の周波数に移動します。自動検索でうまく周波数を検索できないときに、この機能を使って少しずつ周波数を移動しながら受信可能な周波数を選択してください。

### 7.4 0.05MHz単位で次の周波数に移動

右方向ボタンを一回押しと、現在の周波数から0.05MHz(メガヘルツ)ずつ次の周波数に移動します。自動検索でうまく周波数を検索できないときに、この機能を使って少しずつ周波数を移動しながら受信可能な周波数を選択してください。

## 7.5 周波数を入力して移動

特定の周波数に移動したい場合、ブックセンスの数字ボタンを使って直接周波数を入力し、移動することが可能です。まず、ラジオモードで数字の8番ボタンを2秒以上長押しすると、「移動周波数を入力してください」というメッセージが出ます。数字ボタンを使って周波数を入力してください。小数点の入力は、上方向ボタンを2秒以上長押ししてください。入力が完了したら、確認ボタンを押してください。そうすると入力した周波数に移動します。

## 7.6 登録されたチャンネルの中で前のチャンネルに移動

チャンネル登録機能を使ってチャンネルを登録した場合、チャンネル単位の移動が可能です。チャンネルが登録されている状態で、上方向ボタンを押すと、現在のチャンネルから前のチャンネルに移動します。

## 7.7 登録されたチャンネルの中で次のチャンネルに移動

チャンネル登録機能を使ってチャンネルを登録した場合、チャンネル単位の移動が可能です。チャンネルが登録されている状態で、下方向ボタンを押すと、現在のチャンネルから次のチャンネルに移動します。

## 7.8 無音機能

ラジオの聴取中に、音を出さないようにすることもできます。ラジオの受信中に再生ボタンを押してください。そうすると「音消去」というメッセージを出してラジオの音が出ません。そして再びラジオを聴きたい場合には、再生ボタンをもう一回押してください。そうすると、「音消去解除」というメッセージが出てラジオの音が聴けるようになります。

## 7.9 チャンネル登録及びチャンネル移動

前のチャンネル、次のチャンネルに移動するためには、まずチャンネルを登録しておかないとなりません。

チャンネルを登録するためには、登録したい放送を受信している状態で、1番から6番までの数字ボタンの中でひとつを2秒以上長押しします。そうすると、「x番チャンネル登録完了」というメッセージが出ます。例えば、95.70MHzの放送を聴くときに、数字の1番ボタンを2秒以上長押しすると、1番チャンネルに95.70MHzが登録されます。

チャンネルの登録は6つまで可能です。登録方法は、1番から6番までのボタンの中で登録したいチャンネルの数字ボタンを2秒以上長押しします。すでに登録したチャンネル番号を押した場合には「00番チャンネルはすでに登録されています。上書きしますか？ はい」というメッセージが出ます。こ

ここで、確認ボタンまたはメニューボタンを押すと「00番チャンネル登録完了」というメッセージが出て、受信中の周波数が新たにチャンネル登録されます。確認ボタンまたはメニューボタンではなく、取消ボタンあるいは、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して「いいえ」に移動してから、確認ボタンまたはメニューボタンを押すと、「取消し」というメッセージが出て、チャンネル登録は取消され、放送受信状態に戻ります。

チャンネル登録はメニューを呼び出して登録することもできます。この方法は7.14.3.1節のチャンネル登録をご確認ください。

チャンネルを登録した場合、登録したチャンネル番号の数字ボタンを押すだけで登録されたチャンネルに移動することができます。例えば、97.50MHzが1番チャンネルに登録されている状態で、102.8MHzを聴いている場合、1番ボタンを押すと、「チャンネル1、97.50MHz」というメッセージを出して97.50MHzの放送を流します。

## 7.10 チャンネル検索感度の調節

ラジオ聴取中にチャンネル検索がうまくできない場合、チャンネル検索感度を調節して、より受信しやすように調節することができます。

チャンネル検索感度を調節するためには、数字の7番ボタンを押します。7番ボタンを一回押すと、チャンネル検索感度が1から10の間で1段階ずつ変更されます。基本値は4です。数字が大きくなるとチャンネルの感度が敏感になって、より放送を受信しやすい状態になります。

しかしチャンネル感度を調節しても、スピーカで音を出すと、イヤホンで聞くより検索感度が低下する可能性もあります。

## 7.11 チャンネル削除

登録したチャンネルを削除する方法は次の通りです。

- 1) ラジオ受信中、8番ボタンを押します。
- 2) 「削除するチャンネル番号を入力してください。数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出ます。
- 3) 削除するチャンネル番号を入力して、確認ボタンまたはメニューボタンを押します。
- 4) 「x番チャンネル削除完了」というメッセージが出て、該当するチャンネルを削除します。

チャンネル削除をキャンセルしたい場合には、数字入力段階で取消ボタンを押します。

入力した数字が、登録されていないチャンネルであれば、「x番チャンネルは登録されていないチャンネルです」というメッセージが出てチャンネル削除機能をキャンセルします。

入力許容範囲を外れた数字を入力した場合、例えば、7や10などの数字を入力して確認ボタンを押した場合、**「入力数字が許容範囲を外れました。1から6の間の数字を入力してください。数字ボ**

タンを使って入力してください。」というメッセージが出て、数字入力待機状態になります。

チャンネル削除は、メニューを呼び出して削除することもできます。メニューを使って削除する方法は7.14.3.2節のチャンネル削除をご確認ください。

## 7.12 内蔵スピーカで聴く

ブックセンスのラジオをイヤホンではなく、内蔵スピーカを通して聴くこともできます。

ラジオ受信中、数字の9番ボタンを押すと、「内蔵スピーカで出力、使用」というメッセージが出て、ラジオの音が内蔵スピーカから出力されます。

内蔵スピーカから音を出している間は、イヤホンでは音声が聞けません。内蔵スピーカ出力機能を使用しない場合には、数字の9番ボタンを再び押します。そうすると「内蔵スピーカ出力、使用しません」というメッセージが出て、イヤホンから音が出ます。

内蔵スピーカで音を出している間も、イヤホンはラジオのアンテナの役割を果たしますのでイヤホンを外さないで下さい。イヤホンを外すとラジオ放送が聞こえません。

内蔵スピーカでの出力設定はメニューを利用して設定することもできます。メニューを使って設定する方法は7.14.1節「内蔵スピーカ設定」をご確認ください。

## 7.13 現在の放送情報の確認

現在聴いている放送の情報を確認したいときには数字の0番を押します。そうすると、現在聴いている放送の周波数と、モノラルかステレオかの情報を教えます。モノラルの場合は、モノとアナウンスします。

情報出力後には0番ボタンを押す前の状態に戻ります。メッセージ出力中、メッセージを止めたいときには取消ボタンを押します。

## 7.14 ラジオ放送の録音

現在聴いているラジオ放送を録音します。方法は次の通りです。

- 1) ラジオ聴取中、右面にある録音ボタンを2秒以上長押しします。そうすると、「録音開始」というメッセージが出て、現在受信中の放送を録音します。
- 2) 録音中に録音ボタンをもう一回押すと、「一時停止」というメッセージが出て、録音が一時停止されます。再度録音を再開したい場合には、録音ボタンをもう一回押しします。「録音再開」というメッセージが出て、録音を再開します。
- 3) 録音を終了したい場合には再生ボタンを押します。そうすると、「停止」というメッセージが出て、録音を停止して、録音したデータをファイルとして自動保存します。

録音中でもラジオ放送は続けて聞くことができます。ラジオから録音したファイルは自動で

「RADIO」フォルダに「(周波数)\_年月日\_時分秒.mp3」というファイル名で保存されます。Wave形式で録音した場合には、「(周波数)\_年月日\_時分秒.wav」というファイル名で保存されます。録音ファイルフォーマットの変更は7.14.2節「放送録音設定」をご確認ください。

同じ周波数を複数録音した場合には、周波数の後の数字が1ずつ増加します。

録音をキャンセルしたい場合には、録音中または一時停止中、キャンセルボタンを押します。そうすると、「キャンセル」というメッセージが出て録音が取り消されます。

録音したファイルを聴きたい場合には、モード切替ボタンを押して「メディアプレーヤー」に移動します。そして、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「ラジオ」フォルダまで移動します。右方向ボタン、確認ボタンを押して、ファイルリストを表示します。上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して聴きたいファイルまで移動して、再生ボタンまたは確認ボタンを押して再生します。上方向ボタンまたは下方向ボタンで移動するときに、録音された内容の初めの約5秒を再生してから、録音ファイル名を読み上げます。録音確認が必要ない場合は、9.4 音声録音設定をご確認いただき、設定を変更してください。

## 7.15 ラジオメニューの使い方

ラジオでメニューボタンを押すと、ラジオで使われるメニューが現れます。

メニューには、「内蔵スピーカからの音声出力」、「ラジオ放送録音設定」、「チャンネル管理」、「チャンネル検索感度設定」、「拡張メニュー」、「ヘルプモード」、「共通オプション設定」があります。メニュー項目間の移動は上方向ボタンまたは下方向ボタンを押します。메뉴 「内蔵スピーカからの音声出力」는 이어폰이 연결된 경우에만 메뉴 항목에 표시됩니다.

「拡張メニュー」、「ヘルプモード」と「共通オプション設定」は、どのモードでも現れるメニューです。「ヘルプモード」についての説明は、3章「ヘルプモードの使い方」をご確認ください。「共通オプション設定」は9章「共通オプション設定」をご確認ください。「拡張メニュー」については、10章「ソフトウェアアップグレード」、11章「計算機」をご確認ください。

ここでは、「内蔵スピーカからの音声出力」、「ラジオ放送録音設定」、「チャンネル管理」、「チャンネル検索感度設定」について説明します。

### 7.15.1 内蔵スピーカからの音声出力設定

内蔵スピーカからの音声出力は、メニューを使って設定することもできます。メニューを使って内蔵スピーカへの出力を設定する方法は、次の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。そうすると、「内蔵スピーカからの音声出力ダイアログボックス」というメッセージが出ます。

- 2) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「内蔵スピーカ設定ダイアログボックスです。現在の内蔵スピーカで出力は使用です。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、設定したい値まで移動してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定を保存してください。取り消したい場合には、取消ボタンを押してください」というメッセージが出ます。
- 3) 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して「使用しません」を「使用」に変更してメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると内蔵スピーカからラジオの音が出ます。

再びイヤホンから音を出したい場合には、メニューを呼び出して、設定を「使用しません」に変更して確認ボタンまたはメニューボタンを押します。

### 7.15.2 ラジオ放送録音設定

ラジオ放送を録音するとき、録音ファイルのファイル形式、サンプルレート、録音方式を選択します。これを実行するためには、ラジオ放送録音設定メニューを使用します。ラジオ放送録音設定メニューを使用して録音設定値を変更する方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。そうすると、「内蔵スピーカからの音声出力ダイアログボックス」というメッセージが出ます。
- 2) 下方向ボタンを1回押して「ラジオ放送録音設定ダイアログボックス」に移動します。
- 3) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「チャンネル録音設定ダイアログボックスです。現在の録音フォーマットはmp3です。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定するか、あるいは上方向または下方向ボタンを押して前の項目または次の項目に移動してください」というメッセージが出ます。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して録音ファイルフォーマットをwaveに変更することができます。
- 4) 録音ファイルフォーマットをmp3にして、下方向ボタンを押すと「サンプルレート 16000Hz、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、設定したい値まで移動してください」というメッセージが出ます。ここで左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定するサンプルレートに移動します。選択可能なサンプルレートは16000Hz、22050Hz、24000Hz、32000Hz、44100Hzです。  
もし、録音ファイルフォーマットをwaveフォーマットに設定した場合には、選択可能なサンプルレートは8000Hz、11025Hz、22050Hz、44100Hzです。
- 5) サンプルレートを選択した後、下方向ボタンを押すと、「チャンネル ステレオ 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、設定したい値まで移動してください」というメッセージが出ます。ここで左方向または右方向ボタンを押して「ステレオ」と「モノ」の中でひとつを選択します。ステレオを選択するとステレオに録音され、モノに選択するとモノラルに録音されます。ただし、録音したい放送がモノラルであれば、ステレオを選択して録音しても、録音したファイルを再生し

てみるとステレオの効果は出ません。

- 6) メニューボタンまたは確認ボタンをおしてオプションの設定を保存します。取り消したい場合には、取消ボタンを押します。

設定を適用したい場合には確認ボタンを、適用せずに取り消したい場合には取消ボタンを押します。どちらの場合も受信していたラジオ放送モードに戻ります。

### 7.15.3 メニューを利用したチャンネル管理

チャンネル管理メニューを利用してチャンネルの登録及び削除ができます。

#### 7.15.3.1 メニューを利用したチャンネル登録

メニューを利用したチャンネルの登録方法は下記の通りです。

- 1) 登録したいラジオ放送受信中に、メニューボタンを押してメニューを呼び出します。
- 2) 下方向ボタンを2回押して「チャンネル管理 下位メニューがあります」まで移動します。
- 3) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押すと、「チャンネル登録ダイアログボックス」というメッセージが出ます。
- 4) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「チャンネル登録ダイアログボックス」です。現在登録するチャンネルは、1、(登録された放送の周波数)です。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値に移動してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定するか、あるいは上方向または下方向ボタンを押して前の項目または次の項目に移動してください」というメッセージが出ます。チャンネル番号1に登録された放送がない場合は、「登録チャンネル番号 1 空き」というメッセージが出ます。
- 5) 左方向または右方向ボタンを押して登録したいチャンネル番号まで移動します。移動するときに、既に周波数が登録されているチャンネル番号では、チャンネル番号と登録された放送の周波数をアナウンスします。周波数が登録されていないチャンネルでは「空き」とアナウンスします。
- 6) 登録したいチャンネル番号が出るまで移動して、確認ボタンまたはメニューボタンを押します。そうすると「チャンネル登録完了」というメッセージが出て、受信していたラジオ放送モードに戻ります。
- 7) すでに登録したチャンネル番号で確認ボタンまたはメニューボタンを押すと、「00番チャンネル登録完了」というメッセージが出て、新しい放送の周波数が登録されます。

#### 7.15.3.2 メニューを利用したチャンネル削除

メニューを利用して、既に登録されているチャンネルを削除するためには次のように操作します。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。そうすると、「内蔵スピーカからの音声出力ダイアログボックス」というメッセージが出ます。



- 2) 下方向ボタンを2回押して「チャンネル管理 下位メニューがあります」に移動します。
- 3) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると「チャンネル登録ダイアログボックス」というメッセージが出ます。
- 4) 下方向ボタンを1回押して「チャンネル削除ダイアログボックス」に移動します。そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると「チャンネル削除ダイアログボックス」です。現在の削除するチャンネル番号は、1（登録された放送の周波数） 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定するか、あるいは上方向または下方向ボタンを押して前の項目または次の項目に移動してください」というメッセージが出ます。チャンネル番号1に登録された放送がない場合は、「削除するチャンネル番号1 空き」といいます。
- 5) 左方向または右方向ボタンを押して削除したいチャンネル番号まで移動します。移動するときに、登録された放送がある場合にはチャンネル番号と登録された放送の周波数をアナウンスします。登録された放送がないチャンネルはチャンネル番号と、空きというメッセージがアナウンスされます。
- 6) 削除したいチャンネル番号に移動して確認ボタンまたはメニューボタンを押します。そうすると「チャンネル x 削除完了」と言って、受信していたラジオ放送モードに戻ります。

#### 7.15.4 メニューを利用したチャンネル検索感度設定

メニューを利用したチャンネル検索感度設定は、次の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。そうすると、「内蔵スピーカからの音声出力ダイアログボックス」というメッセージが出ます。
- 2) 下方向ボタンを3回押して、「チャンネル検索感度設定」まで移動します。
- 3) 「チャンネル検索感度設定」で右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンをおします。
- 4) 「チャンネル検索感度設定ダイアログボックス」です。現在の受信感度は4です。 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、設定したい値まで移動してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定を保存してください。取り消したい場合には、取消ボタンを押してください」というメッセージが出ます。
- 5) 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい感度まで移動します。
- 6) メニューボタンまたは確認ボタンを押して設定を完了します。  
もし、チャンネル検索感度の設定を取消したい場合には、取消ボタンを押します。

## 8. 録音

ブックセンスを使って簡単な音声録音、または講義とか会議の録音のような長時間録音をすることができます。

ブックセンスにはマイクが内蔵されていますので、外付けのマイクなしでも録音ができます。しかし、遠距離録音の際には外付けのマイクを使うと、よりよい音質で録音することができます。

録音できる時間は、録音データを保存するメモリーの空き容量によって異なります。内蔵フラッシュメモリーまたはSDカードスロットに挿入したSDカードの空き容量が充分であるとバッテリーが放電されるまで録音することができます。(内蔵メモリーは、ブックセンスXT(モデル番号：T50XT)にのみ内蔵されており、ブックセンス(モデル番号：T50)には内蔵メモリーはありません。)

なお、CDプレーヤー、カセットプレーヤーなどのオーディオ機器、あるいはパソコンのオーディオ出力をブックセンスのマイク入力ジャックに接続すると、オーディオ機器やパソコンから出力される音を録音するラインイン録音もできます。

録音ボタンを2秒以上長押しすると、設定した録音形式でDAISY録音あるいは一般オーディオ形式で録音することができます。録音形式の変更方法は9.4節の「音声録音設定」をご確認ください。DAISY形式で録音すると、録音したファイルは「DAISYプレーヤー」の「RECORD」フォルダに保存されます。

一般形式で録音すると、録音したファイルは「メディアプレーヤー」の「RECORD」フォルダに保存されます。一般録音ではファイルのフォーマットをmp3とwaveのいずれかから選択して録音することができます。基本フォーマットはmp3フォーマットです。録音するフォーマットの変更方法は9.4節の「音声録音設定」をご確認ください。

録音中にバッテリーレベルがレベル1まで下がると、「バッテリーの充電率が低いです。録音を終了します」というメッセージが出て、録音を終了します。このとき、それまでの録音データは保存されます。バッテリーレベル1で録音を開始しようとする、「バッテリー充電率が低いです。録音を始めることが出来ません」というメッセージが出て、録音が出来ません。

### 8.1 一般録音

ブックセンスは、DAISY録音以外に、一般的な方式の録音もできます。ここでは、DAISY録音と区別するために、一般録音と呼びます。一般録音方式では、mp3とwaveフォーマットで録音することができます。基本フォーマットはmp3形式です。録音フォーマットを変更する方法については、9.4節「音声録音設定」をご確認ください。

一般録音をする方法は下記の通りです。

- 1) ラジオモード以外の全てのモード、つまり、メディアプレーヤー、DAISYプレーヤーまたはドキュメントリーダーモードで、録音ボタンを2秒以上長押しします。
- 2) そうすると、「録音開始」というメッセージが出て、録音を開始します。録音を開始すると、再生中のコンテンツは一時停止状態になります。

- 3) 録音を終了したい場合には、再生ボタン、または確認ボタンを押します。そうすると、「停止、録音したファイルを再生しますか? はい」というメッセージが出ます。録音したファイルを聴きたい場合には、ここで再生ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると録音した内容を再生して、再生が終わると、録音機能の実行前の状態に戻ります。
- 4) 「停止、録音したファイルを再生しますか? はい」というアナウンスが出たときに、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して「はい」を「いいえ」に変更して、再生ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押すと、録音した内容を再生せずに、録音前の状態に戻ります。

録音中一時停止をしたい場合には、録音ボタンをもう一回押します。そうすると、「一時停止」というメッセージが出て、録音一時停止状態になります。続けて録音したい場合には、録音ボタンをもう一回押します。そうすると、「録音再開」というメッセージが出て、録音を再開します。

録音したファイルは自動で「メディアプレーヤー」の「RECORD」フォルダに「年月日\_時分秒.Mp3」などというファイル名で保存されます。複数のファイルを録音するとファイル名に数字が1ずつ増加します。Waveフォーマットで録音した場合には、「年月日\_時分秒.wav」のように保存されます。ただし、ファイルリストではこのファイル名は、数字のみが読上げられます。

録音を中止し録音データを取消したい場合には、録音中または一時停止中、取消ボタンを押すと「録音を取り消しますか。録音を取り消したい場合は確認ボタンを、続けて録音したい場合は取り消しボタンを押してください。」というメッセージが出て、録音データの取り消しを確認があります。録音データを取消す場合は、確認ボタンを押してください。録音データを取消せずに続けて録音したい場合は、取り消しボタンを押してください。

録音したファイルを聴きたい場合には、プログラムモード切替ボタンを押して、「メディアプレーヤー」に移動します。そして、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「RECORD」フォルダに移動します。右方向ボタンを押して、「RECORD」フォルダに入ります。そうすると、ブックセンスは、録音したファイルの最初5秒を再生して、録音したファイル名を読み上げます。ここで上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して聴きたいファイルまで移動して再生ボタンまたは確認ボタンを押して録音したファイルを聴きます。

もし、ラインインを使って音楽などをブックセンスに録音した後で、音声などを一般録音する場合には、9.4節の「音声録音設定」で説明する「録音モード」を「マイク」に変更する必要があります。

### 8.1.1 一般録音中のしおり挿入

一般録音中に、任意の位置にしおりを挿入することができます。講義などを録音中、重要な部分でしおりを挿入しておくとし、再生して聞くときに、重要な部分を簡単に探して聴くことができます。

録音中にしおりを挿入するためには、しおりを挿入したい位置で数字の1番ボタンを押します。そうすると、自動でしおりが挿入されます。しおり挿入時には何もメッセージは出ません。

しおりは20個まで挿入できます。数字の1番ボタンを押すごとに、1番から20番まで1ずつ増加して自動挿入されます。

しおりを挿入したファイルは、メディアプレーヤーを利用して再生するとき、数字の2番ボタンを押して、任意のしおりに移動したり、数字の3番ボタンを押して、任意のしおりを削除したりすることができます。

## 8.2 DAISY方式に録音

DAISY形式で録音する方法は次の通りです。

- 1) ラジオモード以外のすべてのモード、つまり、メディアプレーヤー、DAISYプレーヤーまたはドキュメントリーダーモードで、録音ボタンを2秒以上長押しすると、DAISY方式で音声を録音することができます。
- 2) 「タイトル録音開始」というメッセージが出て録音を開始します。録音開始と共に、再生中のコンテンツは一時停止されます。タイトル録音開始というメッセージが出て、10秒間はファイルのタイトルになる内容が録音されます。10秒以内でDAISYファイルのタイトルを録音してください。録音を開始してから10秒後には、「見出し2 録音開始」というメッセージが出て、録音を続けます。

10秒以内にタイトル録音を終了し、録音を続けたい場合には、数字の2番ボタンを押します。「見出し2 録音開始」というメッセージが出て、タイトル録音が終了し、通常の録音が継続されます。DAISY録音中には、見だし、しおり、フレーズの挿入ができます。挿入方法については8.1.1から8.1.3節をご確認ください。

- 3) 録音を終了したい場合には、確認ボタンを押します。そうすると、「ビルド中」というメッセージが出ます。DAISYファイル製作を完了すると「ビルド終了」というメッセージが出て、DAISY録音実行前の状態に戻ります。

DAISY録音中に一時停止したい場合には、録音ボタンをもう一回押してください。そうすると、一時停止状態になって、「一時停止」というメッセージが出ます。再び録音を続けたい場合には、録音ボタンをもう一回押します。そうすると、「録音再開」というメッセージが出て録音を再開します。

録音を中止し録音データを取消したい場合には、録音中または一時停止中、取消ボタンを押すと「録音を取り消しますか。録音を取り消したい場合は確認ボタンを、続けて録音したい場合は取り消しボタンを押してください。」というメッセージが出て、録音データの取り消しを確認があります。録音データを取り消す場合は、確認ボタンを押してください。録音データを取り消さずに続けて録音したい場合は、取り消しボタンを押してください。

録音したファイルは、「DAISY」フォルダ内の「RECORD」フォルダに「Title 001」ファイルとして保存さ

れます。ファイル名にある数字は、録音ファイルが増加するときに1つずつ増加します。このファイルを聴くためには、モード切替ボタンを押して、モードを「DAISYプレーヤー」に変更し、ファイルリストを呼び出して、下方向ボタンを押して「RECORD」フォルダまで移動します。「RECORD」フォルダで右ボタンを押してフォルダ内のファイルリストを呼び出します。再生したいファイルまで移動して、再生ボタンを押すか、確認ボタンを押します。このときに、各ファイルでは、「Title001」、「Title002」のフォルダ名を読み上げずに、他のDAISYコンテンツのように、タイトルを読み上げます。タイトルは「タイトル録音開始」というメッセージが出てから10秒間録音した内容です。検索をしやすくするためには、DAISYファイルで音声を録音する際に、最初の10秒のタイトル録音の際に、分かりやすいタイトル名を録音してください。

なお、DAISY録音すると、録音するときにしおりと見出し、フレーズの挿入ができます。ここでは、しおり、見出し、フレーズの挿入の詳細について説明します。

### 8.2.1 DAISY録音中のしおり挿入

DAISY録音すると、録音するときにしおりの挿入ができます。録音中にしおりを挿入するとファイルを再び聴くときに重要な部分を簡単に探すことができます。

DAISY録音中、しおりを挿入したい場合には数字の1番ボタンを押します。しおり挿入時には、しおりの追加を知らせる「しおり1挿入完了」というメッセージが出て、しおりが追加されます。ただし、しおり追加メッセージはイヤホンが接続されている場合にのみ出力されます。メッセージの出力設定については、9.4節 音声録音設定を確認ください。

一つの録音中に挿入できるしおりの総数は20個までです。

録音時にしおりを挿入しておく、録音ファイルをDAISYプレーヤープログラムで聴く際にも、しおりへの移動、しおりの削除ができます。

### 8.2.2 DAISY録音中の見出し挿入

DAISY録音中、見出しを挿入することができます。上記で説明したように、DAISY録音される瞬間、自動で、「見出し1」が挿入されて、その後10秒間ほかの見出しを挿入しないと10秒経過した時点で、「見出し2」が自動的に挿入されます。10秒以前に数字の8番ボタンを押して新しい見出しを挿入することができます。

見出しを挿入すると「見だし00開始」というメッセージが出ます。録音はそのまま継続されます。数字の8番ボタンを押すごとに、番号が1つずつ増加しながら見出しが記録されます。見出しの数には制限がありません。

見出しを挿入したファイルは、DAISYプレーヤーモードで再生する際に、上方向ボタンまたは下方

向ボタンを押して移動単位を見出しに変更して、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して移動することができます。また、数字の8番ボタンを押して、数字ボタンを使って移動したい見出し番号を入力し、移動する方法があります。

### 8.2.3 DAISY録音中のフレーズの挿入

ブックセンスでは、DAISY録音中にフレーズの挿入ができます。ブックセンスで音声をDAISY録音する場合、このフレーズを5つ合わせて1つの段落として構成します。

録音中にフレーズを挿入したい場合には、数字の3番ボタンを押します。「フレーズ録音開始」というメッセージが出た後、フレーズ録音が始まります。ただし、このメッセージは、イヤホンを接続した場合にのみ出力されます。メッセージの出力設定については、9.4節 音声録音設定を確認ください。フレーズの数には制限がありません。

フレーズ挿入しながら録音したDAISYファイルを、DAISYプレーヤーで再生する際には、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して移動単位を「フレーズ」に設定して、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押すと、フレーズ単位で前の方向または後ろの方向に移動できます。また、移動単位を「段落」に設定すると、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押すことで、フレーズ5つ単位で前の方向または後の方向に移動します。

## 8.3 オーディオ機器からの録音

CDプレーヤー、カセットプレーヤー、パソコンなどのオーディオ機器から出力される音を録音するためには、市販されているラインインケーブルをオーディオ機器のイヤホンジャックとブックセンスのマイクジャックの間に接続して、「録音モード」を「ラインイン」に設定して録音します。詳しい手順は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。
- 2) 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「共通オプション設定 下位メニューがあります」に移動します。ボタンを押す回数は、どのような状況でメニューボタンを押すかによって異なります。
- 3) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アラーム設定、下位メニューがあります」というメッセージが出ます。
- 4) ここで下方向ボタンを3回押して「音声録音設定ダイアログボックス」まで移動します。  
「音声録音設定 ダイアログボックス」というメッセージが出たときに、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「音声録音設定ダイアログボックスです。現在の録音形式はDAISY方式に録音です。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定するか、あるいは上方向または下方向ボタンを押して前の項目または次の項目に移動してください」というメッセージが出ます。
- 5) ここで下方向ボタンを2回押して「録音モード マイク 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押

して設定したい値まで移動してください」に移動します。

- 6) ここで左方向または右方向ボタンを押して「ラインイン」に変更して確認ボタンまたはメニューボタンを押します。そうすると、ダイアログボックスを閉じて、メニュー呼び出し直前の状態に戻ります。
- 7) DAISY方式で録音したファイルは、「DAISY」フォルダ内に保存され、DAISYプレーヤーモードの「RECORD」フォルダ内で、ファイルを確認できます。一般方式で録音されたファイルは、「RECORD」フォルダ内に保存されメディアプレーヤーの「RECORD」フォルダ内で、ファイルを確認できます。

録音モードをラインインに変更した後、DAISYファイルに録音するためには、8.1節の「DAISY方式に録音」をご確認いただき、実行してください。一般録音をしたい場合には8.2節の「一般録音」で説明した手順で録音してください。

音声録音設定ダイアログボックスには、他の設定項目がありますが、これらについては9.4節「音声録音設定」をご確認ください。

## 8.4 録音時間について

ブックセンスでは、録音方式や録音フォーマット、サンプルレート、録音するメディア（保存装置）の容量などにより、録音できる時間が異なります。各方式、フォーマット、メディア（保存装置）での録音時間は下記の通りです。

ブックセンス T50XTのフラッシュメモリーについては、4GBのメモリーを使用していますが、TTSなどへのメモリー容量使用により、4GBのSDカードより録音可能時間が短くなります。

MP3 16000ヘルツ モノラル

メディア容量 1GB 3000分、メディア容量 2GB 6000分、メディア容量 4GB 12000分、メディア容量 8GB 24000分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 11232分

MP3 16000ヘルツ ステレオ

メディア容量 1GB 2280分、メディア容量 2GB 4560分、メディア容量 4GB 9120分、メディア容量 8GB 18240分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 8536分

MP3 22050ヘルツ モノラル

メディア容量 1GB 2180分、メディア容量 2GB 4360分、メディア容量 4GB 8720分、メディア容量 8GB 17440分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 8161分

MP3 22050ヘルツ ステレオ

メディア容量 1GB 1800分、メディア容量 2GB 3600分、メディア容量 4GB 7200分、メディア容量 8GB 14400分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 6739分

MP3 24000ヘルツ モノラル

メディア容量 1GB 1800分、メディア容量 2GB 3600分、メディア容量 4GB 7200分、メディア容量 8GB 14400分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 6739分

MP3 24000ヘルツ ステレオ  
メディア容量 1GB 1470分、メディア容量 2GB 2940分、メディア容量 4GB 5880分、メディア容量 8GB 11760分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 5503分

MP3 32000ヘルツ モノラル  
メディア容量 1GB 1500分、メディア容量 2GB 3000分、メディア容量 4GB 6000分、メディア容量 8GB 12000分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 5616分

MP3 32000ヘルツ ステレオ  
メディア容量 1GB 1240分、メディア容量 2GB 2480分、メディア容量 4GB 4960分、メディア容量 8GB 9920分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 4642分

MP3 44100ヘルツ モノラル  
メディア容量 1GB 1290分、メディア容量 2GB 2580分、メディア容量 4GB 5160分、メディア容量 8GB 10320分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 4829分

MP3 44100ヘルツ ステレオ  
メディア容量 1GB 910分、メディア容量 2GB 1820分、メディア容量 4GB 3640分、メディア容量 8GB 7280分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 3407分

WAV 8000ヘルツ モノラル  
メディア容量 1GB 1100分、メディア容量 2GB 2200分、メディア容量 4GB 4400分、メディア容量 8GB 8800分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 4118分

WAV 8000ヘルツ ステレオ  
メディア容量 1GB 550分、メディア容量 2GB 1100分、メディア容量 4GB 2200分、メディア容量 8GB 4400分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 2059分

WAV 11025ヘルツ モノラル  
メディア容量 1GB 800分、メディア容量 2GB 1600分、メディア容量 4GB 3200分、メディア容量 8GB 6400分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 2995分

WAV 11025ヘルツ ステレオ  
メディア容量 1GB 400分、メディア容量 2GB 800分、メディア容量 4GB 1600分、メディア容量 8GB 3200分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 1497分

WAV 22050ヘルツ モノラル  
メディア容量 1GB 400分、メディア容量 2GB 800分、メディア容量 4GB 1600分、メディア容量 8GB 3200分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 1497分

WAV 22050ヘルツ ステレオ  
メディア容量 1GB 200分、メディア容量 2GB 400分、メディア容量 4GB 800分、メディア容量 8GB 1600分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 748分

WAV 44100ヘルツ モノラル  
メディア容量 1GB 200分、メディア容量 2GB 400分、メディア容量 4GB 800分、メディア容量 8GB 1600分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 748分

WAV 44100ヘルツ ステレオ  
メディア容量 1GB 100分、メディア容量 2GB 200分、メディア容量 4GB 400分、メディア容量 8GB 800分、ブックセンス T50XT フラッシュメモリー 374分



## 9. 共通オプション設定

共通オプションというのは、ブックセンスのすべてのプログラムで適用されるTTS速度、ピッチ、(ピッチとは音の高さのことです)、ボリューム、日付と時間の設定、アラーム設定などを設定する機能です。

共通オプション設定メニューは、ブックセンスのどのモードを使うときにも設定することができます。

共通オプション設定には、「アラーム設定」、「日時設定」、「TTS設定」、「音声録音設定」、「システム情報確認」、「ブルートゥース設定」、「おやすみタイマー設定」、「節電モード設定」、「しおり通知設定」、「保存装置フォーマット」、「基本保存装置設定」などのメニュー項目があります。

### 9.1 アラーム設定

アラーム設定メニューでは、「アラーム時間確認」、「アラーム時間設定」、「アラーム削除」などの3つの下位メニューがあります。アラームが設定されていない場合は、下位メニューには「アラーム設定」のみが表示されます。

#### 9.1.1 設定したアラームの確認

アラームが設定された場合、設定したアラームを確認することができます。確認する方法は次の通りです。アラームが設定されていない場合には、このメニューは現れません。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出し、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「共通オプション設定、下位メニューがあります」まで移動します。
- 2) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アラーム設定、下位メニューがあります」というメッセージが出ます。
- 3) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると「アラーム時間確認、ダイアログボックス」というメッセージが出ます。
- 4) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アラーム時間確認ダイアログボックスです。設定されたアラーム時刻はxx時yy分です。1回(アラームの間隔)ダイアログボックスを終了したい場合には、確認ボタンまたは取消ボタンを押してください。」というメッセージが出ます。
- 5) 左方向または右方向ボタンを押すと、一文字ずつ確認しながら読むことができます。

設定されたアラーム時間を確認してから、確認ボタンまたは取消ボタンを押すと、「閉じる」というメッセージが出て、ダイアログボックスを閉じて、メニューを呼び出す前の状態に戻ります。

#### 9.1.2 アラーム時間の設定

設定したアラームがない場合、またはすでに設定したアラームを変更したい場合にこの機能を使い

ます。アラーム設定前に、まず、ブックセンスの日付と時間が設定されているかを確認してください。日付と時間が設定されていない場合には、9.2.2節の「日時設定」をご確認いただき、日時設定を行ってください。

アラームの設定方法は次の手順の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出し、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「共通オプション、下位メニューがあります」まで移動します。
- 2) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アラーム設定、下位メニューがあります」というメッセージが出ます。
- 3) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると「アラーム時間確認ダイアログボックス」というメッセージが出ます。  
予めアラームが設定されていない場合は、「アラーム時間設定ダイアログボックス」というメッセージが出ます。この場合は、右ボタンを押して、アラーム時間設定のダイアログボックスに移動してください。  
「アラーム時間確認ダイアログボックス」というメッセージが出た場合は、下方向ボタンを1回押して、「アラーム時間設定ダイアログボックス」に移動します。
- 4) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アラーム時間設定ダイアログボックス。午前/午後選択 午後 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」というメッセージが出ます。ここで左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して午前か午後を選択してください。
- 5) そして、下方向ボタンを押します。そうすると、「数字ボタンで時間を入力してください。（現在の設定時間）数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出ます。ここで、（現在の時間）は、アラームを最初に登録する場合には、現在の時間の時間の部分を、すでにアラームが登録されている場合には、設定されている時刻の時間の部分を読み上げます。ここで数字ボタンを使って時間を入力してください。時間を入力するときに9.2.2節の「日時設定」で時間モードを12時間に選択したときには1から12までの数字を、24時間制に設定した場合には0から23までの数字を入力してください。  
入力範囲を超えた数字を入力した場合は、時間モードに沿って再度入力をしなおすようにメッセージが出ます。
- 6) 時間入力後、下方向ボタンを押します。そうすると、「数字ボタンで分を入力してください（現在の分）数字ボタンを使って入力してください。」というメッセージが出ます。アラームを最初に登録する場合には、現在時間の分の部分を、すでにアラームが登録されている場合には、すでに設定されている時刻の分の部分を読み上げます。ここで数字ボタンを利用して分を入力してください。
- 7) 分入力後、下方向ボタンを押します。そうすると、「アラームベル（メロディー番号） 左方向

ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値に移動してください」が出ます。ここで左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、アラームベルを選択します。聴きたいベルの音がするときボタンを押すと、アラームベルは止まります。

- 8) アラームベル選択後、下方向ボタンを押します。そうすると、「アラーム間隔 一回 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」というメッセージが出ます。左方向または右方向ボタンを押してアラームが鳴る間隔を選択します。設定できる値は、「一回」、「月曜日から金曜日まで」、「月曜日から土曜日まで」、「週末」、「毎日」の中で選択することができます。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押すごとに変更されますので、設定したい値まで移動してください。
- 9) アラーム間隔選択後、下方向ボタンを押します。そうすると、「アラームが鳴る時間 5分 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」というメッセージが出ます。ここで左方向または右方向ボタンを押して1から10分までの間の値を選択します。左方向または右方向ボタンを押すごとに値が変更されますので、設定したい値まで移動します。
- 10) アラームが鳴る時間選択後、下方向ボタンを押します。そうすると、「アラームボリューム ボリューム 16、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、設定したい値まで移動してください」というメッセージが出ます。ここで左方向または右方向ボタンを押して、1から21までの値を選択します。左方向または右方向ボタンを押すごとに値が変更されますので、設定したい値まで移動します。
- 11) 確認ボタンを押すと、設定した内容を保存して、メニューを呼び出す前の状態に戻ります。

アラームの設定をキャンセルしたい場合には、確認ボタンを押さずに、キャンセルボタンを押します。

いずれの数字入力の場合でも、数字を誤って入力した場合には、キャンセルボタンを押して一文字ずつ消すことができます。

設定したアラームはブックセンスが電源オフの状態でも、設定した時間になると鳴ります。そして、アラームが鳴ると、キャンセルボタンまたは確認ボタンを押してアラームを止めることができます。ボタンが押されない場合でも、予め設定した時間まで鳴り続けると自動的に止まります。

アラーム設定時、アラーム周期を「一回」に設定した場合、アラームが鳴ってからアラーム時間は削除されます。

### 9.1.3 アラーム削除

設定したアラームを削除する方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。そして、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「共通オプション設定、下位メニューがあります」まで移動します。
- 2) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アラーム設定、下位メニューがあります」というメッセージが出ます。
- 3) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると「アラーム時間確

「日時確認ダイアログボックス」というメッセージが出ます。

- 4) 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「アラーム削除」まで移動します。そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。

そうすると「アラーム削除完了しました」というメッセージが出て、メニューを呼び出す前の状態に戻ります。

アラーム削除を取消す場合には、最後の確認ボタンを押すまでに、取消ボタンを押すと「取消し」というメッセージが出て、メニュー実行前の状態に戻ります。

## 9.2 日時設定

ブックセンスを購入して、最初にお使いになる前に、ブックセンスの日付と時間を設定してください。

### 9.2.1 日付と時間の確認

現在の日付と時間を「時計ボタン」を押して確認する方法もありますが、メニューを使って確認することもできます。メニューを使って確認する方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。そして、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「共通オプション設定、下位メニューがあります」まで移動します。
- 2) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アラーム設定、下位メニューがあります」というメッセージが出ます。
- 3) 下方向ボタンを1回押して、「日時設定、下位メニューがあります」まで移動します。そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「日時確認ダイアログボックス」が出ます。
- 4) ここで右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると「日時確認ダイアログボックスです。 0000年00月00日、0曜日、ダイアログボックスを終了したい場合には、確認ボタンまたは取消ボタンを押してください。」というメッセージが出ます。
- 5) 日付を確認して、下方向ボタンを押すと、「00時00分」を読み上げます。ここで、9.2.2節の日時設定で時間モードを12時間モードに設定した場合には「午前(または午後)00時00分」の形式で読み上げます。
- 6) 日時確認後、取り消しボタンまたは確認ボタンを押すと、「閉じる」というメッセージが出て、ダイアログボックスを閉じてメニュー呼び出しの直前の状態に戻ります。

日時確認ダイアログボックス内で、左または右方向ボタンを押すと、一文字ずつ移動しながら内容を確認することもできます。

- 7) 日時確認の際の出力項目は、時間のみ、日付のみ、日時の3通りで設定が可能です。設定方法は以下の通りです。

まず、メニューを開き

## 9.2.2 日時確認の出力項目の設定

日時確認の際の出力項目は、時間のみ、日付のみ、日時の3通りに設定可能です。設定方法は以下の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。そして、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、「共通オプション設定、下位メニューがあります」まで移動します。
- 2) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アラーム設定、下位メニューがあります」というメッセージが出ます。
- 3) 下方向ボタンを1回押して、「日時設定、下位メニューがあります」まで移動します。そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「日時確認ダイアログボックス」が出ます。
- 4) 下方向ボタンを1回押して、「日時設定通知ダイアログボックス」まで移動します。そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「日時設定通知ダイアログボックスです。日時出力、日時。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、設定したい値まで移動してください。」というメッセージが出ます。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押すと、時間、日付、日時の3項目から選択できます。最後に決定ボタンを押すと、設定完了です。

## 9.2.3 日付と時間の設定

日付と時間を設定する方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。そして、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「共通オプション設定、下位メニューがあります」まで移動します。
- 2) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アラーム設定、下位メニューがあります」というメッセージが出ます。
- 3) 下方向ボタンを1回押して「日時設定、下位メニューがあります」まで移動します。そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると「日時確認ダイアログボックス」というメッセージが出ます。
- 4) ここで下方向ボタンを2回押して、「日時設定ダイアログボックス」に移動します。そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「日時設定ダイアログボックス 数字ボタンで年度を4桁で入力してください。(現在の年) 数字ボタンを使って入力してください。」とメッセージが出ます。ここで、年度を4桁の数字で入力してください。日時設定を始めて実行する場合、「現在の年」は製品出荷時に設定された年を、すでに設定した日付がある場合には、その年を教えます。
- 5) 年を入力した後、下方向ボタンを押します。そうすると、「数字ボタンで月を入力してください。(現在の月) 数字ボタンを使って入力してください。」とメッセージが出ます。ここで2桁の数字を入力してください。現在の月が1桁の場合は、1桁だけを入力してください。例えば、今が1月

であれば、数字ボタンで1のみを入力します。

- 6) 月を入力した後、下方向ボタンを押します。そうすると、「数字ボタンで日を入力してください。（現在の日）数字ボタンを使って入力してください。」とメッセージが出ます。ここに2桁の数字を入力します。もし、現在の日が1桁の場合は、1桁だけを入力してください。例えば、今が1日であれば、数字ボタンで1のみを入力します。
- 7) そして下方向ボタンを押します。そうすると、「時間モードを選択してください。12時間モード 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」とメッセージが出ます。ここで左または右方向ボタンを押して時間モードを12時間または24時間モードのいずれにするかを選択します。どの時間モードを選択するかによって入力及び出力方式が変更されます。
- 8) そして、下方向ボタンを押します。もし時間モードを12時間モードに選択した場合には、「午前/午後 選択 午前 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」というメッセージが出ます。ここで左または右方向ボタンを押して午前あるいは午後を選択します。時間モードを24時間モードに選択すると、この選択は現れません。
- 9) 午前、午後を設定した後、下方向ボタンを押します。そうすると「数字ボタンで時間を入力してください。（現在時間）数字ボタンを使って入力してください。」とメッセージが出ます。時間モードを12時間モードに選択した場合には、1から12の間の数字を入力、24時間モードを選択した場合には0から23までの数字を入力します。現在の時間が1桁の場合は、1桁の数字を入力してください。例えば現在が「7時」の場合には、「7」を入力してください。
- 10) 下方向ボタンを押します。そうすると「数字ボタンで分を入力してください。（現在の分）数字ボタンを使って入力してください。」とメッセージが出ます。ここで分を2桁で入力してください。もし、現在の分が1桁の場合は、1桁のみを入力してください。例えば、現在の分が7分の場合には、「7」のみを入力します。
- 11) 確認ボタンを押すと「設定完了」というメッセージが出て、日付と時間が設定されます。そして、ダイアログボックスは閉じて、メニューを呼び出す直前の状態に戻ります。日付設定を取り消したい場合には確認ボタンを押さずに、取消ボタンを押します。  
いずれの数字入力の段階でも、入力を誤った場合は取消ボタンを押して消すことができます。

### 9.3 TTS・ガイド音声設定

TTSとは、合成音声のことです。TTSのボリューム、音声速度、音声ピッチ、（ピッチとは音の高さのことです。）及び英語補助音声の使用を設定することができます。

TTSのボリューム、音声速度、音声ピッチを変更すると、メニューまたはファイル名を読むとき、ドキュメントリーダーで文書を読むとき、DAISYプレーヤーでテキストファイルを再生するときのボリューム、速度、ピッチが変わります。

英語補助音声を変更すると、ドキュメントリーダーで文書を読むときに、あるいはDAISYプレーヤ

ーでテキストDAISYを再生するとき、アルファベット部分には、英語TTSが適用されます。

TTS・ガイド音声設定ダイアログボックスの使用方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。そして、上方向ボタンを1回押して、「共通オプション設定、下位メニューがあります」に移動します。
- 2) そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。すると、「アラーム設定、下位メニューがあります」というメッセージが出ます。
- 3) 下方向ボタンを2回押して「TTS・ガイド音声設定ダイアログボックス」に移動します。ここで右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「TT・ガイド音声設定ダイアログボックスです。現在のボリュームは16です。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、設定したい値に移動してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定するか、あるいは上方向または下方向ボタンを押して前の項目または次の項目まで移動してください」とメッセージが出ます。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して1から21までの間で、設定したい値まで移動します。
- 4) ボリューム設定後、下方向ボタンを押します。そうすると「音声速度 4 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」とメッセージが出ます。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して1から21までの数字の中で設定したい数字まで移動します。
- 5) 速度設定後、下方向ボタンを押します。そうすると「音声ピッチ 8 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」とメッセージが出ます。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して1から21までの間の数字の中で設定したい数字まで移動します。
- 6) 速度設定後下方向ボタンを押します。そうすると、「英語補助音声 使用しません。 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」とメッセージが出ます。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して「使用しない」と「使用」の中で設定したい値に移動します。
- 7) 確認ボタンを押すと、設定した値に変更されて、「オプション保存完了」というメッセージが出て、ダイアログボックスが閉じます。そしてメニューを呼び出す直前の状態に戻ります。変更した値を適用せず取消したい場合には、取消ボタンを押します。

「英語補助音声」を「使用」に変更すると、ドキュメントリーダーで文書を読むとき、またはDAISYプレーヤーでテキストDAISYコンテンツを読むときに、日本語は日本語TTSで、英語は英語TTSで読み上げます。他のプログラムモードまたはファイルリスト、メニューは、英語補助音声を使用しても、日本語のTTSで読み上げます。

## 9.4 音声録音設定

ブックセンスで音声を録音する際には、事前に、録音フォーマット、録音モード、サンプルレートなどの変更ができます。音声録音設定の使用方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。上方向ボタンを1回押して、「共通オプション設定、下位メニューがあります」まで移動します。

- 2) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると「アラーム設定、下位メニューがあります」とメッセージが出ます。
- 3) 下方向ボタンを3回押して「音声録音設定 ダイアログボックス」まで移動します。そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「音声録音設定ダイアログボックスです。現在の録音形式は一般録音です。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定するか、あるいは上方向または下方向ボタンを押して前の項目または次の項目に移動してください」というメッセージが出ます。ここで左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して録音形式をデジタイズ方式で録音に変更することができます。
- 4) 録音形式を選択した後、下方向ボタンを押します。そうすると「録音フォーマット mp3, 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」というメッセージが出ます。左方向または右方向ボタンを押して「mp3」と「wave」の中で選択します。
- 5) 録音フォーマットを選択した後、下方向ボタンを押します。そうすると「録音モード マイク、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」というメッセージが出ます。左方向または右方向ボタンを押して「マイク」と「ラインイン」の中で選択します。
- 6) 録音フォーマット選択後、下方向ボタンを押します。録音フォーマットをmp3に設定して、下方向ボタンを押すと「サンプルレート 16000Hz 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」とメッセージが出ます。ここで左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したいサンプルレート値に移動します。選択できる値は16000Hz、22050Hz、24000Hz、32000Hz、44100Hzです。

録音フォーマットをwaveに設定して下方向ボタンを押すと、「サンプルレート8000Hz、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」とメッセージが出ます。左方向または右方向ボタンを押してサンプルレートを選択します。選択できるサンプルレートは8000Hz、11025Hz、22050Hz、44100Hzです。

サンプルレートを高くすると音質は良くなりますが、録音したデータの大きさが大きくなりますので、録音できる時間が短くなります。

- 7) サンプルレートを選択した後、下方向ボタンを押すと「チャンネル ステレオ 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」というメッセージが出ます。ここで左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して「ステレオ」と「モノ」の中で設定したい項目を選択します。
- 8) チャンネル選択後、下方向ボタンを押すと、「マイク感度 1 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」が現れます。ここで左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して1から4までの間の値を選択します。数字が大きくなるとマイクの感度が敏感になって、小さい音まで録音することができます。しかし、マイクの感度を高くすると、雑音が入り込む可能性も高くなりますのでご注意ください。



- 9) マイク感度を設定後、下方向ボタンを押すと、「録音確認 オン。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」というメッセージが出ます。オンあるいはオフを選択してください。
- 10) 録音確認を設定後、下方向ボタンを押すと、「録音警告設定、メッセージ。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」というメッセージが出ます。選択できるオプションは、「メッセージ」、「ビープ」、「オフ」です。初期設定は「メッセージ」です。録音開始、一時停止、録音完了などの状態情報をメッセージにするか、ビープ音にするか、確認しないかを選択するオプションです。このオプションは、一般録音のみではなくて、「DAISY方式で録音」のときにも有効です。
- 11) 設定したい値を全部選択して、選択したことを確定するためには確認ボタンを押します。もし選択した設定を適用せずに取り消したい場合には、取消ボタンを押します。いずれの場合もメニューを呼び出す前の状態に戻ります。

## 9.5 システム情報確認

ブックセンスのシステム情報、即ち、バッテリーの充電状態、メモリーの容量を確認することができます。システム情報の確認方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。そして、上方向ボタンを1回押して「共通オプション設定、下位メニューがあります」まで移動します。
- 2) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると「アラーム設定、下位メニューがあります」というメッセージが出ます。
- 3) 下方向ボタンを4回押して「システム情報確認ダイアログボックス」に移動します。そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると「システム情報確認ダイアログボックスです。現在のバッテリーの充電率段階 x 前の項目、または次の項目の情報を確認したい場合には、上方向または下方向ボタンを押してください。ダイアログボックスを終了したい場合には、確認ボタンまたは取消ボタンを押してください」というメッセージが出ます。充電中にこのメニューを実行した場合には、充電率段階を知らせずに、「充電中、AC電源使用」というメッセージが出ます。
- 4) 充電率確認後、下方向ボタンを押すと「SD残り空間 00ギガバイト、全体空間 00ギガバイト」というメッセージが出ます。ブックセンスT50XTの場合は、「フラッシュメモリー残り空間 00ギガバイト、全体容量 00ギガバイト」というメッセージが出ます。ブックセンスXT本体にSDカードが挿入されている場合は、さらに下方向ボタンを押すと、「SD残り空間 00ギガバイト、全体空間 00ギガバイト」というメッセージが出ます。  
ブックセンス本体にUSBメモリーを接続している場合には、さらに下方向ボタンを押すことで、「USBメモリー残り空間 00ギガバイト、全体空間 00ギガバイト」というメッセージが出ます。
- 5) メモリーの余裕空間の確認後、下方向ボタンを押すと「ファームウェアバージョン (バージョン

ン番号)、ビルドデート (更新日)」というメッセージが出ます。

- 6) 情報確認後、取消ボタンまたは確認ボタンを押すと、「閉じる」とメッセージが出て、ダイアログボックスが閉じ、メニュー呼び出し直前の状態に戻ります。

## 9.6 Bluetooth(ブルートゥース)設定

(BluetoothはブックセンスXT(モデル番号:T50XT)でのみ対応しています。ブックセンス(モデル番号:T50)はBluetoothに対応していません。)

ブックセンスではBluetoothヘッドセットを接続して使用することができます。そして、パソコンからFTPでファイルを転送することもできます。ブックセンスからパソコンにファイルを転送することはできません。(FTPとは、ファイルトランスファープロトコルの略で、ファイル転送規定のことです。) ブルートゥースを利用する場合、ヘッドセットなどの機器が、ブルートゥース2.0以上に対応しており、かつ、A2DPプロファイルに対応している必要があります。AVRCPには対応していませんので、ブルートゥース対応機器にリモコンが付いていても、そのリモコンでは操作ができません。

### 9.6.1 Bluetoothヘッドセットの接続

Bluetoothヘッドセットを使用する方法は次の通りです。

ラジオモード以外で、数字ボタンの6番ボランを2秒以上長押しすると、Bluetoothをオンにすることが出来ます。この際、ブックセンスはBluetoothヘッドセットに接続しようとします。Bluetoothヘッドセットとブックセンスが既にペアリングされている場合には、「接続中。少々お待ちしてください」というメッセージが出ます。Bluetoothヘッドセットとの接続が成功すると、ブックセンスの音をBluetoothヘッドセットを通して聞くことが出来ます。

30秒間接続中の状態が続くと、「接続できる機器が見つかりませんでした。」というアナウンスが出て、ブルートゥース接続直前の状態に戻ります。

2つ以上のBluetoothヘッドセットがブックセンスとペアリングされた場合には、ブックセンスは、ペアリングされているBluetoothヘッドセットのリストを示します。以前Bluetoothヘッドセットとペアリングしたことがあった場合に、もし近くにそのBluetoothヘッドセットがあり、Bluetoothヘッドセットの電源が入っている場合には、自動でブックセンスに接続されます。

Bluetooth接続設定は、メニューからでも設定できます。詳しい設定方法は次の通りです。

- 1) 使用したいヘッドセットの電源をオンにして、ペアリングモードをオンにします。これは、使用されるヘッドセットのマニュアルをご確認ください。
- 2) ブックセンスのメニューボタンを押してメニューを呼び出します。そして、上方向ボタンまたは下方向ボタンをおして「共通オプション設定 下位メニューがあります」まで移動します。
- 3) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると「アラーム設定、下位メニューがあります」というメッセージが出ます。
- 4) 下方向ボタンを5回押して「Bluetooth設定、下位メニューがあります」に移動します。そして、

右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。

- 5) 「Bluetoothはオフです。Bluetoothをオンにするためには確認ボタンまたはメニューボタンを押してください」というメッセージが出ます。ここで確認ボタンまたはメニューボタンを押します。
- 6) 「ブルートゥースオン」というメッセージが出て、メニューを閉じて、メニューを呼び出す直前の状態に戻ります。

そして、同じ作業を繰り返し、Bluetooth設定まで移動します。そうすると「Bluetoothがオンです。Bluetoothをオフにするためには確認ボタンまたはメニューボタンを押してください」というメッセージが出ます。ここで下方向ボタンを押して「ヘッドセット接続ダイアログボックス」に移動します。

- 7) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると「ヘッドセット接続ダイアログボックス。ブルートゥース装置リスト。装置検索 1スラッシュ1。 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して設定したい項目まで移動します。」というメッセージが出ます。
- 8) 検索したいブルートゥース装置を受信状態にしてから、メニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると「装置を検索中です。しばらくお待ち下さい。」というメッセージが出て、周辺のBluetooth装置を検索します。
- 9) 検索されたブルートゥース装置の情報をアナウンスします。ここで上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して接続したいヘッドセットに移動します。「装置名、を承認しますか？」とメッセージが出ます。
- 10) 確認ボタンまたはメニューボタンを押します。そうするとブックセンスがヘッドセットを認識して、「pinコード入力。数字ボタンを使って入力してください。」とメッセージが出ます。
- 11) ここでヘッドセット固有のpinコードを数字ボタンを使って入力します。ヘッドセットのpinコードはご使用されるヘッドセットのマニュアルをご確認ください。
- 12) pinコード入力後、確認ボタンまたはメニューボタンを押します。そうすると、「サービス接続中」というメッセージが出て、ダイアログボックスを閉じて、Bluetoothヘッドセットに音が出ます。もしBluetoothヘッドセットに音が出ない場合には、正常に接続されていない状態ですので、ヘッドセットの設定状態を再確認して、ブックセンスからの接続をもう一回試してください。

Bluetoothヘッドセットとブックセンスが一回ペアリングしたことがある場合には、「ヘッドセット接続ダイアログボックス」の中で、「装置検索」というメッセージが出たところで、下方向ボタンを押すと、接続可能なBluetooth装置名が出ます。ここで、接続したいヘッドセットに移動してから確認ボタンまたはメニューボタンを押します。そうすると、「pinコード入力。数字ボタンを使って、数字を入力してください」というメッセージが出ます。ここでpinコードを入力して確認ボタンまたはメニューボタンを押すと、Bluetoothヘッドセットを使って音を聴くことができます。

Bluetoothヘッドセットとの接続を切断するには、再びメニューを呼び出して、Bluetooth設定まで移動します。そうすると、「Bluetoothがオンです。Bluetoothをオフにするためには確認ボタンまた

はメニューボタンを押してください」というメッセージが出ます。ここで下方向ボタンを押して「ヘッドセット接続解除」に移動して確認ボタンまたはメニューボタンを押してください。「イヤホン連結解除」というメッセージが出て、ヘッドセットとの接続が切断されて、自動でBluetoothもオフになります。ヘッドセットとの接続が切れると内蔵スピーカもしくは接続されているイヤホンから音が出ます。

### 9.6.2 Bluetooth オフ

数字の6番ボタンを2秒以上長押しすると、Bluetoothをオフにすることが出来ます。メニューを使ってオフすることも出来ます。メニューを使ってBluetoothをオフする方法は次の通りです。既にBluetoothがオンになっていることを前提として説明します。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。
- 2) 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、「共通オプション設定 下位メニューがあります」というメッセージが出ます。ここで、右方向ボタン、確認ボタン、あるいはメニューボタンを押して共通オプション設定に入ります。
- 3) 下方向ボタンを5回押して、「Bluetooth設定 下位メニューがあります」まで移動して、右方向ボタン、確認ボタン、あるいはメニューボタンを押して設定モードに入ります。
- 4) 「Bluetoothがオンです。Bluetoothをオフにするためには、確認ボタンまたはメニューボタンを押してください」というメッセージが出ます。ここで、確認ボタンまたはメニューボタンを押してBluetoothをオフにします。そうすると、ブックセンスはBluetoothをオフにして、メニューを閉じます。

### 9.6.3 Bluetoothヘッドセット接続解除

Bluetoothヘッドセットの接続を切るためには、次のようにします。

Bluetoothヘッドセットが接続されていて、ペアリングも出来ていることを前提に説明します。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。
- 2) 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、「共通オプション設定 下位メニューがあります」まで移動します。ここで、右方向ボタン、確認ボタン、あるいはメニューボタンを押してオプション設定に入ります。
- 3) 下方向ボタンを5回押して「Bluetooth設定 下位メニューがあります」まで移動して、右方向ボタン、確認ボタン、あるいはメニューボタンを押して設定モードに入ります。
- 4) 「Bluetoothがオンです。Bluetoothをオフにするためには、確認ボタンまたはメニューボタンを押してください」というメッセージが出ます。ここで上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、「ヘッドセット接続解除」まで移動して、右方向ボタン、確認ボタン、あるいはメニューボタンを押します。そうすると、ヘッドセットとの接続を遮断して、メニューを閉じます。この際、ヘッドセットとの接続を遮断する直前の状態に戻るまでに、10秒ほどかかります。

#### 9.6.4 Bluetooth接続情報消去

バッテリーの使用時間を長くするためにBluetoothのペアリングをオフにし、接続情報を解除する場合があります。接続情報を解除する方法は次の通りです。

ヘッドセットがブックセンスに既に接続されている前提で説明します。

- 1) メニューボタンを押して、メニューを呼び出します。
- 2) 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、「共通オプション設定 下位メニューがあります」まで移動して、右方向ボタン、確認ボタン、またはメニューボタンを押します。
- 3) 下方向ボタンを5回押して、「Bluetooth設定 下位メニューがあります」まで移動して、右方向ボタン、確認ボタン、またはメニューボタンを押します。
- 4) 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、「接続情報消去」まで移動して、右方向ボタン、確認ボタン、またはメニューボタンを押します。
- 5) 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、接続情報を解除したいヘッドセットまで移動して、確認ボタンを押します。複数の装置を削除したい場合には、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、接続情報を解除したい装置まで移動して、数字の9番ボタンを押して選択します。その後、別の接続情報を解除したいヘッドセットまで移動して、数字の9番ボタンを押して選択し、選択が完了したら確認ボタンを押して接続情報を解除します。確認ボタンを押して、ペアリングを切ると、メニューに戻ります。

ただし、接続情報を解除し、ペアリングを切った後で、またそのヘッドセットを使いたい場合には、PINコードを改めて入力する必要があります。

また、Bluetoothヘッドセット使用中、応答時間の遅いと感じる場合があります。これは、ステレオBluetooth 2.0ヘッドセットの特性ですので、ご了承願います。

#### 9.6.5 FTPを使ったパソコンからのファイル転送

Bluetoothサービス中、FTPサービスを利用してパソコンからファイルを転送することができます。逆に、ブックセンスからパソコンへのファイル転送はできません。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。そして、上方向ボタンを1回押して「共通オプション設定、下位メニューがあります」に移動します。
- 2) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アラーム設定、下位メニューがあります」というメッセージが出ます。
- 3) 下方向ボタンを5回押して「Bluetooth設定、下位メニューがあります」に移動します。そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「Bluetoothがオフです。Bluetoothをオンにするためには確認ボタンまたはメニューボタンを押してください」というメッセージが出ます。ここで確認ボタンまたはメニューボタンを押してBluetoothをオンにします。

4) そうするとメニューが閉じて、メニューを呼び出す直前の状態に戻ります。ブックセンスのBluetoothがオンになりましたので、パソコンでBluetooth装置を検索します。(パソコンにBluetoothドライバが設置されていることを前提とします)

5) パソコンで検索したBluetooth装置中、ブックセンスを探します。ブックセンスは「BookSense」という名前で表示されます。そして、使用したいサービスの中でFTPサービスを選択してブックセンスと接続します。パソコンとブックセンスが接続された後からパソコンでブックセンスにファイルをコピーしてブックセンスに貼り付けます。

ブックセンスを検索して、FTPサービスを選択する過程などは、パソコンに設置されているBluetoothドライバによって違う場合もあります。詳細はご使用のパソコンのBluetoothマニュアルをご確認ください。

ファイル転送が終わった後では、再びメニューを呼び出して、Bluetooth設定の段階で「Bluetoothがオンです。Bluetoothをオフにするためには、確認ボタンまたはメニューボタンを押してください」というメッセージが出た時点で、確認ボタンまたはメニューボタンを押してBluetoothをオフにしてください。Bluetoothを常にオンにしておくともバッテリーの放電が早いのでご注意ください。

## 9.7 おやすみタイマー設定

ブックセンスを使用するとき、一定の時間後には自動で電源がオフになるように設定することができます。この機能は、寝る前に使用すると便利です。この機能を実行するためには、「おやすみタイマー設定」メニューを使用します。おやすみタイマーは180分まで設定できます。設定方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。そして、上方向ボタンを1回押して「共通オプション設定、下位メニューがあります」に移動します。
- 2) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アラーム設定、下位メニューがあります」というメッセージが出ます。
- 3) 下方向ボタンを6回押して、「おやすみタイマー設定 ダイアログボックス」まで移動して、右方向ボタン、確認ボタン、またはメニューボタンを押します。そうすると、「おやすみタイマー時間を入力してください。オフ」と言うメッセージが出ます。数字ボタンを使って、0から180までの間の数字を入力します。

おやすみタイマー設定時間が0であれば、おやすみタイマーがオフになることを示します。

- 4) 設定したい時間を選択してから確認ボタンを押します。そうすると「オプション保存完了」というメッセージが出ます。お休みタイマーが設定された状態では、お休みタイマー予約で設定した時間になるとブックセンスが自動でオフになります。例えば、お休みタイマーを30分に設定して音楽を聴くと、30分後には自動で電源がオフになります。

お休みタイマー設定中、設定をキャンセルしたい場合には、取消ボタンを押します。

お休みタイマーでコンテンツ再生中に電源がオフになると、次回電源を入れた際は、終了した場所

のコンテンツの再生状態から始まります。

お休みタイマーはコンテンツの再生中のみ動作しますので、ファイルリストなどの状態でも自動で電源をオフにするためには、節電モードの設定が必要です。

また、おやすみタイマー設定時間を設定するためには、メニューを呼び出さずに、数字の4番ボタンを2秒以上長押ししても設定できます。ただし、ラジオモードでは、数字の4番ボタンを長押ししても、おやすみタイマーの設定はできません。

## 9.8 節電モード設定

電源をオンにした状態で、使用しなかった場合に自動でオフになるようにする機能です。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。そして、上方向ボタンを1回押して「共通オプション設定、下位メニューがあります」まで移動します。
- 2) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アラーム設定、下位メニューがあります」というメッセージが出ます。
- 3) 上方向ボタンを4回押して「節電モード設定 ダイアログボックス」まで移動します。そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「節電モード設定 ダイアログボックス」です。現在の節電モード設定は5分です。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定を保存してください。取り消したい場合には取消ボタンを押してください」というメッセージが出ます。ここで左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、使用しない、5分、10分、15分、20分の中で、設定したい数字まで移動します。
- 4) 設定したい時間に移動した後、確認ボタンを押します。そうすると、「オプション保存完了」というメッセージが出て、メニューを呼び出す直前の状態に戻ります。

基本は5分に設定されていますので、ブックセンスに電源を入れて5分間使用しないと自動で電源が消えます。改めて使用するためには、再生ボタンを長く押し続けて電源をオンにします。

また、ラジオを聴いている途中や音楽再生中、電源アダプタあるいはUSBを利用しての充電中には節電モードが動作しません。

ブックセンスのバッテリーが5%以下になると、「バッテリー充電率が低いです」という警告メッセージが出て、自動で電源が落ちます。

## 9.9 しおりのお知らせ設定

メディアプレーヤー、DAISYプレーヤー、ドキュメントリーダーで、コンテンツを連続再生中、しおりまたは音声メモを挿入したところを読み上げる際に、そこにしおりまたは音声メモが設定されているということをお知らせするかどうかを設定することができます。設定方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。そして、上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「共通オプション設定、下位メニューがあります」に移動します。

- 2) 上方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アラーム設定、下位メニューがあります」というメッセージが出ます。
- 3) 上方向ボタンを3回押して「しおり通知設定、ダイアログボックス」まで移動します。そして右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「しおり通知設定、ダイアログボックス、しおり通知方式;メッセージ、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください」というメッセージが出ます。
- 4) 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、「ビープ」、「メッセージ」、「オフ」の中で設定したい値に移動して、メニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「オプション保存完了」というメッセージが出て、メニューを呼び出す前の状態に戻ります。

「ビープ」に設定すると、再生中にしおりまたは音声メモがある部分を再生するときにビープ音を出して再生します。

「メッセージ」に設定すると、再生中にしおりまたは音声メモがある部分で「しおり1」、「しおり2」、や「音声メモ1」、「音声メモ2」のように、しおりの種類や番号を読み上げて再生を続けます。

「オフ」に設定すると、しおりあるいは音声メモがある部分でも、何も案内しません。

しおり通知設定は、再生中あるいはファイルを読み上げるときのみ動作します。しおり単位での移動、あるいは2番ボタンを押して、特定のしおりまで移動する方法で移動した場合には、しおりは通知されません。

## 9.10 保存装置のフォーマット

ブックセンスに接続されているデータ保存装置であるメモリーをフォーマットする、(フォーマットとは初期化のことです。)機能で、内蔵フラッシュメモリー(XTのみ)だけでなく、SDカード、USBメモリーのフォーマットもできます。フォーマットをすると各メモリーにあるすべてのデータが削除されますので、フォーマットの実行の前には必要な資料をバックアップしてください。(内蔵メモリーは、ブックセンスXT(モデル番号:T50XT)にのみ内蔵されており、ブックセンス(モデル番号:T50)には内蔵メモリーはありません。)フォーマットする方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。そして、上方向ボタンを1回押して「共通オプション設定、下位メニューがあります」まで移動します。
- 2) そして右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アラーム設定、下位メニューがあります」というメッセージが出ます。
- 3) 上方向ボタンを2回押して「保存装置フォーマット、下位メニューがあります」まで移動します。そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「フラッシュメモリーフォーマット」というメッセージが出ます。このメッセージはブックセンスXTの場合の案内メッセージです。T50の場合は、「SDカードフォーマット」とメッセージが出ます。もしSDカードやUSBメモリーが接続されていると、下方向ボタンまたは上方向ボタンを押すと、SDカードとUSBメモリーに変更ができます。



- 4) フォーマットするデータ保存装置に移動して、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。「(選択したデータ保存装置名)をフォーマットしますか? はい」というメッセージが出ます。
- 5) ここでメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「すべてのデータがなくなります。実行しますか? はい」というメッセージが出ます。
- 6) ここでメニューボタンまたは確認ボタンを押すと「フォーマットを始めます」というメッセージが出てフォーマットを実行します。
- 7) フォーマットが完了されると、「フォーマットが完了されました」というメッセージを出して、メニューを呼び出す直前の状態に戻ります。

フォーマットをキャンセルしたい場合には、実行せずに、取り消しボタンを押してください。そうすると、「取り消し」というメッセージが出て、メニューを呼び出す直前の状態に戻ります。

## 9.11 基本保存装置の設定

ブックセンスには、内蔵のフラッシュメモリー（XTのみ内蔵）以外にもSDカードスロットにSDカードタイプのメモリーを挿入するか、USBにUSBメモリーを接続して、ブックセンスで再生できるデータを保存することができます。

ブックセンスを使って、これらのメモリー装置の中でひとつを選択して、それを基本保存装置として指定することができます。基本保存装置として設定すると、ブックセンスはその保存装置からデータを読み出して再生します。

基本保存装置を変更する方法は次の通りです。

- 1) 変更したいメモリー装置をブックセンスに接続します。
- 2) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。そして、上方向ボタンまたは下方向ボタンをおして「共通オプション設定、下位メニューがあります」まで移動します。
- 3) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アラーム設定、下位メニューがあります」というメッセージが出ます。
- 4) 上方向ボタンを1回押して「基本保存装置設定ダイアログボックス」まで移動します。そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。「基本保存装置設定ダイアログボックスです。現在の選択された保存装置名はフラッシュメモリーです。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください。確認ボタンまたはメニューボタンを押して設定を保存してください。取り消したい場合には取消ボタンを押してください」というメッセージが出ます。T50の場合は、フラッシュメモリーがありませんので、他の保存装置を読み上げます。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したいメモリーに移動します。
- 5) 保存装置を選択した後、確認ボタンを押します。そうすると、ファイルリストの内容が、選択した保存装置のファイルリストに変わります。

基本保存装置を変更する前に、SDカードやUSBメモリーなどの外部メモリーには2.1節の「ブックセ  
ンスで使われるフォルダ」で説明しましたフォルダに再生するコンテンツを入れておいてください。

メニュー選択中、基本保存装置の変更をキャンセルしたい場合には、キャンセルボタンを押します。そうすると、「取り消し」というメッセージを出して、メニューを呼び出す直前の状態に戻ります。  
ファイルリストで数字の0番を2秒以上長押しすると、メニューを使わずに、基本保存装置を変更することができます。

## 10. 拡張メニュー

拡張メニューには、「アップグレード」、「レジストリーバックアップ」、「レジストリー復旧」、「効果音設定」があります。このメニューを使って、アップグレード、レジストリーバックアップ、レジストリー復旧、効果音の設定が出来ます。

### 10.1. ソフトウェアアップグレード

ブックセンスの機能向上のために、必要な場合にはソフトウェアのアップグレードを実施します。ブックセンスのソフトウェアアップグレードはお客様が実施できるようになっています。アップグレードの実施手順は次の通りです。

- 1) アップグレードファイルをSDカードの最上位に保存します。
- 2) ファームウェアをダウンロードしたSDカードをブックセンスに挿入します。そして、ブックセンスの電源アダプタを接続します。
- 3) ブックセンスの電源をオンにして、メニューボタンを押します。
- 4) 上方向ボタンを3回押して「拡張メニュー、下位メニューがあります」に移動します。
- 5) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アップグレード」というメッセージが出ます。
- 6) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると、「アップグレードしますか？ はい」というメッセージが出ます。
- 7) ここでメニューボタンまたは確認ボタンを押すと、自動でアップグレードが行われ、再起動します。

再起動した後で、正常にアップグレードできたかを確認してください。確認方法は9.5節の「システム情報確認」で説明したように、システム情報から「ファームウェアバージョン」を確認してください。もし、誤ったアップグレードファイルにアップグレードされたか、誤った位置にアップグレードファイルをコピーした場合、アップグレードに使われるファイルがありませんというメッセージを出してアップグレード実行を取り消します。

アップグレード中には電源アダプタを常に接続して、電源を供給してください。

### 10.2 設定のバックアップ

設定のバックアップとは、TTSガイド音声設定、アラーム時間設定、ページ設定、音声録音設定、ラジオ放送録音設定、デイジー設定、再生設定などを保存することが出来る機能です。設定のバックアップ方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押して、メニューを呼び出します。上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、「拡張メニュー 下位メニューがあります」まで移動します。

- 2) 右方向ボタン、確認ボタン、またはメニューボタンを押すと、「アップグレード」という下位メニューが出ます。
- 3) 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、「設定のバックアップと復元、ダイアログボックス」まで移動します。右方向ボタン、確認ボタン、またはメニューボタンを押すと、「設定のバックアップと復元ダイアログボックス。バックアップか復元かの選択: バックアップ。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください。」というメッセージが出ます。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押すと、バックアップもしくは復元の切り替えが可能です。バックアップを選択し、下方向ボタンを押してください。
- 4) 「バックアップする装置の設定、フラッシュメモリ。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください。」というメッセージが出ます。もしSDカードとUSBメモリーが挿入されていると、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、フラッシュメモリーをSDカード、USBメモリーに変更することが出来ます。
- 5) バックアップデータを保存したい装置で確認ボタンまたはメニューボタンを押します。そうすると、「オプション保存完了。レジストリーバックアップ開始」というメッセージが出て、バックアップします。バックアップが終わると、「レジストリーバックアップ完了」というメッセージが出ます。

### 10.3 設定の復元

保存した設定を復旧するときに使う機能です。

- 1) メニューボタンを押して、メニューを呼び出します。上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、「拡張メニュー 下位メニューがあります」まで移動します。
- 2) 右方向ボタン、確認ボタン、またはメニューボタンを押すと、「アップグレード」という下位メニューが出ます。
- 3) 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、「設定のバックアップと復元、ダイアログボックス」まで移動します。右方向ボタン、確認ボタン、またはメニューボタンを押すと、「設定のバックアップと復元ダイアログボックス。バックアップか復元かの選択: バックアップ。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください。」というメッセージが出ます。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押すと、バックアップもしくは復元の切り替えが可能です。復元を選択し、下方向ボタンを押してください。
- 6) 「復元装置設定、フラッシュメモリ。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください。」というメッセージが出ます。バックアップを復旧したい装置を選択し、下方向ボタンを押します。
- 7) 「復元方法、オート。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください。」というメッセージが出ます。左方向ボタン、または右方向ボタンを押すと、オート、マニュアル、初期化の3項目から復元方法を選択できます。オートに設定している場合、ブックセ

ンスのバッテリーを外して、再度装着するリセットを実行しても、保存している設定で再起動します。マニュアルに設定している場合、ブックセンスのバッテリーを外して、再度装着するリセットを実行すると、工場出荷時の設定に戻ります。ここで事前に保存した設定に戻りたい場合には、共通オプション設定から設定の復元を行う必要があります。(設定の復元については、10.3 設定の復元をご確認ください。) 初期化を選択すると、工場出荷時の設定に戻ります。

## 10.4 効果音設定

電源効果音、警告音の詳細を設定します。電源効果音は、効果音、メッセージ、使用しませんから選択できます。警告音は、使用、使用しませんから選択できます。効果音設定方法は次の通りです。

- 1) メニューボタンを押して、メニューを呼び出します。上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、「拡張メニュー 下位メニューがあります」まで移動してください。
- 2) 右方向ボタン、確認ボタン、またはメニューボタンを押すと、「アップグレード」という下位メニューが出ます。
- 3) 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して、「効果音設定ダイアログボックス」まで移動します。右方向ボタン、確認ボタン、またはメニューボタンを押すと、「効果音設定ダイアログボックス。電源効果音。効果音。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください。」というメッセージが出ます。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、「メッセージ」か、「使用しません」に変更することが出来ます。
- 4) 下方向ボタンを押して、「警告音。使用。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して設定したい値まで移動してください。」に移動します。左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、「使用しません」に変更することが出来ます。
- 5) 確認ボタンまたはメニューボタンを押して、設定します。

## 11. 計算機

ブックセンスは基本的な四則演算とパーセントの計算ができる計算機プログラムを持っています。

### 11.1 計算機の開始及び終了

計算機を実行する方法は次の通りです。計算機は、どのプログラム実行中にも使用できます。

- 1) メニューボタンを押してメニューを呼び出します。メニューを呼び出して、上方向ボタンを3回押して「拡張メニュー、下位メニューがあります」まで移動します。
- 2) 右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。そうすると「アップグレード」というメッセージが出ます。
- 3) 下方向ボタンを1回押して「計算機」まで移動します。そして、右方向ボタンまたはメニューボタンまたは確認ボタンを押します。
- 4) 「計算機開始、計算機を終了したい場合には、モード切り替えボタンを2秒以上長く押ししてください。0」というメッセージが出ます。ここから数式を入力して演算をします。

計算機を実行するには、メニューを呼び出さなくても、モード切替ボタンを2秒以上長押しすると計算機が起動します。すべての演算を終えて、計算機を終了するためには、再度モード切替ボタンを2秒以上長押しすると「計算機終了」というメッセージの後で、計算機を立ち上げる直前の状態に戻ります。

### 11.2 数式の入力及び計算

計算機プログラムで四則演算記号及びパーセント、演算記号などは次のボタンを使ってください。

- 1) たす:左方向ボタン
- 2) ひく:右方向ボタン
- 3) かける:上方向ボタン
- 4) わる:下方向ボタン
- 5) 括弧開き入力:左方向ボタンを2秒以上長押し
- 6) 括弧閉じ入力:右方向ボタンを2秒以上長押し
- 7) 小数点:上方向ボタンを2秒以上長押し
- 8) %記号:下方向ボタンを2秒以上長押し

数字ボタンを使って数字を入力した後、演算記号を入力してメニューボタンを押すと結果値を読み上げます。

入力した数式または結果値を再び聞きたい場合には、確認ボタンを押します。そして、データ入力中、誤って入力した内容を取消したい場合には取消ボタンを押して一文字ずつ削除することができます。

す。もし、入力したすべてのデータを削除したい場合には、取消ボタンを2秒以上長押しします。

実際に演算の入力例を挙げて説明します。

#### 1) $10 \times (13 + 7)$ の計算

- ① 数字ボタンの中で1と0を押します。(10を入力)
- ② かける、を入力するために上方向ボタンを押します。
- ③ 括弧開きを入力するために左方向ボタンを長押しします。
- ④ 数字ボタンで1と3を押します。(13を入力)
- ⑤ たす、を入力するために左方向ボタンを押します。
- ⑥ 数字ボタンの7を押します。
- ⑦ 括弧閉じを入力するために右方向ボタンを長押しします。
- ⑧ 数式確認のために、確認ボタンを押します。
- ⑨ そうすると、 $10 \times (13 + 7)$  という計算式を読み上げます。
- ⑩ 計算結果を確認するために、メニューボタンを押します。
- ⑪ そうすると、200という結果を読み上げます。

### 11.3 計算機ヘルプモードの実行及び終了

計算機実行後、計算機内で入力する演算記号などを忘れた場合、ヘルプモードを実行して確認することができます。

計算機プログラム内で、メニューボタンを2秒以上長押しすると、計算機ヘルプモードが実行されます。ヘルプモードが実行された状態で、いずれかのボタンを押すと、そのボタンの機能を教えます。ボタンを押しても計算機の機能は動作しません。

ヘルプモードを終了するためには、再びメニューボタンを2秒以上長押しします。「ヘルプモード閉じる」というメッセージが出て、ヘルプモードを閉じます。

## 12. お問い合わせ先

ブックセンスの使用にあたり、ご不明な点やお気づきの点がございましたら、下記までご連絡願います。

〒665-0051

兵庫県宝塚市高司1-6-11

株式会社タイムズコーポレーション

お客様相談室：0120-960-807

月曜～金曜日 9:30～17:30

土日祝は休業

FAX：0797-73-8894

E-mail：info@times.ne.jp

ホームページ：<http://www.times.ne.jp/>